

大分県文化財年報10

平成12(2000)年度版



2002

大分県教育委員会

序 文

近年、開発規模の拡大や増加とともに、新聞報道等をとおして文化財への関心が高まっています。こうした潮流の中で県教育委員会は文化財保護法に基づいて、文化財に対する理解と関心を広く県民の方々に深めていただくために、各種研修会や巡回展、資料の貸し出しなど積極的な普及・啓発活動を行っています。

県指定の文化財は毎年平均10件ほどの件数で増加しており、また埋蔵文化財について、県下各地で160件ほどの調査が行われております。中でも大友氏関連遺跡の調査は県民の注目を集め、また大分市松岡の横尾遺跡では縄文時代後期のドングリ貯蔵穴が発見され、話題を集めました。

本書は平成12年度のこのような成果の概要を集大成したもので、掲載した内容から貴重な文化財が多数発見・確認されていることがわかります。

今後、本書が文化財保護行政の資料としてのみならず、学術・教育等の分野での資料として活用していただければ幸いです。

最後に刊行に際して御協力いただきました各市町村をはじめ、関係各位に対して、衷心より感謝申し上げます。

平成14年3月29日

大分県教育委員会教育長

石 川 公 一

例 言

1. 本書は平成12(2000)年度に大分県内で行われた発掘調査等の基礎データと文化財に係わる資料を掲載したものである。
2. 平成12年度に県内で行われた本調査については、調査概要の一部を取り上げるとともに、確認・試掘調査については取り扱い結果を含めて一覧表で掲載した。
3. 「大分県内遺跡発掘調査概報」は大分県教育委員会が平成13年度に国庫補助金を得て実施した大分県内遺跡発掘調査事業の調査概報で、県内で実施されている農業基盤整備事業及び林業事業に対し事前の分布調査並びに試掘調査を行い、その概要を記すものである。なお、調査の実施にあたり、大分県農政部、同林業水産部、同各地方振興局、各市町村農業基盤整備関係事業担当課、各市町村教育委員会の協力を得た。
4. 新発見遺跡については『大分県遺跡地図』大分県教育委員会の掲載様式に従い、従前の台帳(台帳番号)に追加したものである。
5. 本書中の地形図は国土地理院『2万5千分の1地形図』を使用した。
6. 「文化財保護行政の現状」は大分県教育庁文化課課長補佐兼埋蔵文化財係長 渋谷忠章、「文化財の管理」は文化財管理係主査 江田 豊、「各遺跡の調査概要」・「埋蔵文化財発掘調査一覧」・「新発見遺跡一覧」・「周知遺跡変更一覧」・「現地説明会・展示会・講演会・シンポジウム・研修・行事イベント一覧」は各市町村担当職員、「平成12年度埋蔵文化財関係文献一覧」は同文化課主査 田中裕介、「大分県内遺跡発掘調査概要」は同文化課主査 後藤一重が執筆した。その他の執筆及び編集は同文化課副主幹 栗原 眞が行った。

目 次

I. 平成12年度大分県文化財保護行政の現状	1
II. 文化財の管理	2
III. 埋蔵文化財	15
1. 平成12年度埋蔵文化財発掘届一覧(57条)	15
2. (58条の2)	21
IV. 平成12年度各遺跡の調査概要	23
V. 平成12年度埋蔵文化財調査一覧	48
VI. 平成12年度埋蔵文化財新発見遺跡一覧及び周知遺跡変更一覧	51
VII. 現地説明会・展示会・講演会・シンポジウム・研修・行事イベント一覧	53
VIII. 2000年度(平成12年度)埋蔵文化財関係文献一覧	56
IX. 大分県内遺跡発掘調査概報	64

I. 平成12年度大分県文化財保護行政の現状

平成13年3月9日、大分県考古学会の会長であり、また、長年にわたって大分県の文化財保護にご尽力されてきた賀川光夫先生が、「我が身、白石より清く・・・」の遺書を残し自らの命を絶った。考古学会や文化財関係者だけでなく、多くの人々がその死を悲しんだ。

問題となった本匠村聖嶽洞窟について、先生は当初から「解決しなければならぬ問題を抱えた遺跡」と述べており、また「重要な遺跡は時間がたつて再考することが大事だ」と、平成11年に行われた第2次調査の成果を期待していたものの、週刊誌の度重なる犯罪者あつかいの報道に対して、温厚で学問一筋に生きて戦中派の先生にとっては死をもって抗議するしかなかったのかもしれない。

第2次調査の結果は、平成13年3月30日付けで国立歴史民俗博物館から刊行され、「聖嶽洞窟で出土した黒曜石の石器群は、ここ以外の別の遺跡で表面採集されたものが、いつの時点にかこの洞窟にもちこまれたと考えるのが自然であり、聖嶽洞窟は少なくとも旧石器時代の遺跡でない」とされている。もちろん、この結論部分の解釈には異論を唱える研究者も少なくないが、その真相究明には日本考古学協会があたっており、正式な結果発表が待たれるところである。

さて、平成12年度の大分県文化財保護行政を大きく揺るがしたのは大分市中安遺跡の保存問題である。遺跡は大分市城原に所在し、都市計画道路横塚一久土線の建設に伴い大分市教育委員会が調査を実施した。調査は平成10年11月から平成12年5月の予定で進められたが、7世紀後半～8世紀後半にかけての大型掘立柱建物群が多数検出され、その場所が古代の海部郡に属することや、建物の配置及び出土物から古代豊後国海部郡の郡衙政庁跡の一部と推定された。このうち、7世紀後半～末頃の建物群は国一郡一里制成立以前の評価に関する建物群と推定され、郡衙や評衙遺跡が同一場所で明瞭に見えられた遺跡として、日本考古学協会をはじめ各保存団体から遺跡の保存に対する要望書が県や市教育委員会などに提出された。もちろん、県議会や市議会でも遺跡の保存に関する質問がだされ、連日のマスコミ報道で文化財の保存と開発に対する県民の関心は高まる一方であった。

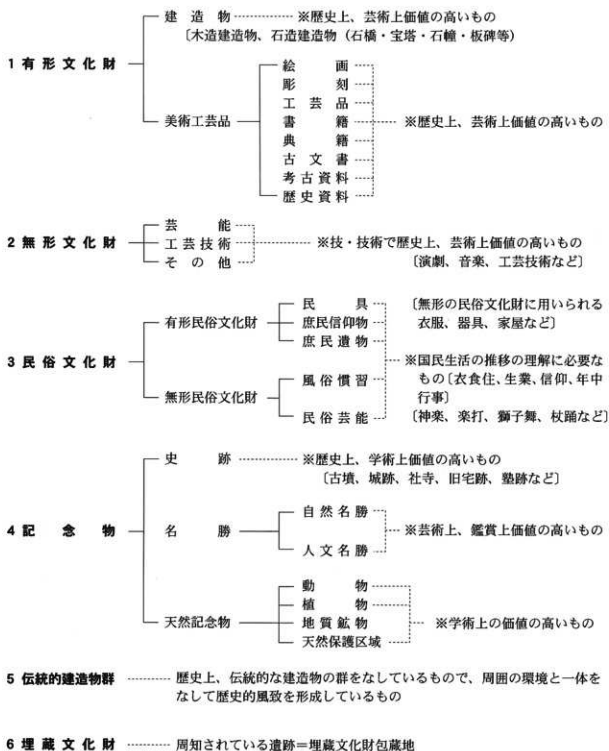
結果的には、工法変更により保存面積を当初の計画より若干広げることになったが、道路工事はほぼ予定通りに着工することになり、各文化財保存団体から文化財保護行政に対する強い批判を浴び、あらためて文化財の保護と開発の難しさを感じた。特に、今後は地方分権に伴う文化財保護法の改正や、文化庁による発掘調査の諸基準、九州地区の埋蔵文化財発掘調査基準等によって調査が進められることになり、県の的確な指導力が問われることとなった。

さて、平成12年度も文化財保護法57条の2・3による届出・通知は297件に及んだ。このうち大分市が210件を占め、個人住宅の建設を含め相変わらずの開発の多さが目立った。また、大分駅周辺総合整備事業に伴う代替地の調査で見えられた大友氏館跡については、国指定史跡と公有化の方針が示され平成13年度から本格化することとなった。

一方、史跡の整備で注目を集めたのが竹田市岡城跡である。岡城跡は、これまでの整備事業の中で石垣の修理や遊歩道の整備等が行われ、西ノ丸の家老屋敷等の発掘調査が実施されている。しかし、こうした整備に対し建物の復元を求める声もあり、地元の建築士会等が協力し大手門櫓が復元された。もちろん仮設の建物で屋根や壁等は発泡スチロール製であったが、多くの見学者が訪れ前年度より約4万人増員があったという。史跡の整備には様々な意見が聞かれるが、地元の意見を十分尊重し何のために整備するかという目的を明確にして進める必要がある。

II. 文化財の管理

文化財は、第1表に示したように大きく6種類に分類される。このような文化財の保存・活用に関する取り組みについて、概要を説明する。



第1表 文化財の種類

1 新規指定文化財の紹介

・国指定の部

指定種別：史跡
指定名称：大友氏館跡
指定年月日：平成13年8月13日
所在地：大分市顕徳町



大友氏館跡（大分市教育委員会提供）

指定種別：選択無形民俗文化財
名称：岩倉社のケベス祭
選択年月日：平成12年12月25日
保持団体名：樺来社氏子
所在地：東国東郡国見町大字樺来字古江

・県指定の部

- ①指定種別：有形文化財
指定名称：備後尾板碑
指定年月日：平成13年4月3日
所有者：備後尾区
所在地：大野郡野津町大字八里合1371
- ②指定種別：有形文化財
指定名称：木造男神坐像（3軀）中川清秀像
中川秀政像 中川秀成像
指定年月日：平成13年4月3日
所有者：中川神社
所在地：竹田市大字竹田1923
- ③指定種別：有形文化財
指定名称：太刀（豊州甲斐本藤原行久）
指定年月日：平成13年4月3日
所在地等：三重町内 個人蔵
- ④指定種別：有形文化財
指定名称：刀（平長盛）
指定年月日：平成13年4月3日
所在地等：大分市内 個人蔵
- ⑤指定種別：有形文化財
指定名称：刀（平長盛）
指定年月日：平成13年4月3日
所在地等：臼杵市内 個人蔵



備後尾板碑



中川清秀像

- ⑥指定種別：有形文化財
 指定名称：脇指（豊後高田実行作）
 指定年月日：平成13年4月3日
 所在地等：臼杵市内 個人蔵



諸田山神社御田植祭

- ⑦指定種別：無形民俗文化財
 指定名称：諸田山神社の御田植祭
 指定年月日：平成13年4月3日
 保持団体名：諸田山神社御田植祭保存会
 所在地：東国東郡安岐町大字明治

・登録有形文化財の部

- ①名称：旧耶馬溪鉄道1号厚ヶ瀬トンネル・2号厚ヶ瀬トンネル 以上2件
 所在地：下毛郡三光村 登録年月日：平成12年9月26日
 建設年代：大正2年
 種別：交通
- ②名称：国見ふるさと展示館資料館・研修所・展示場・休憩所 以上4件
 （旧有永邸 主屋・離れ・蔵・馬屋）
 所在地：東国東郡国見町 登録年月日：平成12年12月4日
 建設年代：明治時代
 種別：住宅
- ③名称：重光家住宅 主屋 ④名称：聴潮閣 主屋・洋館 以上2件
 所在地：国見町 所在地：別府市
 登録年月日：平成12年12月4日 登録年月日：平成13年8月28日
 建設年代：昭和4年 建設年代：昭和7年
 種別：住宅 種別：住宅
- ⑤名称：久恒家住宅 正門・客間棟・奥座敷・居住棟・長屋門・東蔵・西蔵・米蔵 以上15件
 オンドル部屋・物置・給水塔・煙突・裏門・北塀・南塀
 所在地：中津市 登録年月日：平成13年8月28日
 建設年代：昭和7年
 種別：住宅
- ⑥名称：佐伯海軍航空隊掩体壕
 所在地：佐伯市 登録年月日：平成13年8月28日
 建設年代：昭和7年
 種別：その他

国・県指定文化財件数

平成13年8月13日現在

国 指 定		県 指 定		合 計
国 宝	4	—	—	4
重 要 文 化 財	71	有 形 文 化 財	433	504
重 要 無 形 文 化 財	1	無 形 文 化 財	2	3
重 要 有 形 民 俗 文 化 財	4	有 形 民 俗 文 化 財	13	17
重 要 無 形 民 俗 文 化 財	4	無 形 民 俗 文 化 財	44	48
特 別 史 跡	1	—	—	1
史 跡	35	史 跡	92	127
特 別 名 勝	—	—	—	—
名 勝	1	名 勝	7	8
特 別 天 然 記 念 物	2	—	—	2
天 然 記 念 物	18	天 然 記 念 物	80	98
合 計	141	合 計	671	812

登録有形文化財	68
---------	----

第2表 国・県指定文化財件数



旧耶馬溪鉄道1号厚ヶ瀬トンネル（三光村）

国見ふるさと展示館 資料館（国見町）



聴潮閣 洋館内（別府市）

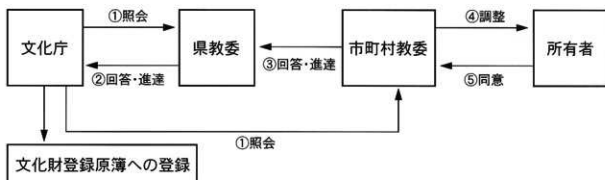
佐伯海軍航空隊掩体壕（佐伯市）



2. 登録有形文化財制度について

古くから地域に親しまれてきた建造物を活用しながら保存していこうと、平成8年の文化財保護法改正に伴い新しく創設された制度です。この制度は従来の「指定」と違いその文化財を自由に活用できる点にあります。外観を大きく変えなければ、内部を改装してホテルやレストラン、あるいは資料館やギャラリーなどとして利用することも可能です。

登録有形文化財は、住宅、社寺、橋、水門、トンネル、煙突など様々な建造物であり、かつ建築後50年を経過しているもので、その存在が広く知られていたり、形状に大きな特徴がある・再現することが容易でないなどの基準を満たすものが対象となります。



第1図 登録有形文化財に係るフローチャート

基本的な登録にかかる流れについては、第1図のフローチャートのとおりです。管内にこのような建造物がある場合は、是非この制度を活用してください。なお、この制度には次に示したような優遇措置があります。

管内に該当しそうな物件がある場合は、あらかじめ文化課文化財管理係にご相談ください。

- ・ 文部大臣が発行する証明書に基づき敷地の地価税を1/2に減税（地価税法施行令第17条第3項）
- ・ 市町村が独自の判断で家屋の固定資産税の1/2以内を適宜軽減（自治省通達）
- ・ 法人（宗教法人を除く）が所有する場合改修などに必要な資金を日本開発銀行、北海道東北開発公庫、沖縄振興開発金融公庫より低利で融資（融資条件等詳細については、各金融機関または文化庁にお問い合わせください）
- ・ 保存・活用するために必要な修理の設計監理費の1/2を国が補助
- ・ 文化財登録を表示するプレートを交付

番号	名 称	市 町 村	登録年月日	種 別	時 代
1	大分銀行赤レンガ館	大 分 市	平成8.12.20	産 業 3 次	大正 2
2	野口病院管理棟	別 府 市	"	文 化 福 祉	大正11
3	明治岡本井路石垣井路	竹 田 市	"	産 業 1 次	大正10
4	若宮井路笹無田石拱橋	竹 田 市	"	"	大正 6
5	旧緒方村役場	緒 方 町	平成9.5.7	官 公 庁 舎	昭和 7
6	京都大学理学部附属 地球熱学研究施設	別 府 市	平成9.6.12	学 校	大正13
7	小手川酒造主屋	白 杵 市	平成9.7.15	産 業 2 次	慶応元
8	小手川酒造蔵	"	"	"	慶応元
9	野上弥生子成城の家	"	"	住 宅	昭和 4
10	山海荘主屋	"	"	"	江戸後期
11	山海荘離れ	"	"	"	明治末
12	別府市朝見浄水場 集合井室	別 府 市	平成9.9.3	生 活 関 連	大正 6
13	" 配水池	"	"	"	大正 6
14	" 配水池北出口	"	"	"	大正15
15	" 配水池南出口	"	"	"	大正15
16	" 量水室	"	"	"	大正 6
17	小手川家住宅	白 杵 市	"	住 宅	慶応元
18	中津市歴史民俗資料館 (旧小幡記念図書館)	中 津 市	平成9.12.12	文 化 福 祉	昭和13
19	旧耶馬溪鉄道平田駅ホーム	耶 馬 溪 町	"	交 通	大正 3
20	萱島酒造 仕込み蔵	国 東 町	平成10.1.16	産 業 2 次	大正 3
21	" 北蔵	"	"	"	明治39
22	" 米蔵	"	"	"	大正 5
23	" 門口倉庫	"	"	"	大正 5
24	" 旧ムロマエ	"	"	"	明治27
25	" 煙突	"	"	"	大正 3
26	" 旧麹室	"	"	"	大正 4
27	" 中蔵(搾り場)	"	"	"	大正 4
28	" 冷蔵蔵(旧醸造所)	"	"	"	明治27
29	" 井戸屋形	"	"	"	昭和初期
30	" 裏門	"	"	"	大正 3
31	" 木塀	"	"	"	昭和10
32	萱島家住宅 主屋	"	"	住 宅	昭和 8
33	"	"	"	"	明治30
34	両合川橋	院 内 町	平成10.1.16	交 通	大正14
35	橋詰水路橋	"	"	産 業 2 次	江戸末

第3表 大分県内登録有形文化財一覧(その1)

番号	名 称	市 町 村	登録年月日	種 別	時 代
36	豊後水道海軍博物館 (旧水ノ子島灯台吏員退息所)	鶴 見 町	平成10.4.21	交 通	明治37
37	渡り鳥館 (旧水ノ子島灯台吏員退息所物置所)	"	"	"	明治37
38	豊後水道海軍博物館扉 (旧水ノ子島灯台吏員退息所扉)	"	"	"	明治37
39	別府市児童館 (旧別府郵便電話局電話分室)	別 府 市	平成10.7.23	官 公 庁 舎	昭和 3
40	斎藤家住宅	臼 杵 市	平成10.9.2	産 業 3 次	明治20
41	太田銚詰工場 主屋	佐 賀 関 町	平成11.6.7	産 業 2 次	明治41
42	" 土蔵	"	"	"	明治41
43	" 石倉	"	"	"	大正
44	旧耶馬溪鉄道 一号厚ヶ瀬トンネル	三 光 村	平成12.9.26	交 通	大正 2
45	旧耶馬溪鉄道 二号厚ヶ瀬トンネル	三 光 村	"	"	大正 2
46	国見ふるさと展示館 資料館 (旧有永邸 主屋)	国 見 町	平成12.12.4	住 宅	明治初期
47	国見ふるさと展示館 研修所 (旧有永邸 離れ)	"	"	"	明治中期
48	国見ふるさと展示館 展示場 (旧有永邸 蔵)	"	"	"	明治初期
49	国見ふるさと展示館 休憩所 (旧有永邸 馬屋)	"	"	"	明治中期
50	重光家住宅 主屋	"	"	"	昭和 7
51	聴潮閣 主屋	別 府 市	平成13.8.28	住 宅	昭和 4
52	聴潮閣 洋館	"	"	"	"
53	久恒家住宅 正門	中 津 市	"	住 宅	大正13
54	" 客間棟	"	"	"	"
55	" 奥座敷	"	"	"	"
56	" 居住棟	"	"	"	"
57	" 長扇門	"	"	"	"
58	" 東蔵	"	"	"	"
59	" 西蔵	"	"	"	"
60	" 米蔵	"	"	"	"
61	久恒家住宅 オンドル部屋	中 津 市	"	住 宅	昭和20
62	" 物置	"	"	"	大正13
63	" 給水塔	"	"	"	"
64	" 煙突	"	"	"	"

第4表 大分県内登録有形文化財一覧 (その2)

番号	名 称	市 町 村	登録年月日	種 別	時 代
65	〃 裏門	中 津 市	平成13.8.28	〃	〃
66	〃 北崩	〃	〃	〃	〃
67	〃 南崩	〃	〃	〃	〃
68	佐伯海軍航空隊掩体壕	佐 伯 市	〃	そ の 他	昭和18

第5表 大分県内登録有形文化財一覧（その3）

3. 平成12年度及び13年度大分県文化財保存事業について

大分県教育委員会では、県内各地に所在する文化財（国指定・県指定文化財ほか）の調査及び保存・活用を図るため、市町村及び所有者に補助金を交付している。

また、国の補助を受け、直営で調査、記録作成、管理等事業を行っている。

平成12年度補助事業事業実績一覧

国指定の部

事業内容	名 称	事業主体者	所在地	国庫補助 金額(千円)	県費補助 金額(千円)
保存修理	重文 神尾家住宅	所有者	山 国 町	11,600	1,450
保存修理	〃 宝塔(国東塔)	大田村	大 田 村	8,157	1,255
保存修理	〃 後藤家住宅	所有者	野津原町	8,500	1,000
防災施設	〃 泉福寺開山堂	泉福寺	国 東 町	1,142	175
保存修理	国宝 白杵磨崖仏	白杵市	白 杵 市	4,500	900
保存修理	特史白杵石仏(大日石仏)	白杵市	白 杵 市	9,000	1,800
保存修理	史跡 岡城跡	竹山市	竹 田 市	26,500	5,300
保存修理	〃 宇佐神宮境内	宇佐市	宇 佐 市	7,500	1,500
保存修理	〃 成宜園跡	日田市	日 田 市	8,290	1,658
保存修理	〃 緒方宮迫東・西石仏	緒方町	緒 方 町	3,500	700
保存修理	〃 元宮磨崖仏	豊後高田市	豊後高田市	5,850	1,170
保存修理(災)	〃 宇佐神宮境内	宇佐市	宇 佐 市	17,486	2,498
伝承者育成	重無 小鹿田焼	小鹿田焼技術保存会	日 出 市	5,600	700
総合支援	直入町の民俗芸能	直入町	直 入 町	1,250	250
講堂修理	重無民 岩戸寺修正鬼会	岩戸寺修正鬼会保存会	国 東 町	3,400	680
件数	15件		計	122,275	21,036

豊の国古代ロマン体験広場整備事業

保存整備	安国寺集落遺跡	国東町	国 東 町	100,000	20,000
------	---------	-----	-------	---------	--------

直営事業（国庫補助）

事業内容	事業名	総事業費(千円)
報告書作成	民俗文化財シシ垣調査事業	2,000
CD-ROM作成	ふるさとの伝承電子図鑑作成事業	3,500
通常調査	特別天然記念物 カモシカ食害対策事業	1,239
指定文化財管理	指定文化財管理事業	3,408

埋蔵文化財の部

事業内容	名称	事業主体者	国庫補助 金額(千円)	県費補助 金額(千円)
開発・保存	中津地区遺跡群	中津市	1,500	300
県営圃場整備	高田地区遺跡群	豊後高田市	1,000	500
各種開発	宇佐地区遺跡群	宇佐市	3,500	700
各種開発	三光地区遺跡群	三光村	1,000	200
県営圃場整備	安心院地区遺跡群	安心院町	1,000	500
圃場整備・各種開発	竹田地区遺跡群他	竹田市	3,000	810
各種開発	三重地区遺跡群	三重町	750	150
開発・保存	緒方地区遺跡群	緒方町	750	150
開発・保存	日田地区遺跡群	日田市	8,000	1,600
開発・保存	玖珠地区遺跡群	玖珠町	750	150
保存確認	市内遺跡	大分市	5,000	1,000
件数 11件		計	26,250	6,060

直営事業(国庫補助)

事業内容	事業名	総事業費(千円)
埋蔵文化財発掘調査等	県内遺跡	13,140
保存処理	県内遺跡出土遺物	2,000

指定文化財管理費の部

事業内容	名称	事業主体者	所在地	国庫補助 金額(千円)	県費補助 金額(千円)
防災保守点検・小修理	国宝 宇佐神宮本殿	宇佐神宮	宇佐市		254
防災施設保守点検	" 富貴寺大堂	富貴寺	豊後高田市		24
防災施設保守点検	重文 善光寺本堂	善光寺	宇佐市		66
防災施設保守点検	" 神尾家住宅	所有者	山国町		41
防災施設保守点検	" 龍岩寺奥院礼堂	龍岩寺	院内町		58
防災施設保守点検	" 泉福寺開山堂	泉福寺	国東町		36
防災施設保守点検	" 大野老松天満社旧本殿	大野老松天満社	前津江村		28
防災施設保守点検	" 神角寺本堂	神角寺	朝地町		27
防災保守点検・環境整備	" 後藤家住宅	所有者	野津原町		109
防災保守点検・環境整備	" 行徳家住宅	所有者	日田市		148
防災施設保守点検	" 願成院本堂(愛染堂)	願成院	竹田市		29
防災施設保守点検	" 薦神社神門	薦神社	中津市		70
防災保守点検・環境整備	史跡 三浦梅園旧宅	所有者	安岐町		67
防災施設保守点検	重文 日野医院本館病棟 離れ	所有者	湯布院町		51
件数 14件					1,008

県指定の部

事業内容	名 称	事業主体者	所在地	県費補助金額(千円)
保存修理	有文 高倉	宇佐神宮	宇 佐 市	6,000
保存修理	" 末廣神社廬鳳樓	末廣神社	玖 珠 町	8,595
保存修理	" 木造阿弥陀如来坐像及び脇侍	富貴寺	豊後高田市	4,000
保存修理	" 木造阿弥陀如来坐像他	無動寺	真 玉 町	3,500
保存修理	" 石鐘	石鐘保存修理委員会	三 重 町	276
保存修理	" 西岸寺宝篋印塔	西岸寺宝篋印塔	三 重 町	217
保存修理	史跡 白杵城跡	白杵市	白 杵 市	4,000
保存修理	" 三角池と薦神社	薦神社	中 津 市	1,575
保存修理	" 千燈寺跡	千燈寺跡修理委員会	国 見 町	2,000
保存修理	" 瑞巖寺磨崖仏	九重町	九 重 町	2,274
防災施設	天記 津江神社のスギと自然林	津江神社	中 津 江 村	950
保存修理(災)	史跡 府内城跡	大分市	大 分 市	1,043
件数	12件		計	34,430

平成13年度補助事業実施予定一覧

国指定の部

事業内容	名 称	事業主体者	所在地
保存修理	重文 後藤家住宅	所有者	野 津 原 町
防災施設	" 大野老松天満社旧本殿	大野老松天満社	前 津 江 村
保存修理	特史 白杵磨崖仏	白杵市	白 杵 市
保存修理	史跡 宇佐神宮境内	宇佐市	宇 佐 市
保存整備	" 岡城跡	竹田市	竹 田 市
保存修理	" 岡藩主中川家墓所	所有者	竹 田 市
保存修理	" 緒方宮迫東・西石仏	緒方町	緒 方 町
保存修理	" 犬飼石仏	犬飼町	犬 飼 町
土地公有化	" 威宜園跡	日田市	日 田 市
伝承者養成	重無 小鹿田焼	小鹿田焼技術保存会	日 田 市
総合支援	直入町の民俗芸能	直入町	直 入 町
保存修理	重有民 蒲江の漁撈用具	蒲江町	蒲 江 町
史料調査	近世古絵図	白杵市	白 杵 市
史料調査	毛利家遺品	佐伯市	佐 伯 市
土地公有化	史跡 大友氏館跡	大分市	大 分 市
			計 15 件

直営事業(国庫補助他)

事業内容	事 業 名	備 考
食 害 対 策	特別天然記念物カモシカ食害対策事業	通常調査
指定文化財管理	指定文化財管理事業	文化財バトロール、防災点検管理費補助
研 究 委 嘱	ふれあい歴史のさと研究委嘱事業	宇佐・国東半島対象

埋蔵文化財の部

事業内容	事業名	事業主体者
各種開発・保存	中津地区遺跡群	中津市
各種開発	宇佐地区遺跡群	宇佐市
各種開発	杵築地区遺跡群	杵築市
各種開発・圃場整備	竹田地区遺跡群他	竹田市
各種開発	三重地区遺跡群	三重町
各種開発	緒方地区遺跡群	緒方町
各種開発・保存目的	日田地区遺跡群	日田市
保存目的・範囲内容確認	市内遺跡	大分市
		計 8件

直営事業（国庫補助）

事業内容	事業名	備考
発掘調査	県内遺跡	埋蔵文化財発掘調査等
保存処理	県内遺跡出土遺物	保存処理

指定文化財管理費の部

事業内容	名称	事業主体者	所在地
防災保守点検・小修理	国宝 宇佐神宮本殿	宇佐神宮	宇佐市
防災施設保守点検	〃 富貴寺大堂	富貴寺	豊後高田市
防災施設保守点検	重文 善光寺本堂	善光寺	宇佐市
防災施設保守点検	〃 神尾家住宅	所有者	山国町
防災施設保守点検	〃 龍岩寺奥院礼堂	龍岩寺	院内町
防災施設保守点検	〃 泉福寺開山堂	泉福寺	国東町
防災施設保守点検	〃 大野老松天満社旧本殿	大野老松天満社	前津江村
防災施設保守点検	〃 神角寺本堂	神角寺	朝地町
防災保守点検・環境整備	〃 後藤家住宅	所有者	野津原町
防災保守点検・環境整備	〃 行徳家住宅	所有者	日田市
防災施設保守点検	〃 願成院本堂（愛染堂）	願成院	竹田市
防災施設保守点検	〃 薦神社神門	薦神社	中津市
防災保守点検・環境整備	史跡 三浦梅園旧宅	所有者	安岐町
防災施設保守点検	重文 日野医院本館病棟離れ	所有者	湯布院町
			件数 14件

県指定の部

事業内容	名 称	事業主体者	所在地
保存修理	有文 高倉	宇佐神宮	宇 佐 市
保存修理	" 末廣神社栖鳳楼	末廣神社	玖 珠 町
保存修理	" 木造阿弥陀如来坐像及び脇侍	富貴寺	豊後高田市
保存修理	" 木造大日如来坐像他	無動寺	真 玉 町
防災施設	" 泉福寺仏殿	泉福寺	国 東 町
防災施設	" 蓮城寺木造薬師如来三尊像	蓮城寺	三 重 町
保存修理	" 名塚板碑	名塚区	野 津 町
保存修理	史跡 千燈寺跡	千燈寺跡修理委員会	国 見 町
保存整備	" 臼杵城跡	臼杵市	臼 杵 市
保存修理	" 瑞巖寺磨崖仏	九重町	九 重 町
保存修理	" 武蔵のサツキツツジ	所有者	武 蔵 町
			計 11件

III. 埋蔵文化財発掘届一覧【57条】

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代	根拠条
円通寺遺跡	別府市大字石垣ウト井手	別府大学文化財研究所長	学術研究	弥生	57条の1
早水台入遺跡	道見郡日出町川崎早水台4680の16	東北大学総合学術博物館長	学術研究	旧石器	57条の1
円通寺遺跡	別府市大字北石垣ウト井手938-10	別府大学文化財研究所長	学術研究	弥生	57条の1
中世大友城下町跡	大分市錦町2丁目3208番地の8	個人	個人住宅	中世	57条の2
上野大友跡	大分市上野行内363番地7,369番地6	個人	個人住宅	中世	57条の2
府内城・城下町	大分市大字町2丁目220番・280番2	民間	集合住宅	近世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町3丁目4-12	個人	集合住宅	中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町1丁目12-5	個人	個人住宅	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府466-12	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府野庭106番2	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
上野遺跡群	大分市上野丘2丁目710-1	民間	個人住宅	中世	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字塚塚707-1,705-1	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
羽田遺跡	大分市大字羽田字久保1042-1	個人	集合住宅	弥生	57条の2
三和教団遺跡	日田市大字三和清水町大塚	個人	農業関連	中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町2丁目3330番	個人	個人住宅	中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町2丁目3327-2	個人	個人住宅	中世	57条の2
府内城・城下町	大分市都町3丁目141番地	民間	店舗	近世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽屋字不定312-9	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字相家639番7	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字小橋420-1	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
府内城・城下町	大分市長浜町1丁目8-7	個人	個人住宅	近世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽屋字八反田939-2	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
下部横六基群	大分市大字下部字加納1495番外199番	民間	宅地造成	古墳	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字小野田66番6	個人	宅地造成	縄文~中世	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字大坪3番地外	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
上野遺跡群	大分市上野丘西411-1,592-5	個人	個人住宅	中世	57条の2
上野遺跡群	大分市大字上野字城山838番地の13	個人	個人住宅	中世	57条の2
鶴崎町遺跡群	大分市鶴崎1丁目146番1・146番2	個人	その他建物	中世・近世	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字塚塚708-1	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
狩屋遺跡	大分市大字羽田字穴井跡456-9	民間	その他建物	弥生	57条の2
宮尾横六基	大野郡二豊町大字浅瀬字道HH4434番5	民間	その他建物	古墳	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字塚塚704-1	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字塚塚701-1	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
玉沢地区糸里跡	大分市大字玉沢字塚塚703-1	個人	その他建物	縄文~中世	57条の2
佐伯城下町	佐伯市城下東町903外	民間	学校建設	近世	57条の2
緒方二郎権楽館跡	大野郡緒方町大字下自在字深町38外	個人	店舗	中世	57条の2
日田糸里遺跡	日田市大字三和字西側1156-1外	民間	店舗	古代	57条の2
津守遺跡	大分市津守字修善寺183-1	個人	集合住宅	弥生	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字上中津806-4	個人	店舗	近世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町2丁目3354-1	個人	その他建物	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字山柳94番	民間	個人住宅	弥生ほか	57条の2
中世大友城下町跡	大分市大友北町4500-6番	個人	集合住宅	中世	57条の2
丹生川坂/市糸里跡	大分市大字里字川田1418-4	個人	個人住宅	古代	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽屋字不定312-8	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字池ノ上2779-1外	個人	集合住宅	弥生	57条の2
中世大友城下町跡	大分市元町4719	個人	その他建物	中世	57条の2
戸上・四方遺跡	竹田市大字戸上字国方264番地	民間	鉄塔建設	縄文	57条の2
古国府遺跡群	大分市永興字牛跡33-1	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代	根拠
上野遺跡群	大分市上野丘2-12-3	個人	個人住宅	中世	57条の2
鶴崎町遺跡群	大分市南鶴崎3丁目33番の1	個人	個人住宅	中世・近世	57条の2
羽田遺跡	大分市大字片島字大門132,35	個人	集合住宅	弥生	57条の2
市石塚遺跡	別府市市石塚西4丁目1181-2	個人	集合住宅	弥生	57条の2
榎原遺跡	達見郡日出町大字榎原字障ノ辻5716-169外	民間	ガス・水道	弥生	57条の2
中世大友城下町跡	大分市元町4722外	個人	個人住宅	中世	57条の2
府内城・城下町	大分市府内町2丁目108番地	民間	その他建物	近世	57条の2
羽田遺跡	大分市大字片島田中962番1	個人	集合住宅	弥生	57条の2
中世大友城下町跡	大分市鶴町2丁目3366-4	個人	個人住宅	中世	57条の2
府内城・城下町	大分市大字町3丁目161番	個人	個人住宅	近世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府黒田413番1	個人	その他建物	古代・中世	57条の2
本村遺跡	日田市大字小道字浄光院1164外	個人	農業関連	古墳・中世	57条の2
手崎遺跡	日田市大字高瀬字手崎1225番地	民間	店舗	縄文	57条の2
柳光遺跡	大分市大字上戸次字松ノ木4744番地5	個人	個人住宅	縄文～中世	57条の2
大友城下町跡	大分市長浜町3丁目3817の1	個人	個人住宅	中世	57条の2
高森遺跡	宇佐市大字高森字本丸1233番地外	個人	個人住宅	中世	57条の2
春日方元遺跡	別府市市石内1丁目3045	個人	個人住宅	縄文	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽黒字小津ヶ田47-8	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
中世大友城下町跡	大分市元町4664外	個人	個人住宅	中世	57条の2
千人塚	大分市大字水戸字伏地平1019番ほか	民間	宅地造成	古墳	57条の2
城南遺跡	大分市大字水戸字洞合881-1ほか	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
玉沢地区条里跡	大分市大字下赤字外屋敷952-1	個人	個人住宅	縄文～中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字狹門6001ほか	個人	その他建物	弥生ほか	57条の2
大悟法地区条里	中津市大字大悟法字前田100-1ほか	個人	店舗	古代・中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽黒字小室343番4	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
牧六分遺跡	大分市大字下都字高野	民間	店舗	縄文	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字前田445	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
羽田遺跡	大分市大字羽田1038番地	個人	宅地造成	弥生	57条の2
鶴崎町遺跡群	大分市南鶴崎3丁目105,106	個人	個人住宅	中世・近世	57条の2
瓦塚遺跡	宇佐市大字石田	個人	個人住宅	奈良	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字上新田1190ほか	個人	店舗	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字タナ田144-2番地	民間	その他建物	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字横母739-4	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽黒字柳木449-12	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字黒田832-1ほか	民間	店舗	弥生ほか	57条の2
野野遺跡	大分市大字野野字木ノ下336番地	個人	集合住宅	弥生	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字下新田1023-2ほか	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
政所遺跡	大分市政所2丁目223番地2	個人	個人住宅	弥生	57条の2
下都遺跡群	大分市大字下都字畑中2691-3	個人	個人住宅	弥生	57条の2
樋田遺跡	宇佐市大字樋田字浦65-1ほか	個人	集合住宅	弥生・古墳	57条の2
樋田遺跡	宇佐市大字樋田字浦66-1ほか	個人	集合住宅	弥生・古墳	57条の2
下田尻地区条里跡	大分市大字下田尻字津留174-1	個人	集合住宅	古代	57条の2
上野遺跡群	大分市上野字津院71-3	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市大字大分字中前田4727番1	個人	宅地造成	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽黒字瓜畑850-2ほか	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
府内城・城下町	大分市長浜町1丁目8番7号	民間	その他建物	近世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市鶴町3丁目3961-1ほか	個人	個人住宅	中世	57条の2
二日川遺跡	大分市大字横地字芝尾3706-20ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2

遺 跡 名	所 在 地	属 出	調査原因	時 代	根拠表
二日川遺跡	大分市大字椋尾字大久保3933番地の3	民間	その他建物	弥生	57条の2
船崎町遺跡群	大分市西船崎1丁目124番	個人	集合住宅	中世・近世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市錦町2丁目3346番地2	個人	個人住宅	中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市大字大分4678番の2	民間	工場・店舗	中世	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字下宗方字田代屋敷1287-1	個人	集合住宅	縄文～中世	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字辻2877-1	個人	個人住宅	弥生	57条の2
府内城・城下町	大分市長浜町1丁目1413ほか	個人	集合住宅	近世	57条の2
相原遺跡	速見郡H山町大字藤原字降ノ辻5716-103	民間	ガス・水道	弥生	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原1637-1ほか	民間	その他の発見	旧石器	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字下宗方字川田上862番4	個人	宅地造成	縄文～中世	57条の2
葛木遺跡	大分市大字葛木字市谷118番ほか	民間	宅地造成	弥生	57条の2
市場遺跡	大野郡 三重町大田市南字中ノ口599番地	民間	その他建物	中世・近世	57条の2
二日川遺跡	大分市大字椋尾字芝郷3706 20ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字下新田100 3 4	民間	店舗	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字利原字番上田164番6	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
帆原遺跡群	大分市大字斎崎字女坂1623番地	民間	その他の発見	縄文	57条の2
鹿原田遺跡	日田市大字小迫字尾田808-1	民間	宅地造成	弥生・古墳	57条の2
上野遺跡群	大分市上野丘東193番地1	個人	個人住宅	中世	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字畑中2690ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2
上野遺跡群	大分市大字上野字板築2104-7	個人	個人住宅	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字美出字船崎766-4	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字田代1451-1	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字辻2885-1ほか	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字玉沢字宮ノ本141番3	個人	個人住宅	縄文～中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字タナ田137-1	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
砥遺跡	大分市大字砥1丁目157・158ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2
古国府遺跡群	大分市永興字牛鍋6番	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
中世大友城下町跡	大分市金池町5丁目3180番地8	個人	個人住宅	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府839-1ほか	民間	宅地造成	弥生ほか	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字玉沢字小柳	民間	その他建物	縄文～中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市六波北町3002-12ほか	個人	個人住宅	中世	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字木上字大郎418番2ほか	民間	個人住宅	縄文～中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市藤徳町2丁目3042番1	個人	個人住宅	中世	57条の2
日田桑里遺跡	日田市大字波屋字桑ノ元1012番1	民間	宅地造成	中世	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字上サ2179ほか	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
政所遺跡	大分市横田2丁目269番	民間	個人住宅	弥生	57条の2
上片原遺跡	大分市大字青葉3542	個人	集合住宅	縄文	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字小中ツル1963-1	個人	個人住宅	弥生	57条の2
玉沢地区桑里跡	大分市大字下宗方字田代屋敷1257	個人	個人住宅	縄文～中世	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字長屋2557-1ほか	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字成崎2664-5	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字小中ツル1963-1	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下部遺跡群	大分市大字下部字成崎2664-1ほか	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
高瀬桑里永平寺地区	日田市大字高瀬字火ノ口663-1	個人	宅地造成	古墳・中世	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原118番2	個人	宅地造成	旧石器	57条の2
下部遺跡群	大分市下馬南5丁目779番7	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
中安遺跡	大分市大字城原字大原1719番	個人	個人住宅	旧石器～古代	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字五反田607-2	民間	店舗	弥生ほか	57条の2

遺跡名	所在地	属性	調査原因	時代	根拠
古国府遺跡群	大分市大字古国府字平生分192-10	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
下郡遺跡群	大分市大字下郡字高城2412-1	民間	店舗	弥生ほか	57条の2
中世大友城下町跡	大分市御前町2丁目3044-32	個人	個人住宅	中世	57条の2
道ノ上古墳	大野郡三車町大字赤染字道ノ上799番地	個人	その他の遺構	古墳	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字中塚町819番8	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
二目川遺跡群	大分市大字横尾字芝大田3525-7ほか	個人	個人住宅	弥生	57条の2
上野渡跡群	大分市上野丘西693-3ほか	個人	個人住宅	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字永興字下芦原69-17	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字宮ノ前588-4ほか	個人	集合住宅	古代・中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市跡町2丁目3328-16ほか	個人	個人住宅	中世	57条の2
丹生川原/市桑田跡	大分市大字丹生川水ヶ本368番1	個人	その他建物	古代	57条の2
府内城・城下町	大分市中央2丁目47	民間	店舗	近世	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原1637番地の1	民間	社会福祉施設	旧石器	57条の2
東田室遺跡	大分市大字中野日町3番3	個人	個人住宅	弥生・江戸	57条の2
葛木遺跡	大分市大字森字鶴園1266番地1	個人	集合住宅	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字永興字芦原69-1	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
別府遺跡	宇佐市大字別府字瀬ノ上313	民間	宅地造成	古代～近世	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原1637番地の2	民間	社会福祉施設	旧石器	57条の2
東田室遺跡	大分市大字中野日町3-1	民間	工場	弥生・江戸	57条の2
古国府遺跡群	大分市古国府字熊田413番地6	民間	店舗	古代・中世	57条の2
石沢地区条里跡	大分市大字大字上石田84番1	個人	集合住宅	弥生～中世	57条の2
樋田遺跡	宇佐市大字樋田字大久保295-1ほか	民間	宅地造成	縄文・古墳	57条の2
野田遺跡	大分市大字野田字原863-5ほか	個人	個人住宅	旧石器・縄文	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原1849番地165	個人	個人住宅	旧石器	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字奥田字扶間578-1	民間	個人住宅	古代・中世	57条の2
下田尻地区条里跡	大分市大字田尻字森津589番3	個人	集合住宅	古代	57条の2
府内城・城下町	大分市中央町74番3	民間	店舗	近世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市跡町1丁目3299番4	個人	個人住宅	中世	57条の2
下田尻地区条里跡	大分市大字田尻字森津585-1	民間	その他建物	古代	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽瀬184-5	個人	店舗	古代・中世	57条の2
下郡遺跡群	大分市大字下郡字下比類田	個人	個人住宅	弥生ほか	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽瀬字不定292番6	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽瀬字八幡前924-1ほか	個人	集合住宅	古代・中世	57条の2
中屋敷遺跡	宇佐市大字上田字寺ノ前167-10	個人	個人住宅	弥生・古墳	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字古国府字羽原寺40-4	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
下郡遺跡群	大分市大字下郡2396-4	個人	集合住宅	弥生ほか	57条の2
丹生川原/市桑田跡	大分市大字原字下市2217ほか	個人	個人住宅	古代	57条の2
庄ノ原遺跡	大分市大字庄原字庄ノ原1842番地5	個人	個人住宅	旧石器	57条の2
米良早遺跡	大分市大字早野字二原1501-1ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2
下郡遺跡群	大分市大字下郡字高城2412-3ほか	民間	店舗	弥生ほか	57条の2
府内城・城下町	大分市大平町2丁目233番	個人	個人住宅	近世	57条の2
上野渡跡群	大分市大字上野字島土797-1番ほか	民間	その他建物	中世	57条の2
葛木遺跡	大分市大字葛木字七本松787-1ほか	個人	集合住宅	弥生	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽瀬字小沖字B46番3ほか	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字永興字下芦原69-18	個人	個人住宅	古代・中世	57条の2
上野渡跡群	大分市上野字東188番地3外	個人	個人住宅	中世	57条の2
中世大友城下町跡	大分市元町4731-24731-5	民間	その他建物	中世	57条の2
古国府遺跡群	大分市大字羽瀬184-5	個人	店舗	古代・中世	57条の2

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代	根拠表
元宮遺跡	日田市大字求来里字堂園604-1	民間	土砂採取	縄文～中世	57条の2
浜中遺跡	大分市恵比寿町216番3	個人	個人住宅	弥生	57条の2
浜中遺跡	大分市恵比寿町216番4	個人	個人住宅	弥生	57条の2
本村遺跡	日田市大字波里字本村936番4	民間	宅地造成	古墳・中世	57条の2
日田桑里遺跡	日田市大字波里字占見取1125番地	民間	宅地造成	中世	57条の2
下田尻地区桑里跡	大分市大字田尻字津留174-1	個人	個人住宅	古代	57条の2
賀来桑里跡	大分市大字中尾字平268-2外	民間	その他の開発	古代・中世	57条の2
弘田鬼塚2号墳	豊後高田市大字弘田字四反畑685番4	民間	鉄塔建設	古墳	57条の2
中世大友城下町跡	大分市顕徳町2丁目3004-32	個人	個人住宅	中世	57条の3
大道遺跡群	大分市金池町1丁目2444番地の4	大分市長	土地区画整理	古代・中世	57条の3
東中尾遺跡	大分市大字横尾2523	大分市長	土地区画整理	弥生・古墳	57条の3
上川原遺跡	宇佐市大字柳田字小川原	宇佐土木事務所長	道路	古墳	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字畑中2695-6ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
伝乗寺跡	豊後高田市大字真中文字畑1741ほか	高田土木事務所長	河川	中世	57条の3
米良草遺跡	大分市大字御狩字山野1423番地1	九州郵政局長	集合住宅	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字小中ツル1961ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
老野遺跡	久住町大字栢木字老野104-1	竹田直入地方振興局長	農業基盤	弥生	57条の3
山ノ下遺跡	豊後高田市大字西1278ほか	高田土木事務所長	河川	弥生ほか	57条の3
停車場遺跡	中津市大字植野	中津下毛地方振興局長	農業基盤	縄文	57条の3
石堂流遺跡	中津市大字下池水942ほか	中津下毛地方振興局長	農業関連	中世	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字畑中2690ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
大行寺遺跡	日田市大字西有田字平等寺1168-1	日田地方振興局長	農業基盤	中世	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字辻2837-2ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
中世大友城下町跡	大分市大字下郡字堀ノ内3996-1	大分市長	ガス・水道	中世	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字小路2589-1	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字上ツ134ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
萩原遺跡	大野郡大野町大字植野木	大野土地改良事業事務所長	道路	旧石器	57条の3
真那井中原遺跡	遠見郡日出町大字真那井字塩屋3594-1	別府土木事務所長	道路	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字六田813	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
飯塚遺跡	東国東部国東町大字鶴川字キリウ149	東国東広域連合長	その他建物	弥生・古墳	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字柳ヤシキ2950-1	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字柳ヤシキ2989-2ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
牧六分遺跡	大分市大字下郡字小柳1681番地ほか	大分土木事務所長	道路	縄文	57条の3
東中尾遺跡	大分市大字横尾3138-1	大分市長	ガス・水道	弥生・古墳	57条の3
神代地区桑里跡	中津市大字下郡1396-1	中津土木事務所長	道路	古代・中世	57条の3
片ヶ瀬遺跡	竹田市大字片ヶ瀬1888ほか	竹田直入地方振興局長	道路	縄文	57条の3
竹の尾城址	杵築市大字鴨川字山道	国東総合建設局事務所長	道路	中世	57条の3
東大道遺跡B遺跡	大分市金池町1丁目	大分新四辺総合整備事務所長	道路	中世	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字大屋敷・字桑苗	大分市長	公園造成	弥生	57条の3
久住遺跡	直入町久住町大字久住6154	久住町長	その他建物	縄文	57条の3
東中尾遺跡	大分市大字横尾2538	大分市長	土地区画整理	弥生・古墳	57条の3
嶋谷城跡地	遠見郡日出町2610番地の1	日出町長	学校建設	中世・近世	57条の3
因分遺跡	大分市大字因分字大倉原579-1番地	大分県知事	道路	古代	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字城ノ内2747-1	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字下屋敷2325-3	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
舞田原遺跡	大野郡大野町大字田原	大野町長	宅地造成	弥生	57条の3
下郡遺跡群	大分市大字下郡字堀ノ内2800-1ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
清次郎原遺跡	中津市大字加来2263-1	中津土木事務所長	道路	弥生	57条の3

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代	根拠条
戸口遺跡	大野郡三重町大字久田字中尾	三重土木事務所長	道路	近世	57条の3
上野大友館跡	大分市上野丘西	大分市長	下水道工事	中世	57条の3
下部遺跡群	分市大字下部字勇シヤク807-2ほか	大分市長	土地区画整理	弥生	57条の3
府内城・城下町	大分市大字町3丁目251番地	大分市長	道路	近世	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字原中2689-1ほか	大分市長	宅地造成	弥生	57条の3
鶴所城跡	佐伯市城山76番地	佐伯市長	その他建物	江戸	57条の3
上門手遺跡	大野郡千歳村大字山下字上門手	三重土木事務所長	道路	中世	57条の3
原田遺跡	直入郡久住町大字有氏4652ほか	竹田直入地方振興局長	道路	弥生・古墳	57条の3
古庄屋遺跡	下毛郡本耶馬溪町大字落合字古庄屋1293番地	中津土木事務所長	道路	中世	57条の3
坂手前横穴墓群	中津市大字相原3218-1ほか	中津土木事務所長	道路	古墳	57条の3
坂手前横穴墓群	中津市大字相原3199-1ほか	中津土木事務所長	道路	古墳	57条の3
石坂遺跡群	直入郡歌町大字恵良原字石坂1714番地ほか	大野川上流開発事務所長	道路	縄文・弥生・古墳	57条の3
今市遺跡	宇佐市大字四日市字池田2788ほか	宇佐土木事務所長	道路	奈良	57条の3
葛戸遺跡	大分郡津原町大字上詰字葛戸	大分地方振興局長	農業基盤	中世	57条の3
池ノ尻遺跡	大分郡津原町大字上詰字池ノ尻	大分地方振興局長	農業基盤	中世	57条の3
上ノ原稲荷塚遺跡	中津市大字永福2770番地	中津土木事務所長	道路	古墳	57条の3
神代地区条里跡	中津市大字田島274-1	中津土木事務所長	道路	古代・中世	57条の3
上野遺跡群	大分市上野丘東	大分市長	ガス・水道	中世	57条の3
玉沢地区条里跡	大分市大字玉沢58-3番地ほか	大分市長	道路	縄文～中世	57条の3
光広遺跡遺所地区	東国東郡安岐町大字中園	東国東地方振興局長	農業基盤	弥生・中世	57条の3
高田城下町	豊後高田市大字御玉	高田土木事務所長	道路	近世	57条の3
天念寺	豊後高田市大字長岩	西高地方振興局長	農業基盤	中世	57条の3
玉沢地区条里跡	大分市大字上宗方432-1ほか	大分市長	道路	縄文～中世	57条の3
安松遺跡	中津市大字是雨字明敷837-8ほか	中津土木事務所長	道路	中世	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字下屋敷2327-2	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字上サ2118ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字小中ツル1954-1ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字寺小路2589-4ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
柞原八幡堂遺石畳	大分市大字神崎	大分市長	道路	古代	57条の3
賀来条里跡	大分市大字賀来349-1ほか	大分市長	道路	古代・中世	57条の3
八坂中遺跡	杵築市大字中	別府土木事務所長	河川	中世	57条の3
上野遺跡群	大分市上野丘東1番11号	大分県立芸術文化短期大学長	学校建設	古代・中世	57条の3
佐伯城下町	佐伯市城山	佐伯南郡地方振興局長	造山工事	中世・近世	57条の3
大肥条里	日田市大字鶴内、吉竹	日田地方振興局長	農業基盤	中世・近世	57条の3
大塚・植野木遺跡群	大野郡大崎町大字大塚	三重土木事務所長	道路	旧石器ほか	57条の3
金池南遺跡	大分市鶴徳町1丁目2757ほか	大分市長	土地区画整理	古代	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字上サ2174ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字戎坊2666-3ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
トガリ遺跡	東国東郡安岐町大字中園	東国東地方振興局長	農業基盤	弥生～中世	57条の3
川ベタ遺跡	東国東郡安岐町大字中園	東国東地方振興局長	農業基盤	弥生～中世	57条の3
国反田遺跡	東国東郡安岐町大字中園	東国東地方振興局長	農業基盤	弥生～中世	57条の3
中世大友城下町跡	大分市大字大字字堀ノ口3978-1ほか	大分市長	ガス・水道	中世	57条の3
郡山南遺跡	大野郡大野町大字郡山字南276-3ほか	大分県知事	道路	旧石器	57条の3
中世大友城下町跡	大分市六坊北町・元町ほか	大分駅周辺総合整備事業所長	鉄道建設	中世	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部北3丁目	大分市長	学校建設	弥生ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字城内2766-1ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
大波羅遺跡	日田市出島町2丁目120番1ほか	熊本営繕工事事務所長	その他建物	縄文	57条の3
川原条里	豊後高田市大字美和字横部1314ほか	豊後高田市長	その他建物	古代	57条の3

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代	根拠表
向原遺跡	大分市大字松岡マカヤ下〜向原西	大分土木事務所長	道路	弥生	57条の3
亀石山遺跡	日田郡天瀬町大字出口字亀石山989-14ほか	日田地方振興局長	道路	旧石器	57条の3
日向遺跡群	直入郡伏町大字桑木	加藤建設北川建設相模建設	道路	縄文・弥生・古墳	57条の3
中世大友城下町跡	大分市錦町3丁目ほか	建設局地方建設局大分群経経	道路	中世	57条の3
金池南遺跡	大分市顕徳1丁目2758-1ほか	大分市長	土地区画整理	古墳	57条の3
臼杵城下町	臼杵市大字臼杵本町	臼杵市長	その他建物	江戸	57条の3
平井遺跡	竹田市大字小塚1137-33	加藤建設北川建設相模建設	農業関連	縄文・弥生	57条の3
田向第3遺跡	速見郡日出町大字大神	熊本県総合土地改良事業課所長	農業基盤	中世・近世	57条の3
大園遺跡	大野郡千歳村大字下山字大園1874-2	三重土木事務所長	道路	中世	57条の3
鶴崎御茶屋跡	大分市南鶴崎3丁目5番1号	大分県知事	学校建設	近世	57条の3
長島横穴墓	直入郡直入町大字長湯字喜三郎	竹田土木事務所長	道路	古墳	57条の3
上田遺跡群	大野郡三重町大字上田原字桑木	三重町長	ガス・水道	旧石器ほか	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字上サ2152ほか	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
上松岡遺跡	大分市大字毛井字守ノ前248番地	大分土木事務所長	道路	弥生	57条の3
清水遺跡	大分市大字毛井字志平555番地	大分土木事務所長	工場	弥生	57条の3
竹田城下町遺跡群	竹田市大字竹田本町426-1ほか	竹田土木事務所長	道路	中世・江戸・明治	57条の3
上野遺跡群	大分市上野丘2-10-1	大分県知事	学校建設	中世	57条の3
水崎貝塚	豊後高田市大字水崎1429	高田土木事務所長	道路	縄文	57条の3
和開神社旧境内遺跡	宇佐市大字松崎字浮殿793-1	宇佐市長	その他建物	中世	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字柳ノ内2099-1	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3
辻古墳	大分市大字里字辻374番地外	大分市長	土地区画整理	古墳	57条の3
下部遺跡群	大分市大字下部字柳ヤシキ2950-1	大分市長	土地区画整理	弥生ほか	57条の3

【58条の2】

遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代
川島遺跡	宇佐市大字法鏡寺字川島550-1ほか	宇佐市教育委員会	その他の建物	弥生
中世大友城下町跡	大分市大字大分字上井東4293ほか	大分市教育委員会	その他の建物	古代・中世
下野大友館跡	大分市上野丘西363-7外	大分市教育委員会	住宅	中世
下部横穴墓群	大分市大字下部字加納1495番地ほか	大分市教育委員会	宅地造成	古墳
長迫遺跡	大分市大字牧字長迫1211-14	大分市教育委員会	宅地造成	縄文・古墳
亀石山遺跡	日田郡天瀬町大字出口字亀石山989-14ほか	天瀬町教育委員会	道路	旧石器ほか
郡山南遺跡	大野郡大野町大字郡山字南	大野町教育委員会	道路	旧石器ほか
別府遺跡	宇佐市大字別府字瀬社29-1	宇佐市教育委員会	その他の開発	弥生ほか
別府遺跡	宇佐市大字別府字瀬社31番地ほか	宇佐市教育委員会	道路	弥生ほか
大波羅遺跡	日田市田島2丁目120番1ほか	大分県教育委員会	その他の建物	弥生ほか
大友麻耶の墓	大野郡野津町大字宮原字寺小路	野津町教育委員会	遺跡整備	中世
大波羅遺跡C・D・E区	日田市大字田島字大塚180-1	日田市教育委員会	道路	弥生ほか
大園遺跡	大野郡千歳村大字下山字大園	大分県教育委員会	道路	古代・中世
和開神社旧境内遺跡	宇佐市大字松崎字浮殿	宇佐市教育委員会	その他の建物	古代・中世
高森城跡	宇佐市大字高森字本丸1233番地	宇佐市教育委員会	確認調査	旧石器ほか
別府遺跡	宇佐市大字別府字折戸之上546番ほか	宇佐市教育委員会	その他の開発	弥生ほか
御橋遺跡	宇佐市大字北字佐	宇佐市教育委員会	農道	弥生ほか
御橋遺跡	宇佐市大字北字佐	宇佐市教育委員会	宅地造成	弥生ほか
樋田遺跡	宇佐市大字樋田字浦65-1ほか	宇佐市教育委員会	宅地造成	古墳
樋田遺跡	宇佐市大字樋田字浦66-1ほか	宇佐市教育委員会	宅地造成	古墳
瓦塚遺跡	宇佐市大字石田29-1	宇佐市教育委員会	個人住宅	古墳・奈良
老野遺跡	直入郡久住町大字柘木老野104-1	久住町教育委員会	農業基盤整備事業	縄文・弥生ほか

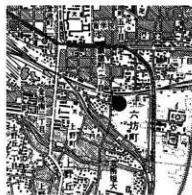
遺跡名	所在地	届出	調査原因	時代
大波羅遺跡	日田市田島2丁目120番1ほか	大分県教育委員会	その他の建物	弥生ほか
大瀬遺跡	大野郡千歳村大字下山字大瀬	大分県教育委員会	道路	古代・中世
久保田遺跡	大分市大字毛井字久保田	大分県教育委員会	道路	中世
東中尾遺跡	大分市大字横尾2523	大分市教育委員会	区画整理事業	弥生ほか
中世大友城下町跡	大分市副徳町3丁目4415-1ほか	大分市教育委員会	確認調査	中世
大友館跡	大分市副徳町3丁目4400-3ほか	大分市教育委員会	確認調査	中世
大友館跡	大分市副徳町3丁目4400-3ほか	大分市教育委員会	確認調査	中世
辻古墳	大分市大字聖字辻374番地ほか	大分市教育委員会	土地区画整理	古墳
下郡横穴墓群	大分市大字下郡字城ノ内2766-1番地ほか	大分市教育委員会	区画整理事業	弥生ほか
下郡横穴墓群	大分市大字下郡北3丁目	大分市教育委員会	小学校運動場造成	弥生ほか
府内・城下町跡	大分市中央町3丁目94番	大分市教育委員会	共同住宅	近世
長者原遺跡	中津市永浜2511-2	中津市教育委員会	確認調査	奈良・平安ほか
大波羅遺跡	日田市大字田島字大原180-1	日田市教育委員会	道路	弥生ほか
本町遺跡	日田市大字小迫字浄光院1164ほか	日田市教育委員会	農業関連事業	弥生ほか
吹上遺跡	日田市大字友田字上原1264-1ほか	日田市教育委員会	確認調査	縄文・弥生ほか
大行司遺跡	日田市大字西有田字辻1167ほか	日田市教育委員会	確認調査	古墳
天満古墳群	日田市大字小迫字天神山1580ほか	日田市教育委員会	確認調査	古墳
日田桑里跡	日田市大字三和字君塚2479-1	日田市教育委員会	農業関連事業	縄文・弥生ほか
東中尾遺跡	大分市大字横尾3138-1	大分市教育委員会	区画整理事業	弥生ほか
天満古墳群	日田市大字小迫字天神山1580ほか	日田市教育委員会	確認調査	古墳
日田桑里跡	日田市大字三和字当根12-1ほか	日田市教育委員会	宅地造成	縄文・弥生ほか
長者原遺跡	日田市小字小山字神原195-2	日田市教育委員会	個人住宅	旧石器ほか
日田桑里跡	日田市大字三和字君塚2479-1	日田市教育委員会	農業関連事業	縄文・弥生ほか
上野第二遺跡	日田市上野町大字上野	日田市教育委員会	道路	弥生
千人塚	大分市大字永興字休地平1019番地ほか	大分市教育委員会	宅地造成	古墳
東中尾遺跡	大分市大字横尾2538	大分市教育委員会	区画整理事業	弥生ほか
下部遺跡群	大分市大字下郡字下層敷、字桑苗	大分市教育委員会	その他の開発	弥生
上野大友館跡	大分市上野丘西	大分市教育委員会	その他の開発	古代・中世
田向第3遺跡	遠見郡日出町大字大神字田向	日出町教育委員会	農道	中世・近世
清次郎原遺跡	中津市大字加来字清次郎原	大分県教育委員会	道路	弥生
尾部田遺跡	日田市大字小迫字尾部808-1	日田市教育委員会	宅地造成	縄文・弥生ほか
会所山遺跡	日田市大字日高字会所山53-1	日田市教育委員会	宅地造成	弥生ほか
石堂池遺跡	中津市大字下池永942ほか	中津市教育委員会	農業関連事業	近世
戸口遺跡	大野郡三重町大字久保字中尾	大分県教育委員会	道路	近世
樋田遺跡	宇佐市大字簡字大久保295-1	宇佐市教育委員会	宅地造成	古墳
上門手遺跡	大野郡千歳村大字上山門手	大分県教育委員会	道路	縄文・中世
横迫遺跡	日田市大字三和	日田市教育委員会	農業関連事業	弥生ほか
京塚遺跡	大野郡緒方町大字上自在609-1	緒方町教育委員会	遺跡整備	中世
井上桑里遺跡	大野郡緒方町大字井上218番地、233番地	緒方町教育委員会	農業基盤整備事業	弥生
下自在東遺跡	大野郡緒方町大字馬場281-1,223番地	緒方町教育委員会	その他の建物	弥生ほか
小部遺跡	宇佐市大字上乙女字香園624番地の1	宇佐市教育委員会	確認調査	古墳
大肥桑里下河内地区	日田市大字鶴河内字小原4414ほか	日田市教育委員会	農業基盤整備事業	縄文・中世
下部遺跡群	大分市大字下郡字上サ2174	大分市教育委員会	区画整理事業	弥生

IV. 平成12年度各遺跡の調査概要

遺跡名	中世大友府内町跡 第5次	所在地	大分市上野六坊北町ほか
調査原因	大分駅周辺事業	調査期間	平成12年4月～平成13年3月
調査機関	大分県教育委員会	調査担当者	吉田 寛・横島 隆二
調査面積	4,300㎡	時期	中世
		遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

大分川下流域の左岸に広がる沖積平野に位置する中世都市の遺跡である。本調査区は大友氏館跡の西南に位置し、中世府内の推定林小路町および大友御蔵場の一画に相当する。



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)

遺構

16世紀後葉では土塁状遺構（以下、土塁と呼称）とそれに付属する溝が調査区を斜めに横断するように検出された。土塁は基底面1.2～2.0m前後、高さ10～50cm前後を測り、砂質土と粘質土を交互に数cm単位で帯状に積み上げる版築状の工法によって形成され、総延長は約120mに及ぶ。土塁の南北には幅20～50cm、深さ20～60cm前後を測る溝が付属しており、土塁上に築かれた構築物の雨落ち溝としての機能を有していたことが推定される。さらに、調査区南西隅付近では土塁南側の付属溝が南方向に屈曲していることが確認され、当該部分が土塁の北西隅部と思われる。土塁の北側には多数の柱穴群や井戸、廃棄土坑などが集中し、これらの遺構のあり方は町屋的な状況を示すと考えられる。土塁の下位には先行する時期の溝遺構が複数存在していたことが確認され、土塁はこれらの溝を意図的に埋め立てた上位に構築されている。先行する溝遺構の時期は16世紀前半代を主体とするもので、埋土中から人骨頭部が出土した。人骨頭部は総数5体を数え、いずれも下顎骨が付属しない頭蓋骨であることから、埋葬されたものではなく、骨の状態が溝の埋土中に廃棄されたと考えられる。このほか、調査区西端部で礫敷きの硬化面をもつ道路状遺構が検出されている。この道路は現状で6m以上の幅員をもち、16世紀末から17世紀前葉にかけて使用されている。

遺物

金箔貼りの京都系土師器・華南三彩鳥形水注、水滴、トラディスカント壺・絵高麗獅子形燗台・タイ産陶器四耳壺・ベトナム産白磁、長胴瓶など

まとめ

土塁状遺構は「戦国時代の府内復元想定図」（『大分市史』中巻 付図Ⅱ）によると、大友御蔵場の北側推定ラインと一致することから、現状では当該遺構が大友御蔵場の区画遺構である可能性が高いと考えられる。また、土塁北側の町屋関連の遺構群の大部分が林小路町の一画に比定されよう。

(吉田 寛)



調査区全景

遺跡名	中世大友府内町跡 第7次		所在地	大分市元町ほか	
調査原因	大分駅周辺事業		調査期間	平成12年4月～平成13年3月	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	田中 裕介	
調査面積	2,000㎡	時期	中世	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

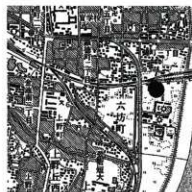
本調査区は大友氏館跡の東側に位置して、東西に長く、東端は大分川の旧河道に達する。A～G地区の7調査区に分かれるが、A・B地区は旧河道となり遺跡は存在しなかった。「府内古図」によると、C・D・E地区は「清忠寺町」、F・G地区は「御所小路町」の一角に相当する。本年度はC・D・E地区の調査を完了し、F・G地区の一部の調査をおこなった。

16世紀代では、南北方向に道路遺構が「府内古図」で推定された位置から発見された。幅員は約6mで、いったん掘り窪めたのちに砂を敷き、その上に貝殻を混ぜた三和土風の路面をつくる。そのような路面が10単位以上観察される。道路路面は数年から10年ほどで更新されて嵩上げがくり返されたものと考えられる。

その道路に面した東側では、道路面上昇に対応して整地された生活面が5面認められた。そのうち3面は火災の痕跡を示す焼土層におおわれていた。各生活面上には礎石や多数の柱穴群・廃棄土坑・炉・土取り穴などが集中している。この遺構の状況は道路に面した町屋がくり返し建て直されたことを示し、屋敷を区画する東西方向の石列も発見されている。

一方道路の西側では大規模な整地がおこなわれ、柱穴群や火災処理土坑のほかには便所と考えられる方形の石組み遺構があり、整地層の範囲は建物が建っていた部分と推定される。その奥西側には井戸が集中し、中には井筒の下部に桶を据えた後、凝灰岩の加工石6枚をめぐらせた大型の井戸もある。さらにその奥には廃棄土坑が集中し、その中に早桶を棺とした墓が1基発見された。屋敷墓と考えられる。その向こうに区画とみられる道路と並行する溝が発見され、その規模からかなり大規模な屋敷が存在していたものと考えられる。以上の16世紀の遺構群の下には道路遺構をはさんで2条の大型のV字溝が発見されており、ともに15世紀はじめに掘られたものであり、同時期の町屋遺構は存在しない。おそらく15世紀代には清忠寺町は存在していなかった可能性が高く、代わりに大型の溝で区画された大規模な施設が存在するかがわかる。

(田中 裕介)



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)



中世大友府内町跡 第7次 調査区全景

遺跡名	中世大友府内町跡 第8次		所在地	大分市上野六坊北町ほか	
調査原因	大分駅周辺事業		調査期間	平成12年4月～平成13年3月	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	甲斐 寿義	
調査面積	2,000㎡	時期	中世	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

遺跡の位置

本遺跡は大分市六坊北町に所在し、府内古絵図では大友館の南外郭線と大友御蔵場の間に位置する。

主要遺構

調査の結果、大型の溝状遺構や土塁状遺構、大型の土坑群や火災処理土坑群、井戸跡やピット群などを検出した。まず溝状遺構であるが、SD01は調査区内を東西、SD03は南北方向に伸びる。SD01は幅3～4m、深さ1.5m、SD03は、幅4～5m深さ1.9mを測る。SD01は館の外郭ラインとは並行せず、やや軸線を北に振り、SD03は、ラインにほぼ直交する。出土した遺物から、SD01は15世紀前半、SD03は16世紀後半の遺構と考える。またSD01の南ではSD01にほぼ並行するSD07Aや、外郭ラインとほぼ並行するSD06やSD07Bを検出した。出土した遺物やSD01との並行関係から15世紀前半以降の遺構である。

土塁状遺構は遺跡東端に位置し、南北方向に伸びている。地山層を成形し基盤とし、斜めに積み土しながら法面を形成している。土層断面には2～3回の改修の跡が認められ、現状で確認できる規模は、幅4.5m、高さ0.6mを測る。積み土から検出した遺物から最後の改修はSD03とほぼ同時期と思われる。

不定形土坑群は、土塁状遺構の西側に位置している。出土した遺物から天正14～15(1586～1587)年の島津軍による府内侵攻時の火災処理土坑の可能性が高い。大型土坑群は調査区内西よりやや北側に位置しており、出土した小皿や環からほぼ14世紀の遺構と考える。

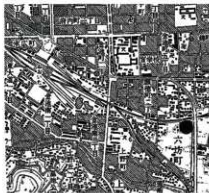
井戸跡は調査区西側南より2基検出した。いずれも掘り方は3.5mを超え、深さは検出面から約2.5mを測る。円形の井筒が使用されており、SE02には井筒の上部に方形の枠が残存する。出土した遺物は少なく時期の比定は難しいが、いずれも15世紀前半以降の遺構と考える。

主要遺物

14・15世紀代の土師質土器環、火災処理土坑やSD03出土の京都系土師器、16世紀後半の整地層から出土したコンタ、SD03出土の地藏菩薩像、SE02出土の礎石など。

特記事項

今回の調査で検出した大型の堀状の遺構や土塁状の遺構は、大友館に隣接することから、大友館となんらかの関係があると考えられ、今後大友館の成立や規模を考えていくうえで重要なポイントとなってくるであろう。また、本調査区から出土した「コンタ」は中世大友府内町では初めてであり、当時の府内の様子を知るうえで重要な遺物であると言える。(甲斐 寿義)



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)



出土遺物「コンタ」



発掘現場

遺跡名	中世大友城下町跡(第9次調査)		所在地	大分市錦町3丁目	
調査原因	国道10号線古国府拡張工事		調査期間	平成12年5月24日～平成13年3月31日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	衛藤 啓治・原田 昭一	
調査面積	1,000㎡	時期	中世	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

大分川下流西岸の沖積平野に位置し、大友館の東側門前の「御所小路」に面する場所にあたる。現在は住宅地群内に位置するが、昭和30～40年代には水田地帯が広がっていたものと考えられ、地表下1m前後において水田面が広がり、それより上層には盛り土による整地が行われていた。

遺構

調査区は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ区に分けて調査を行った。

Ⅰ区では「御所小路」に想定できる硬化面が確認でき、この硬化面の南に面する位置に井戸・土坑・ピット等が検出できている。Ⅱ区では「御所小路」の北を限ると考えられる溝状遺構をはじめ、井戸・土坑・落ち込み状遺構などが検出されている。Ⅲ区では4m間隔で東西にのびる柵列が4列確認でき、この柵列間には礎石状の掘え石も検出できている。この柵列に囲まれた空間の背後には、倉庫と考えられる方形堅穴遺構や井戸・廃棄土坑が検出されている。

いずれの遺構も16世紀中葉から1580年代におさまる遺構群と認識できる。

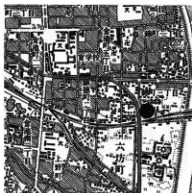
遺物

16世紀後半代の京都系土師器をはじめとした国産陶器類をはじめ、同時期の中国南部・朝鮮半島・東南アジア等からもたらされた陶磁器類が比較的多く出土している。また、このほかにも籬羽口・埴場・金属滓など鍛冶資料や権・分銅などの権衡資料が出土している。

まとめ

近世に戦国期の府内町をあらわしたとされる「府内古図」では大友館前の大路に面する「桜町」・「御内町」および「御所小路」に面する「御所小路町」にあたる町屋部分と想定されていた。今回の調査では短冊状地割りに配した遺構群をはじめ鍛冶資料や権衡資料の出土など当時の府内町の様子がかがえる良好な資料がえられた。

(原田 昭一)



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)



Ⅰ区全景 (南から)



Ⅱ区全景 (西から)



Ⅲ区全景 (東から)

遺跡名	上野第2遺跡		所在地	日田市上野町字向原	
調査原因	国道210号日田バイパス工事		調査期間	平成12年10月23日～12月27日	
調査機関	大分県育委員会		調査担当者	村上 久和・山本 恭弘・松本 康弘	
調査面積	2,000㎡	時期	弥生中期・古代	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

上野第2遺跡は、日田市三隅川南岸に東西に連なる標高130m～140mの上野台地の南西部にあり、調査区東側には谷を隔てて上野第1遺跡が広がっている。調査区一帯は、南側から北側にかけて緩やかに傾斜している斜面を大正時代の耕地整理事業によって水田化したものであり、周囲は草地や山林になっている。



遺跡の位置 (1/25,000「日田」)

遺構

表土面を数十cmほど剥がすと遺構面が現れたが、後世の水田耕作により遺構の上面がかなり削平されていた。主な遺構としては、調査区西側から小型甕棺が1基、付近より木棺墓・掘立柱建物跡・ピット群が、調査区東側からは掘立柱建物跡及び廃棄土坑が検出された。

遺物

甕棺は全長が80～90cm程度であり、時代は弥生時代中期頃のものと思われる。また、上記の廃棄土坑からは8世紀後半頃の須恵器が多数出土している。

まとめ

甕棺墓群は調査区を南北方向に縦断しており、調査区外へと続いて行く可能性が高い。また、掘立柱建物は隣接する上野第1遺跡で発掘されたものと相互の関連性を検討する必要がある。

(山本 恭弘)

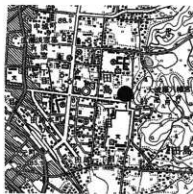


第10・11号甕棺 (調査区南側より)

遺跡名	大波羅遺跡		所在地	日田市田島2丁目	
調査原因	大分県地方公務局日田支局新営工事		調査期間	平成12年7月20日～9月21日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	村上 久和・山本 恭弘	
調査面積	1,500㎡	時期	縄文晩期～弥生中期	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

遺跡は日田市田島2丁目に所在するもので、大波羅神社の西側に隣接している。ここは日田盆地の西側丘陵部から東側の平地へと地形が変化する末端部で、三隈川と花月川が形成する沖積地の東端に位置している。



遺跡の位置 (1/25,000「日田」)

遺構

発掘では、地表より約1mの地点で7本の溝状遺構を検出した。この溝状遺構は調査区の北東から北西方向へほぼ平行に並び、いずれも調査区外へと続いている。また、時代的には土層よりほぼ同時期と推定される。さらに、矢板列、井堰の石組み、溜井状遺構も同時に検出した。

遺物

出土遺物においては、最長の2号溝より土器片と加工木材及び木片が出土した。土器片はいずれも形状・色調より縄文時代晩期のものと考えられる。加工木材はほとんどが10cm前後のものであり、端部に削り込みを入れた加工痕が残っている。また、表面に炭化物が付着しているものもみられた。

まとめ

溝状遺構の用途であるが、矢板列・溜井状遺構・井堰跡より付近の河川や湧水を利用した水路状の導水施設と推定することができる。また、2号溝の埋土よりプラントオパールを検出している。しかし、出土した加工木材の用途・時期が不確定であり、2号溝以外から遺物が出土していないことから遺構の成立した時期に関しては今後とも検討を要する。

(山本 恭弘)



大波羅遺跡全景 (真上より)

遺跡名	古庄屋遺跡		所在地	下毛郡本耶馬溪町大字落合	
調査原因	国道212号(中津日田道路)改良工事		調査期間	平成13年1月10日～3月13日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	後藤 一重・井川 泰成	
調査面積	3,000㎡	時期	鎌倉～南北朝	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

遺跡は、山国川の支流である跡田川に西谷川が合流する地点に位置する。背後には丘陵が迫ることから、遺跡の立地する場所は両河川と山に囲まれた要害の地であるとともに、東谷と西谷が出会う交通上の要衝でもある。

遺構

本遺跡は有力層の居館跡と推定され、南側と北側には幅約2.5mの溝を(調査が及んでないが、西側にも溝があると推定される)、また東側の跡田川沿いには櫓列を配し屋敷地を区画している。南側と北側の溝はほぼ平行に掘られ、その間の長さが約100mを測る。居館内の遺構配置をみると、居館の一部を調査したにすぎないものの、一定の定められた空間利用の状況が読み取れる。中央部は建物の場所として利用されており、掘立柱建物の何度かの建て替えがみてとれる。この中でも身舎面積80㎡で四面庇を有するものは、主殿的な建物と推定される。建物群の南側では、一辺5mほどの竪穴遺構が同位置で4回にわたり作り替えられている。竪穴遺構は倉庫的な役割をもつものと推定される。建物群の西側には円形や不定形の土坑群がみられる。土坑にまがり、方形の組み合わせ式木製井戸枠をもつ井戸が1基確認された。南側の溝付近は墓域として利用されており、溝の内側に沿い8基の土壇墓が整然と並ぶ。土壇墓は、長軸を東西方向にもつものと、南北方向にもつものが交互に配置される。

まとめ

本遺跡は13～14世紀に及ぶ時期のものである。

(後藤 一重)



遺跡の位置 (1/25,000「耶馬溪東部」)



発掘現場

遺跡名	毛井遺跡B地区		所在地	大分市大字毛井字仲原	
調査原因	国道197号大分南バイパス工事		調査期間	平成12年4月5日～10月31日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	綿貫 俊一・五十川雄也	
調査面積	3,500㎡	時期	古墳前期・後期	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

毛井遺跡B地区は大分市大字毛井字仲原に所在する。このあたりは西に古城山・高尾山・千歳の丘陵・段丘地帯が南北に連なり、東に九六位山・丹生の山岳・段丘地帯が南北に連なる。こうした山岳/丘陵地帯に挟まれた低地帯の中央を南から北へ流れる大野川の左岸の自然堤防上に立地する。



遺跡の位置 (1/25,000 『鶴崎』)

遺構

弥生時代後期終末～古墳時代前期初頭の方形竪穴住居跡が4棟、また古墳時代後期の方形竪穴住居跡が約60棟、16世紀代の溝が見つかった。古墳時代後期初頭の住居は比較的に小型で、6世紀代の住居は大型から小型まで様々で、いずれも竈を持っていた。

遺物

遺跡は集落遺跡であるので、時代ごとに特徴的な遺物がある。古墳時代前期初頭では、安国寺系の壺・甕、製塩土器などを中心とする遺物が多い。6世紀代では、土師器は高杯・甕・甌・碗・鉢・手づくねのミニチュア、須恵器では、大型の甕・提瓶・甌・杯・蓋がある。その他、土鍾・紡錘車・支脚・土製勾玉・鉄製鋤先などが出土した。

まとめ

毛井遺跡B地区は、大分平野周辺では6世紀代の最大集落である。見つかった住居跡は、洪水のためか埋まって新しく掘りなおされたのか、重複している例が多い。残りのよい竈は、竈封じと呼ばれる祭りをした痕跡も見られた。

集落は周囲の水田地帯より少し高い微高地上にあり、調査区の北側と南側につくものとみられる。

(綿貫 俊一)



毛井遺跡B地区

遺跡名	久保田遺跡	所在地	大分市大字松岡字久保田
調査原因	県道鶴崎大南線道路改良工事	調査期間	平成12年8月22日～10月31日
調査機関	大分県教育委員会	調査担当者	高橋 信武・平野真由美
調査面積	3,000㎡	時期	縄文晩期・室町
		遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

大野川左岸の丘陵地帯にあり、その末端近くの標高約12mの位置にある。すぐ北側を東西に流れる清水川から北は試掘の結果によれば沖積地帯である。

工事は現道を東側に拡張して行われ、調査区は南北約200m、東西約13mである。表土は近現代の盛り土が1m以上あり、その下の硬じりの粘土層が遺構検出面である。

遺構

調査区内中央部では、沖積層が東から入り込む低地の存在を試掘調査で確認した。従って、調査区は南北二カ所の丘陵に分かれることになる。

北部地区では縄文時代晩期の遺物と平安時代の溝状遺構、遺物が少量出土した他、室町時代の井戸1基、柱穴類若干を検出した。

南部地区では室町時代の柱穴を多数検出し、6基の掘立柱建物跡を復元できた。調査区が細長いため復元できなかった建物跡が多い。

この他、調査区内で近世以降の土坑・井戸を検出した。

遺物

縄文晩期 土器少量

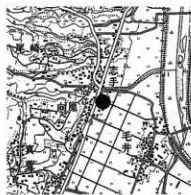
平安時代 土器少量

室町時代 中国製磁器・国産陶磁器(備前焼)・土師器

まとめ

久保田遺跡で検出した遺構・遺物の主体となるのは中世(室町時代)である。井戸・土坑や多数の柱穴が存在しており、集落あるいは屋敷の一部を調査する結果となった。久保田遺跡の近くの中世遺跡としては、昨年度と今年度に発掘調査した真萱遺跡がある。久保田遺跡よりもやや高い段丘面に位置し、遺構・遺物の密度は比較的希薄であった。この時期には久保田遺跡と同様にやや低地にあたる標高面が生活の中心となっていたのであろうか。

(高橋 信武)



久保田遺跡位置図 (1/25,000「鶴崎」)



南から見た久保田遺跡

遺跡名	山ノ下遺跡		所在地	豊後高田市大字路	
調査原因	蕨川火山砂防事業		調査期間	平成12年9月11日～11月13日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	井川 泰成	
調査面積	1,500㎡	時期	弥生後期～古墳	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

遺跡は蕨川と桂川との合流部より200m上流の蕨川左岸の河岸段丘上の山付きに位置する。

本地区は田染荘の系永名とされる中にあり、周辺には富貴寺をはじめ露政所跡、糸永遺跡、蕨寺田遺跡などが存在している。

遺構は、溝状遺構4条の他、古代と思われる柱穴、土坑が検出された。うち、2条の大溝は上流部ではっきりときりあっているが、下流へは後背の山の地形に沿うように東から西へ緩やかに蛇行しながらほぼ平行して延びている。切り合いより上流部については流路が重なりあうと思われる。

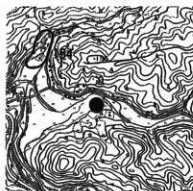
山側の溝状遺構は幅約3m、深さ60cm～70cm。遺物は弥生後期から古墳前期にかけての高坏や壺、甕などが出土した。

蕨川寄りのもう一つの溝は幅2m～4m、深さ1.2m。埋土の状況から水路として使用されたと考えられる。遺物は弥生後期～奈良時代末期・平安時代初頭にかけての土師質土器や須恵器の坏、甕、盤などが出土している。

これらの溝は、後世の水田開発等で調査区外の上下流部では大きく削平を受けており、試掘では遺構は確認されなかった。しかし、蕨川寄りの大溝は、下流へ10mほどの延長が確認された。

これらの遺構は、今後蕨川流域の水田開発の歴史を明らかにする上で、重要な遺跡であると思われる。

(井川 泰成)



遺跡の位置 (1/25,000「両子」)



遺跡から富貴寺方面を臨む

遺跡名	上ノ原稲荷塚古墳		所在地	中津市大字永添	
調査原因	県道門座中津線道路改良工事		調査期間	平成13年2月5日～3月2日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	高橋 信武・五十川雄也	
調査面積	500㎡	時期	奈良	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

山国川右岸の丘陵縁辺の標高約30mにある。この付近では同様の地形を墓地として利用する例が多い。上ノ原横穴墓群・上ノ原平原遺跡・坂手前横穴墓群・勘助野地方形墳・幣旗邸古墳群・相原古墳群等である。

上ノ原稲荷塚古墳は中津市の南西部にあたり、三光村との境界際に位置する。



遺跡の位置 (1/25,000「土佐井」)

遺構

古墳1基(8世紀)

形態

方形に周溝が巡る。墳丘は中央部付近のみに残る。埋葬主体部は河原から運んだ大小の円礫を組み合わせている。主体部の残り具合は悪く、奥壁周辺に4、5枚の平たい大石が残る他は、床面の敷石その他は原位置を保っていなかった。石の抜き跡から見て、横穴式石室であると考えられる。

規模

周溝の一辺のみ全体が調査区に現れていた。それは全長15mであり、他辺も同様の規模と見られる。

遺物

墳丘内部から少量の須恵器片が出土したほか、主体部の攪乱された埋土から鉄釘複数・土師器片少量が出土した。1点、青銅製人形(人の形に切り抜いた板状製品で、祭祀用具。)が床面の隅に浮いた状態で出土した。

まとめ

奈良時代の横穴石室は周辺の永添遺跡でも調査例がある。遺物が少ないが、このような類例と青銅製人形存在から奈良時代のものであると考えたが、全国的にみても特異な現象であろう。

(高橋 信武)

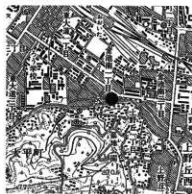


西からみた上ノ原稲荷塚古墳

遺跡名	東大道遺跡B地区		所在地	大分市金池南町1丁目	
調査原因	県道庄の原佐野線建設工事事業		調査期間	平成12年10月26日～12月27日	
調査機関	大分県教育委員会		調査担当者	坂本 嘉弘・五十川雄也	
調査面積	2,000㎡	時期	弥生後期・古代・戦国	遺物の保管	大分県教育庁文化課文化財資料室

位置

東大道遺跡B地区は大分市街地の南側に、西から東に延びる上野ヶ丘台地の北側裾に沿うように遺跡は形成されている。標高は約10mで、上野台地との比高差は約50mである。別府湾から見れば、大分市街地のある沖積地の一番奥まった場所にあたる。



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)

遺構

東大道遺跡B地区で検出された遺構は、土坑1・溝4である。時期は弥生時代の遺構が、土坑・溝2、古代は溝1、時期不明の溝1である。また、戦国時代の包含層も調査区の東部で検出されたが、遺構は確認されなかった。

溝はいずれも、上野台地の北側の裾を巡るように掘りこまれ、給排水の機能を持っていたものと推測される。

遺物

検出された遺構が大きく3時期にわかれることから、遺物も弥生時代・古代・戦国時代の3時期のものが出土している。

弥生時代の遺物は土坑から一括して壺形土器や甕形土器が6個体出土しており、その他注目される遺物として姫島産黒曜石の原石が4点出土している。また、採集攪乱層からの出土であるが、後漢鏡の鏡片も出土している。

古代の遺物は内黒の土師器碗が少量出土している。注目されるのは、輸入陶磁器の青磁皿で、底部に、墨書の可能性がある痕跡が認められる。

当遺跡からの出土遺物は、戦国時代のものが最も多く京都系土師器・備前焼の襦鉢・瀬戸美濃の天目をはじめ南蛮貿易で入手した華南三彩・景德鎮などの中国製品や朝鮮や東南アジアの陶磁器が出土している。さらに、瓦や土鏝・煙管の雁首なども見られる。

まとめ

東大道遺跡B地区は、遺構の分布も濃密ではなく、遺物も多くは出土しなかった。このため調査は短期間で終了した。しかし、調査の結果、弥生時代では姫島産黒曜石利用の終末の状況を理解する資料が得られた。また、戦国時代については、遺跡の東にある「府内」と同じ質を持つ遺物が出土し、当時の中心的都市とその周辺の状況関係を考える上で重要な資料となった。

(坂本 嘉弘)



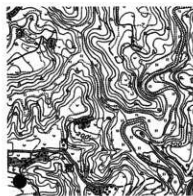
発掘風景

遺跡名	郡山南遺跡		所在地	大野町大字郡山字南	
調査原因	広城農道建設工事		調査期間	平成12年5月22日～9月30日	
調査機関	大野町教育委員会		調査担当者	後藤 幹彦	
調査面積	2,000㎡	時期	旧石器・近世	遺物の保管	大野町教育委員会にて保管

位置

郡山南遺跡は、大野町南部の台地上に位置する。この台地は大野川の支流田代川と平井川に挟まれ形成されている。古くからこの台地上では、旧石器時代から弥生時代の遺物が表採され遺跡の存在が確認されていた。

今回この地区で、広城農道建設工事が計画され試掘調査の結果、旧石器時代及び近世期の遺構が確認されたため、本調査を行うこととなった。



遺跡の位置 (1/25,000「田中」)

遺構

今回の調査では、旧石器時代の陥穴遺構2基、近世墓十数基、近世道路1本、時期不明土坑敷基が確認された。そのうち、陥穴遺構については、遺構自体がA・T以下で確認され、埋土上部のみにA・Tが確認された。このことから2基の陥穴遺構は2万5000年以上前のものと推定される。

遺物

旧石器時代の遺構からは、遺物が全く出土せず、近世墓からは陶磁器及び人骨が出土した。また、近世墓周辺の攪乱層からは旧石器・縄文・弥生・古墳・中世期・近世期の遺物が混在して出土した。

まとめ

今回の調査で確認された陥穴遺構は、この時代のものとしては大分県では初めての発見であり、少なくとも九州では最古のものであると確認された。また、同遺構からは全く遺物が発見されなかったことから、これまで遺物の表採のみに頼った周知遺跡範囲の決定にも疑問を投げかけるものとなった。

(後藤 幹彦)



陥穴完備状況

遺跡名	吹上遺跡11次		所在地	日田市大字小道字吹上原	
調査原因	確認調査		調査期間	平成12年7月24日～8月11日	
調査機関	日田市教育委員会		調査担当者	行時 志郎・下村 智	
調査面積	122.5㎡	時期	弥生	遺物の保管	日田市埋蔵文化財センター

位置

吹上遺跡は三隈川の支流の花月川と二串川に挟まれた標高140mの阿蘇溶岩台地上に位置する。日田盆地の北部に位置し市街地を一望することが出来る。この遺跡ではこれまで10次の調査が行われ、平成7年度の6次調査では、弥生時代中期後半に属する大型成人用甕棺墓8基、木棺墓3基が発見され、青銅武器、鉄製武器、南海産貝輪、玉類などの副葬品が出土し、県内初の特定集団墓の存在が明らかとなり注目された。



遺跡の位置 (1/25,000「日田」)

遺構

今回の11次調査は6次調査以後の遺構の保存を目的とした確認調査の5年目にあたり、10次調査で確認された環濠もしくは条溝の一部と考えられる大溝の延長と性格を検討するため、10次調査の北側約70mの地点にトレンチを設定して調査を行った。この地点は台地北側の縁辺部にあたるところで、都合7本のトレンチを入れて調査したところ、溝2条、竪穴住居跡1軒、方形貯蔵穴1基、袋状貯蔵穴2基、土坑4基、ピット30穴などが確認された。

遺物

出土遺物は甕、高杯、壺、などが見られ、弥生中期初頭～後期後半のものである。

まとめ

今回の調査では、特に10次調査で出土した断面V字状の大溝の続きにあたるSD01は条溝であることが判明し、またこの溝に「T」字状に接合する大溝が存在することが明らかになった。このことから、吹上遺跡では台地縁辺部を環濠が巡り、内部は条溝で区画されるという遺跡の構造が推測できるようになった。また、弥生中期初頭的生活遺構の広がりを確認できたことも成果のひとつであろう。

(下村 智)

文献

「吹上遺跡 (FKA) 11次調査」『平成12年度日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 2001



吹上遺跡全景 (空中写真)

遺跡名	大友氏館跡第6次・7次・8次・9次調査		所在地	大分市顕徳町	
調査原因	範囲確認調査		調査期間	平成12年4月～平成13年3月	
調査機関	大分市教育委員会		調査担当者	塔鼻 光司	
調査面積	470㎡	時期	中世	遺物の保管	大分市教育委員会文化財資料室

位置

大友氏館跡は、大分川河口付近の左岸に南北に広がる中世大友府内城下町のほぼ中央付近に位置する。中世府内町を描いた絵図によると、城下町は南北約2.2km、東西約700mの規模で、沖の浜周辺の町も入れると、広大な町であった。



遺跡の位置 (1/25,000「大分」)

遺構

本年度は第6次調査～9次調査を行った。各調査区からは様々な遺構が発見された。特に注目されるのが、6次調査区の盛土整地上で発見された、大型建造物跡の可能性のある礫の詰まった土坑群と、大友氏館跡北限となる7次調査区で発見された溝状遺構である。

遺物

6次調査区は貿易陶磁では中国染付碗E群が最も多く、華南三彩水注・素三彩袋物・赤絵大皿・青白磁梅瓶などが出土している。7次調査区ではロクロ成形土師器・京都系土師器・中国産染付皿・白磁皿・焼締陶器播鉢などが出土している。8次調査区では中国産染付を中心として、青磁や白磁片も出土している。中でも、獣骨が多数出土している点が注目される。9次調査区は面積が狭いため、遺物量は少ないが、埋納遺構から完形の京都系土師器が出土している。

まとめ

本年度の調査では、6次調査区で館の中核部と思われる盛土整地事業が確認され、大型建造物の存在が考えられる遺構が検出されている。また、7次調査区でも館の北限ライン上で土塁状遺構の痕跡や溝状遺構が検出されている。今後の調査では、大友氏館跡の四囲の確認など、より詳細な調査が必要であると思われる。

(塔鼻 光司)

文献

「大友館跡」発掘調査概報Ⅱ 2001



遺構検出状況

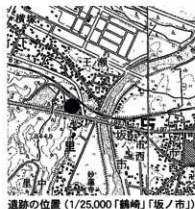
遺跡名	辻古墳群		所在地	大分市大字里字辻
調査原因	坂ノ市地区土地開発整理事業		調査期間	平成12年3月2日～9月6日
調査機関	大分市教育委員会		調査担当者	姫野 公徳・高島 豊
調査面積	時期	古墳	遺物の保管	大分市教育委員会文化財資料室

位置

調査地点は丹生川の河口部に位置し、亀塚古墳の前方部付近から北東方向に延びる尾根の先端部に所在している。

遺構

1号墳墳丘の盛土は完全に削平されていたが、幅約4.5～7m、深さ約1～1.5mの周溝が検出された。周溝は内径約26mの円形に廻っているが、調査区北西端付近で幅が大きく広がっていることが観察され、1号墳は前方部を北に向けた前方後円墳の可能性があることが判明した。さらに、明治21年に作成された地籍図からは、今回の調査区の北側にくびれ部と判断できる地割やこれに続く方形の地割があったことが判読されたことから、1号墳は全長40mを越える前方後円墳であった可能性が高いと推定された。また、周溝からは人頭大の円礫が多数出土しており、築造当初の墳丘には葺石が敷かれていたものと推定される。



遺跡の位置 (1/25,000「鶴崎」[坂ノ市])

遺物

1号墳周溝の埋土からは円筒埴輪、朝顔形埴輪、家形埴輪、蓋形埴輪など多数の埴輪が出土している。特に注目されるのが蓋形埴輪で、少なくとも10個体以上出土している。

まとめ

1号墳は出土した埴輪の特徴から、古墳時代中期後葉(5世紀後半～末)に築造されたと推定される。大在・坂ノ市地域の古墳群の中では、大在古墳に後続する首長墓と考えられ、海部の首長墓系譜を考える上で貴重な資料となった。また、付近に所在する王の瀬神社に安置されていた石棺はこの古墳から出土したものである可能性が考えられ、資料整理作業の際に改めて検討したい。

(高島 豊)

文献

讃岐和夫1997「辻古墳群」『大分市埋蔵文化財調査年報vol. 8 1996年度』



辻1号墳 (空中写真)



辻1号墳周溝内埴輪出土状況

遺跡名	城南遺跡第3次調査(千人塚古墳)		所在地	大分市大字永興字休地平1019番地1外	
調査原因	民間土地造成		調査期間	平成12年8月8日～11月10日	
調査機関	大分市教育委員会		調査担当者	後藤 典幸・宮田 剛	
調査面積	約800㎡	時期	古墳	遺物の保管	大分市教育委員会文化財資料室

位置

東西約1km、南北約0.5kmの庄ノ原台地は、東に向かって緩やかに高度を下げ、標高92～84mの平坦な庄ノ原面を形成する。北には住吉川、南には大分川が東流し、丘陵斜面は浸食され、段丘地形はあまり明瞭でない。

千人塚古墳は、頂部平坦面から南に向かって伸びる支根の傾斜変換点付近にあり、南に大分平野を見下ろす位置にある。



道跡の位置 (1/25,000「大分」)

遺構

前方後円墳の周溝

遺物

須恵器大甕・須恵器坏身片
土師器蓋坏片
縄文土器深鉢底部片・黒曜石



城南遺跡第3次調査(千人塚古墳)全景

まとめ

古墳は、調査区北側から中央部にかけて位置し、主軸をほぼ南北にとり、前方部は南を向きほぼ開かない前方後円墳である。

周溝部分の掘下げの結果、西側では、地山をいったん削り出してから周溝の墳丘側に盛られた灰褐色粘質土の盛土を確認する。

墳丘の規模は、墳長約45m(周溝を含めると推定約54m)、後円部径約34m、くびれ部幅推定約14m、前方部長さ約11m、幅約19mを測る。墳丘の東側部分は攪乱、削平が著しく明確なプランを検出できなかったため一部現況からの推定とする。周溝は、後円部側幅約4.5m、深さ最深約1.2m、くびれ部付近幅約6m、深さ約1.5m、前方部側幅約4m、深さ最深約0.4mを測る。

古墳は、周溝底面直上より、須恵器(大甕)や甕が検出されたこと、6世紀中頃の須恵器坏身が葺き石層より上層で出土したことなどから、概ね古墳時代中期末から後期前半(5世紀末～6世紀前半)ごろと推定される前方後円墳である。大分の古墳が、前方後円墳から横穴式石室へと移行する時期である5、6世紀の空白を埋める古墳であることが明らかになった。大分平野では、最後に築かれた前方後円墳として、大分の君一族の首長系譜を考える上で重要な古墳である。

(後藤 典幸)

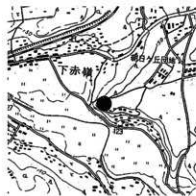
文献

城南遺跡 第2次発掘調査報告書・第3次発掘調査報告書(確認調査)1999 大分市教育委員会
城南遺跡 第3次調査(千人塚古墳)現地説明会資料 2001年10月29日(日) 大分市教育委員会

遺跡名	道ノ上古墳		所在地	三重町大字赤瀬字道ノ上	
調査原因	造園地造成		調査期間	平成12年12月19日～平成13年3月21日	
調査機関	三重町教育委員会		調査担当者	諸岡 郁	
調査面積	70㎡	時期	古墳	遺物の保管	三重町中央公民館

位置

大分県南部の大野川中流域に位置する前方後円墳である。立地は支流の三重川の沖積盆地内を見下ろす台地先端にあり、大野川流域最大の規模を持つ。主体部については不明で出土遺物も知られてなかったが、最近墳丘より土器片が採集され、埴輪の存在が有力視されていた。



遺跡の位置 (1/25,000「三重町」)

遺構

墳丘測量及びトレンチ4箇所を設定して範囲確認の試掘調査を行った。前方部西端及び南側墳丘が宅地によって一部失われているが、原形は充分推定できるほど保存は良好である。全長は約74m、後円部は高さ約6m、径48mであり、前方部は長さ28m、幅はくびれ部で19m、西端で22m、後円部との比高差は2.5mと考えられる。段築は現状では確認ができず、墳端の一部は推定のままであるが、後円部に比べて低く短い前方部が西側に向かってわずかに開く墳丘形態であることがいえる。

トレンチは後円部東(第1)、北側くびれ部(第2)、前方部北西(第3)、前方部西(第4)の4箇所に設定した。第2トレンチは根石列を検出し、墳端を確認できたが、第1・第3トレンチでは攪乱により墳端の痕跡は確認できなかった。周溝は第1トレンチで確認され、幅6m、深さ1.2mの規模で後円部のみに廻っているものと思われる。その外側では地山がかなり削平されていることがわかり、それ以外のトレンチでも地山の削平が確認できた。

遺物

遺物は円筒埴輪及び蓋形埴輪の破片が第1・2・3トレンチで多量に出土した。現在整理中で全容は把握できていないが、4世紀後半～終末頃の範囲に収まるものと思われる。第4トレンチでは遺構・遺物は検出できなかった。

まとめ

今回の調査で埴輪の存在が確認され、時期推定の手がかりが得られた。また、墳丘の築造は周辺の地山を掘削して盛土した可能性が高く、埴輪や周溝の存在を確認することができた等の成果が挙げられる。しかし期間的制約でまだ不十分のままである点も多く、今後の調査・研究で明らかにしていきたい。

(諸岡 郁)

文献

- 玉永光洋「古墳時代」『大分県三重町誌総集編』1987三重町
 田中裕介「大分的前方後円墳」『大分県文化財調査報告書第100輯』1998大分県教育委員会



第1トレンチ



第2トレンチ



第2トレンチ

遺跡名	別府・折戸ノ上遺跡		所在地	宇佐市大字別府字折戸ノ上546	
調査原因	重要遺跡の範囲確認調査		調査期間	平成12年8月21日～12月28日	
調査機関	宇佐市教育委員会		調査担当者	林 一也	
調査面積	約150㎡	時期	古墳	遺物の保管	宇佐市文化財資料室で整理・保存・展示する。(人骨は九州大学)

位置

別府遺跡は宇佐平野の中央部を北流する駅館川中流域左岸の自然堤防上に位置している。これまでの調査により、遺跡は弥生時代～古墳時代の集落跡を中心とした複合遺跡であることが確認されていた。しかし、当該時期の墓域は確認されていなかったが、遺跡南東部において個人住宅の排水路工事に伴い小児用箱式石棺墓が1基発見されたので、その東側の自然堤防縁辺部で墓域の範囲確認調査を実施した。



遺跡の位置 (1/25,000「宇佐」)

遺構

調査区内より方形周溝墓2基、小児用合せロカメ棺墓1基が検出された。方形周溝墓はそれぞれ1基の箱式石棺墓を主体部としていた。1号方形周溝墓は南北15m、東西14mで、周溝北側は別府地区の墓地内に延びるため未調査であり、周溝西側は不明瞭のため確認できなかった。主体部である石棺の規模は長さ2m、幅0.4m、深さ0.6mを測る。石棺内部にはヘンガラが塗布され、人骨頭部や粘土枕周辺からは水銀朱が検出された。2号方形周溝墓は一辺8mで、周溝南側は隣接畑地との間にある畦内に延びていた。主体部である石棺の規模は長さ2m、幅0.4m、深さ0.6mを測る。

遺物

1号方形周溝墓の溝より縄文早期の押型土器が、主体部より保存状態の良い成人男性の人骨と共に鉄器類(鎌・鐵・斧・矛・鏑先)、竹製竈棒が出土している。2号方形周溝墓の溝より丸底の二重口縁壺が、主体部より成人女性の人骨が出土している。

まとめ

別府遺跡において墓域が確認されるなど成果があったものの、集落と時期差があるなど課題が残された。また、1号方形周溝墓より出土した人骨の胸骨などが二次的に動かされているなど、縄文・弥生時代と共通する断体儀礼の葬送習俗が確認されたことは大きな成果となった。

(林 一也)

文献

『宇佐地区遺跡群発掘調査概報XIII』宇佐市教育委員会 2001

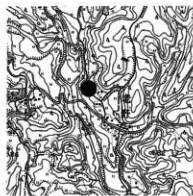


1号方形周溝墓出土人骨

遺跡名	老野遺跡		所在地	久住町大字榑木字波瀬104-1	
調査原因	県営遊園地整備		調査期間	平成12年5月1日～9月18日	
調査機関	久住町教育委員会		調査担当者	標浦 幸徳	
調査面積	4,400㎡	時期	弥生、近世	遺物の保管	久住町教育委員会

位置

久住町の南東部、豊の国名水100選の一つである老野湧水の北側約200mの段丘斜面上に位置する。標高約536mにある遺跡の西側は急斜面となり、大野川の支流である久住川と境川が合流する。



遺跡の位置 (1/25,000「久住」)

遺構

弥生から古墳時代の竪穴遺構13基、中世から近世の竪穴遺構1基、掘立柱建物2棟、溝1条、地下式土壇9基が検出された。

弥生から古墳時代の竪穴は調査区中央の比較的平坦な所に営まれ、円形または方形のプランを呈するが、大半は中世以降の擾乱を受ける。

地下式土壇は遺跡の最も高い所に7基と中央付近から2基存在するが、5基からは粉末化した骨?が認められた。また1基は天井までほぼ完全に残り、壁面に掘り具の痕跡が認められた。検出面から床面まで最も深いもので3.8m余りを測り、竪壇の基底面と玄室床面との間に一段設けるものと設けないもの、竪壇の基底面と玄室床面との間に通路を設けるもの等が認められた。

遺物

弥生から古墳時代の竪穴からは土器、鉄器、石器が出土したほか注目するものとして弥生時代後期の竪穴からは鏡片(内行花文鏡)が1点検出された。

地下式土壇からの遺物は少ないが、染付や備前焼等の破片等と共に托も認められた。

まとめ

町内で平成6年度から始まった大規模な発掘調査の中で鏡片の出土は初例であり注目される。また、地下式土壇が集中して検出されたことによりその性格や構造を知る好例となる。

(標浦 幸徳)



老野遺跡 (空中写真)

遺跡名	亀石山遺跡	所在地	天瀬町大字出口字亀石山989-14、989-15
調査原因	広域営農団地農道整備事業日田地区	調査期間	平成12年5月19日～10月27日
調査機関	天瀬町教育委員会	調査担当者	今田 秀樹
調査面積	約2,500㎡	時期	旧石器・縄文・その他
		遺物の保管	天瀬町文化財調査資料室

位置

玖珠川の南には、標高350～800m程の所謂『五馬台地』が展開しており、遺跡はその五馬台地の南側の高原地帯に位置している。

調査区は標高約798～803m、現況は山林で南西側には牧草が広がり、南東側には平原が続き標高942.6mの町内最高の亀石山につながる。調査区北東側から斜面となりその下には湧水地点があり、これが筑後川の支流のひとつ出口谷川の源流となる。なお、牧草地の南側は大きな谷で東西に区切られており、この谷が大分県と熊本県の県境（豊後国と肥後国の国境）となる。



遺跡の位置 (1/25,000「杖立」)

基本層序

- 〔Ⅰ層〕表土
- 〔Ⅱ層〕クロボク
- 〔Ⅲ層〕アカホヤ
- 〔Ⅳ層〕クロボク (15～40cm)
- 〔Ⅴ層〕Ⅳ層とⅥ層の漸移層 (2～15cm)
- 〔Ⅵ層〕黄色ローム層
- 〔Ⅶ層〕黒色帯

※ちなみにⅥ層とⅦ層の間付近に給良Tn火山灰の降灰層準が認められる。



賀川光夫先生現地指導風景

調査の経過と概要

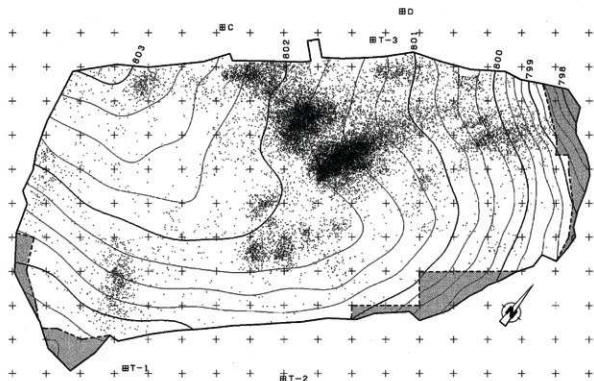
調査は、まずⅠ・Ⅱ層を重機で除去した後、人力により遺構検出を行った。次に、その際確認された3基の炭焼き窯部分を残し、Ⅲ層を再度重機で除去した。その後は、炭焼き窯及びⅣ層以下の縄文時代早期から旧石器時代にかけての遺物包含層を人力により発掘していった。

遺物包含層に関しては調査期間との兼ねい上、Ⅴ層上部までを調査範囲の約94%、Ⅴ層中部まで

を調査範囲の約83%、VI層についてはV層においての遺物集中部一帯の調査範囲の約45%の掘り下げを時間の許す限り行った。

このIV～VI層にかけては後期旧石器時代終末から縄文時代早期の遺物が多量に検出された。それら取り上げ遺物は21,200点近くに上るが、遺物の整理作業を進めていないので時期別の点数等ははっきりしない。しかし、そのうちのほとんどが後期旧石器時代終末の細石器文化期のものと思われる、その数は20,000点以上に上るのではとみている。

調査区内は西側が高く傾斜が緩く、ある程度の平場を成している。遺物の集中部は複数認められ、そのほとんどが高い平場の縁辺部に形成されている。その他には北東側の斜面に展開しているものもみられる。※出土遺物平面分布図参照



出土遺物平面分布図(IV・V・VI層)(400分の1) ※トーン部分は未掘範囲

細石器文化期の遺物は、現状で把握できるもので細石刃核が14点と割合的に非常に少なく、それらはほとんど廃棄されたものと思われる。相反して細石刃の類いは万単位と思われるほど多量に見受けられる。さらに細石刃剥離作業に伴って生まれる打面再生剥片の類いが60点以上や打面調整剥片と考えられそうなものが認められている。そして、これら以外の明瞭な製品はあまり見当たらない。なお、石材はほとんどが西北九州系の良質な黒曜石であり、わずかに1%がいわゆる大野川流域の流紋岩といわれるものである。他に特筆すべきものとして結晶片岩製とみられる“パンチ(たがね)状の石器”(6個体ほど)が挙げられる。これらは断面が偏平なものが多く、平面形は二等辺三角形の如く、片方の幅が広く、反対側が狭い。長さ10cm前後で、幅は広い方で3cm前後である。この幅の広い方側には打撃によると思われる欠落(剥落)や蔽打痕(?)がみられ、パンチの

上端だったのではと想像される。幅の狭い方はその下端（先端）とみられ、欠損しているものが大半である。このような状況から、これらが石器製作に伴いパンチとして利用されたものと考えて大過ないのではなかろうか。これら遺物の出土量のピークはV層に当てられる。また、この時期の遺構としては礫群が認められた。

縄文時代の遺物としては土器や石器が挙げられる。土器は非常に残りが悪く、大振りの破片は1点も無く、小破片ばかりで器壁も脆いものばかりであり、個体数で見ると大した数量はみられない。時期的には、多少文様の判断出来る資料から早期の稲荷山式、早水台式、下管生B式土器の幅が与えられそうである。石器類は、石鏃が調査区全体に疎らに出土した以外は、スクレイパーが数点確認されたのみで明瞭な製品はみられず、剥片の類いが多少目立っていたに過ぎないという状況であった。量的には細石器文化期のものに比べればはるかに少ないと思われるが、今後の整理作業で石材別の分布等により明確に出来るであろう。この時期の遺構としては「台石群」が目目される。



台石群遺構（上空より）

台石の分布は調査区西側の平場を中心にみられ、それらのほとんどは掘えられていたであろう状態で出土し、すべて平石で30cm以上検出された。形状は方形を呈しているものが多く、大きいものは縦29cm、横39cm、厚さ8cm程度、一般的なもので縦横23cm前後、厚さ4cm程度である。それらの検出層位はすべてIV層の上部から中部の位置であり、同時期に使用されていたと判断出来る。なお、これら台石の表面には敲打痕が残されていたが、それらの周囲の遺物の出土状況などから、一般的に想定され得る石器製作の植物食料の加工に使用していたとは全く考えられない。

前記以外には、三角鎌が11点以上のほか、草創期の所産と考えられる槍先形尖頭器が2点（基部1点、先端？1点）確認されている。

まとめ

遺跡地は、以前より旧石器・縄文時代の石器類が採集されることで知られていた。平成10年度の確認調査（今回調査区の南西～南方）では、VI層上部・VII層上部・VII層中部などで石器集中部が確認されたものの、本遺跡の性格を想像するまでには至らなかった。

今回の本調査の結果、その立地・環境、そして遺物組成のあり方などから、遺跡地を当時の人々が「狩猟」のみを目的とし、訪れ利用したと考えられる。

特筆されるものとして挙げられる「台石」については、その用途等が不明瞭であるが、前述の調査結果から、狩猟活動に関連する行為、つまり獲物の解体や骨類の打割、骨角器製作などの際に使用したとは想定出来ないだろうか。

何れにしても亀石山遺跡は、細石器文化期から縄文早期の人々の生業の中でも重要な位置を占めていたであろう「狩猟」という行為を考えて行く上での貴重な材料を提供してくれたと言えるでしょう。

（今田 秀樹）



発掘調査作業風景

文 献

今田秀樹「大分県日田郡天瀬町亀石山遺跡の調査」『第11回九州縄文研究会 熊本大会 九州の貝塚』九州縄文研究会 2001年2月24日

V. 平成12年度埋蔵文化財発掘調査一覧

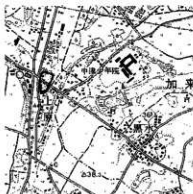
No.	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査期間	調査内容	調査原因	取り組み
1		大分市大字高堂	大分県教委	後藤 一重	000404	遺構・遺物なし	道路建設	工事着工
2		玖珠町大字森字小堀	*	後藤 一重	000612~000613	形盛石片、遺構なし	*	工事着工
3	荒尾、弘田全線	豊後高田市大字荒尾、弘田	*	後藤 一重	000615~000616	遺構・遺物なし	*	工事着工
4		大分市松岡	*	高橋 信武	000705~000706	土坑・柱穴	*	本調査
5	久保田遺跡	大分市松岡	*	高橋 信武	000707	遺構・遺物なし	*	工事着工
6		豊後高田市大字長岩屋	*	後藤 一重	000713	遺構・遺物なし	*	工事着工
7		別府市田ノ瀬	*	後藤 一重	000724~000725	遺構・遺物なし	*	工事着工
8	山ノ下遺跡	豊後高田市大字落	*	井川 泰成	000718~000719	溝	河川改修	本調査
9		豊後高田市大字高木	*	井川 泰成	000717	遺構・遺物なし	*	工事着工
10		宇日町大字田原	*	伊賀 俊一	000726~000727	遺構・遺物なし	道路建設	工事着工
11		本匠村大字井ノ上	*	伊賀 俊一	000801~000807	遺構・遺物なし	*	工事着工
12		宇佐市大字鎌田	*	後藤 一重	000804	遺構・遺物なし	*	工事着工
13	竹田城下町	竹田市大字竹田	*	後藤 一重	000811	遺構・遺物なし	*	工事着工
14		玖珠町大字日出生	*	後藤 一重	000904	遺構・遺物なし	*	工事着工
15		国東町大字足地	*	畑原 眞	000905	遺構・遺物なし	*	工事着工
16		久住町大字白丹	*	後藤 一重	000906	遺構・遺物なし	ダム	工事着工
17	上門子遺跡	千歳村大字下山	*	後藤 一重	001016	土坑・柱穴	道路建設	本調査
18	清次郎原遺跡	中津市大字加乘	*	後藤 一重	001020	溝	*	本調査
19		中津市大字万田	*	高橋・後藤	001024	遺構・遺物なし	*	工事着工
20	古庄畑遺跡	本耶麻呂町大字落合	*	後藤 一重	001101~02	土坑・柱穴	*	本調査
21	今市遺跡	宇佐市大字四日市	*	畑原 眞	001116~17	土坑・柱穴	*	本調査
22		日出町大字真藤井	*	後藤 一重	001107~08	遺構・遺物なし	*	工事着工
23		大分市大字園分	*	高橋 信武	001109	遺構・遺物なし	*	工事着工
24		宇佐市大字高家	*	後藤 一重	001109~10	遺構・遺物なし	*	工事着工
25		香々地町大字実	*	後藤 一重	001114	遺構・遺物なし	*	工事着工
26		庄内町大字藤野	*	高橋 信武	001127~28	遺構・遺物なし	*	工事着工
27		清川村大字宇田佐	*	後藤 一重	001128	遺構・遺物なし	*	工事着工
28		本耶麻呂町大字落合	*	後藤 一重	001129	遺構・遺物なし	*	工事着工
29		大分市大字安原	*	後藤 一重	010206	遺構・遺物なし	*	工事着工
30		杵築市大字中	*	後藤 一重	010208	遺構・遺物なし	河川改修	工事着工
31	上の原稲荷塚古墳	中津市大字水原	*	後藤 一重	001215	方墳1基	道路建設	本調査
32		大分市大字越崎	*	高橋・後藤	001127~001128	土坑	高校改築	本調査
33		別府市大字田原	*	高橋 信武	010207~09	土坑	河川改修	本調査
34		武蔵町大字糸原	*	高橋 信武	010223	遺構・遺物なし	民家住宅	工事着工
35		大剣町大字大寄	*	後藤 一重	010307	遺構・遺物なし	道路建設	工事着工
36		豊後高田市大字水崎	*	後藤 一重	010308	遺構・遺物なし	*	工事着工
37		三重町津留前	*	高橋 信武	010124	遺構・遺物なし	民家住宅	工事着工
38		日田市城内町	*	高橋 信武	010123	遺構・遺物なし	*	工事着工
39		中津市大字榎野	*	高橋 信武	010119	土坑1基	道路建設	本調査
40		大分市大字上野丘	*	高橋 信武	000821	溝・柱穴	高校改築	本調査
41		糸布坂町日出生	*	高橋 信武	000621	遺構・遺物なし	道路建設	工事着工
42	大森遺跡	日田市田島ノ下	*	山本 恭弘	000720~000921	縄文後期~弥生中期の溝状遺構	建物	本調査
43	上野第2遺跡	日田市上野字向原	*	山本 恭弘	001023~001227	弥生中~前期埴原古、古代の雑居建物	道路建設	本調査
44	長草地区	直入町大字下田北長草	直入町教委	橋本 一彦	010109~010110	遺構なし	農業施設改修	試掘調査
45	白坪城下町遺跡	臼杵市本町	臼杵市教委	神田 高士	000601~000715	戦国~江戸中期の町屋敷遺構	社屋建設	本調査
46	早史跡白坪城跡	臼杵市大字白坪	*	*	000722~000912	大友期の白坪城遺構	大門修復工事	本調査
47	*	*	*	*	001124~001130	今城門跡跡	排水溝設置	本調査
48	特史白坪遺産区	臼杵市前田	*	*	001011~001215	豊後仏前院部の調査	保存整備	本調査
49	長者原遺跡	中津市水原	中津市教委	高橋 章子	000612~000725	奈良時代の土坑	確認調査	埋土保存
50	大糸山妻崎島/下地区	中津市大字旧法	*	花崎 肇	000816~000901	溝	跡跡調査	埋土保存
51	上如水田地	中津市上如水	*	高橋 章子	000824~000825	遺跡なし	住宅建設替入	工事着工
52	石堂遺跡	中津市大字下池永	*	高橋・花崎	001024~010219	古代住居、中世城跡	農業関連	埋土保存
53	篠島遺跡東人垣地区	中津市篠島	*	花崎 肇	010216~010319	弥生時代の溝	弥生時代の溝	埋土保存
54	侍巻遺跡	中津市大字榎野	*	高橋 章子	010220~010327	古墳時代の溝、土坑	農業基盤整備	埋土保存
55	石柱遺跡	玖珠町大字意良原石柱	玖珠町教委	荒井 孝廣	001219~001221	遺跡なし	農道新設	試掘調査
56	日向遺跡	玖珠町大字桑木日向	*	*	001215~010131	弥生時代集落跡	パイプライン	本調査
57	郡山南遺跡	大野町大字郡山南	大野町教委	後藤 幹彦	000520~000930	弥生時代池穴及び貯蔵基	広域農道建設	本調査
58	見日地区	香々地町大字見日	香々地町教委	下村 精一	001210~001227	遺跡なし	パワコ用地	試掘調査
59	上田原遺跡	三重町大字上田原字桑本	三重町教委	藤岡 郁	000726~000728	遺跡なし	農業関係排水	工事着工
60	正徳寺生薬印塔	三重町大字上田原字牟礼堂	*	藤岡 郁	000803~000807	遺跡なし	寺院施設改修	工事着工

No	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査期間	調査内容	調査理由	取り扱い
61	石塚遺跡	三島町大字石塚字神ノ田	三島町教育委員会	藤岡 悠	001012~001018	近世の遺物の検出	地上金庫建設	工事停止
62	玉川地区	三島町大字玉川字堤下ほか	*	藤岡 悠	001120~001122	遺構なし	町道建設	工事停止
63	岡ノ上古墳	三島町大字平編字岡ノ上ほか	*	藤岡 悠	001219~000321	古墳の範囲を確認	造成地造成	現存保存
64	新田神社境内遺跡	宇佐市大字新田	宇佐市教育委員会	林 一也	000704~000707	近代の瓦葺より遺構・遺物なし	神社建設	試掘調査
65	別府・瀬江遺跡	宇佐市大字別府431外	*	江藤 和幸	000619~000717	古墳時代の住居跡2軒 古代の成立建物2	住宅再建設	本調査
66	高森遺跡	宇佐市大字高森1233外	*	江藤 和幸	000724~010330	大下郡時代の石室建物2棟、瓦葺	住宅造成	本調査
67	朝幡・川原遺跡(遺跡)	宇佐市大字北宇佐	*	川谷 浩	000310~001031	弥生時代の住居跡6軒 弥生時代の墓・カメ棺蓋1基 古墳時代の住居跡3軒 竊玉など	農産の造成	本調査
68	神橋・村野遺跡	宇佐市大字北宇佐	*	川谷 浩	000808~010206	弥生時代の住居跡3軒、古代土坑1基	福徳建設調査	本調査
69	耳塚遺跡	宇佐市大字石田59-1	*	林 一也	000821~000823	古代の溝1基	住宅建設	試掘調査
70	種田・津邊遺跡	宇佐市大字種田65-1	*	江藤 和幸	000920~000926	遺構・遺物なし	宅地造成工事	試掘調査
71	堀切・新井ノ上遺跡	宇佐市大字別府6546	*	林 一也	000822~001228	古墳時代の住居跡2基、カメ棺蓋 掘出調査	宅地造成工事	本調査
72	別府・中之遺跡	宇佐市大字別府483-1	*	佐藤良二	000714~000717	古墳時代の墓2基・棺蓋1基	排水路工事	本調査
73	種田・大久保遺跡	宇佐市大字種田295-1外	*	江藤 和幸	010219~010221	古墳時代の農家遺構・柱穴	宅地造成工事	試掘調査
74	別府・酒ノ上遺跡	宇佐市大字別府313	*	佐藤良二	001022~010330	古墳時代の住居跡2軒 古墳時代の柱穴など	*	試掘調査
75	中庭遺跡	宇佐市大字上田	*	川谷 浩	001124~010330	弥生時代の住居跡2軒 古墳時代の住居跡1軒など	都市計画道路	本調査
76	宇留敷・寺の館遺跡	宇佐市大字上田167-10	*	川谷 浩	010319~010330	時期不明の溝1基	住宅建設	試掘調査
77	小塚遺跡	宇佐市大字上乙女624	*	江藤 和幸	010306~010330	古代の住居の溝骨1基、柱穴	住宅建設	試掘調査
78	山出古石地区遺跡	萩原町大字山出	萩原町教育委員会	佐藤 祐二	010228~010302	弥生時代の土坑遺構	農業造成工事	試掘調査
79	堀切地区遺跡	萩原町大字堀切	*	*	001024~001025	弥生時代の土坑遺構	農業造成工事	本調査
80	平塚遺跡	萩原町大字平塚	*	*	000621~000623	弥生時代の土坑遺構	造成工事	本調査
81	大池地区遺跡	萩原町大字大池	*	*	010312~010314	弥生時代の土坑遺構	農業造成工事	本調査
82	赤井原地区遺跡	萩原町大字赤井原	*	*	001127~001201	近世の埋蔵物・遺構なし	道路建設	埋蔵物の処理
83	朝野山古墳	萩原町大字朝野	*	*	010315~010323	石室と周溝	*	埋蔵物の処理
84	杉ノ子遺跡	天理町大字五馬市	天理町教育委員会	今田 秀樹	000405~000601	弥生時代後期中葉~後葉期文化層 18軒 唐土瓦葺遺構1基	農業構造改善	本調査
85	亀石山遺跡	天理町大字出口亀石山	*	今田 秀樹	000519~001027	旧石室時代終末の前期の遺物 集積部と壁一の遺物 弥生時代早期の遺物集積部 と「台石群」規模3.4m	造成工事	本調査
86	北野遺跡	久住町大字北野	久住町教育委員会	藤田 幸雄	000501~000519	弥生時代の瓦・近世土坑・ビッド	国道整備工事	本調査
87	久住遺跡	久住町大字久住	*	藤田 幸雄	001101~010330	弥生~古墳時代の土坑、瓦葺遺構	*	本調査
88	佐伯市城下東町	佐伯市城下東町	佐伯市教育委員会	吉武 敦子	000810	遺構なし	地盤改良工事	工事停止
89	佐伯市門前	佐伯市門前	*	吉武 敦子	000621~000621	遺構なし	宅地造成	工事停止
90	佐伯市城下西町	佐伯市城下西町	*	吉武 敦子	001024	遺構なし	共同住宅	工事停止
91	日向町3遺跡	日向町大字大字日向	日向町教育委員会	阿部 敏久	000928~001031	中世の堀、土坑	農業造成工事	本調査
92	宍谷城跡	日向町大字宍谷の1	*	阿部 敏久	001114~010308	近世遺構	学校建設	本調査
93	久保山(宇佐)城跡	豊後高田町大字長井山	豊後高田町教育委員会	若原 真吾	010201~010331	10世紀・ビッド	高地造成工事	本調査
94	森の下遺跡	豊後高田町大字森下	*	若原 真吾	000906~000929	石室・土坑	農業造成工事	試掘調査
95	山ノ下遺跡	豊後高田町大字山ノ下	*	若原 真吾	010315~010330	溝	造成工事	本調査
96	松山遺跡2号墳	豊後高田町大字松山	*	若原 真吾	001108~001226	土壇・ビッド・溝	防災事業	本調査
97	井上泉田遺跡	鏡方町大字井上大字大井山	鏡方町教育委員会	高野 弘之	010201~010331	水廻り跡、水路遺構	農業造成工事	保存協議
98	下自在・東邊野群	鏡方町大字免押字東山	*	高野 弘之	010320~010331	古瓦葺の伝来遺構	農産造成	遺構なし
99	東原遺跡	鏡方町大字下自在字東原	*	高野 弘之	010215~010320	築物又は積石屋	造成工事	現存保存
100	川原遺跡	別府市大字川原4丁目	別府市教育委員会	水野 康洋	010703	遺構・遺物なし	共同住宅	工事停止
101	新木芳元遺跡	別府市石垣19丁目	*	水野 康洋	010918	遺構・遺物なし	*	工事停止
102	藤野寺跡	村高寺町	村高寺町教育委員会	平川 啓俊	001124	遺構なし	施設改修	工事停止
103	竹ノ尾城跡	別府市竹ノ尾	*	平川 啓俊	010219~010215	土壇	農業造成	本調査
104	狭間町大字下市	狭間町大字下市	狭間町教育委員会	山田 尚志	011002	遺構・遺物なし	共同住宅	試掘調査
105	狭間町大字北上	狭間町大字北上	*	山田 尚志	010328	遺構・遺物なし	*	試掘調査
106	大友城跡	野津町大字宮原字寺小町	野津町教育委員会	轟田 大輔	010215~010915	遺構	石造物修理	本調査
107	日田赤土上子地区	日田市大字赤土上子町121	日田市教育委員会	若杉 竜太	000417~000512	中世のビッド	宅地造成	本調査
108	日田赤土下子地区	日田市大字赤土下子町180-1	*	轟田 大輔	000417~000508	弥生時代の溝、古代の溝、瓦葺	道路建設	本調査
109	長吉原遺跡	日田市小山字神原195-2	*	若杉 竜太	000518~000510	弥生時代の遺構、古墳時代の墓	宅地造成	本調査
110	手塚遺跡	日田市高瀬町手塚1225-1	*	行村 志郎	000618~000721	古代の住居跡、ビッド	農産造成	建設調査

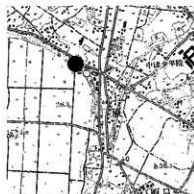
№	遺跡名	所在地	調査主体	調査担当者	調査期間	調査内容	調査事項	取組
111	本村遺跡2次	日南市小湊字神鏡1146番地	日南市教委	行時 健雄	000712～000721	弥生～古代の住居跡、建物、中世の墓。溝	現地改良	本調査
112	吹上遺跡11次	日田市友田字上原1264-1番地	*	行時、下村	000722～000811	弥生～古代の住居跡、建物、中世の墓。溝	確認調査	確認調査
113	二和和川遺跡1区	日南市二和字大塚2479-1番地	*	巻形 竜太	000829～000913	ビット	地盤整備	本調査
114	大行寺遺跡	日田市倉田字平塚5119番地	*	長道 隆行	000829～001120	古墳～古代の住居跡、建物	農田造成	本調査
115	玄宮古墳	日南市小湊字天神山1580番地	*	行時、下村	000918～001003	古墳の確認	確認調査	確認調査
116	高瀬泉里上野寺地区	日南市高瀬字平ノ口663-1	*	行時 志郎	001202～001115	中世の建物	宅地造成	本調査
117	阿波川遺跡	日南市小湊字尾田808-1	*	阿波川建設	001205～001225	古墳～古代の住居跡、建物、溝	*	本調査
118	大塚泉里下野内地区	日南市豊岡内字小塚4414番地	*	六田 行樹	001204～010228	縄文時代の土坑、ビット、溝	農田造成	本調査
119	公孫山遺跡	日田市高字公所山153 1	*	行時 志郎	001212～001218	近世の土坑	確認調査	確認調査
120	後追遺跡	日南市三和町遺跡	*	巻形 竜太	010113～010323	弥生時代の住居跡、貯蔵、ビット	調査改良	本調査
121	大塚泉里吉竹地区	日南市大塚町野崎453 1番地	*	長道 隆行	000129～010330	古墳～古代の住居跡、建物、溝、土坑、包含物	農田造成	本調査
122	本村遺跡3次	日南市高瀬字本村30番地4番地	*	行時、巻形	010213～010328	弥生～古代の住居跡、建物	宅地造成	本調査
123	元宮遺跡5次	日田市高瀬字元宮604-1	*	行時 志郎	010306～010312	石積み、土坑	土砂改良	本調査
124	北瀬川遺跡	竹田市大字竹川	竹田市教委	巻形 健	000508～010330	江戸時代の家老屋敷跡	土砂整備	本調査
125	越下町遺跡	竹田市大字金ヶ	*	巻形 健	001117～001130	近世～近代	観光施設	確認調査
126	狭間地区	竹田市大字狭間	*	高田 博幸	001027～001222	古墳	農田造成	確認調査
127	片ヶ瀬遺跡	竹田市大字片ヶ瀬	*	高田 博幸	000523～000908	弥生～古墳時代の住居跡	*	確認調査
128	平井月並遺跡	竹田市大字片ヶ瀬	*	高田 博幸	000711～001130	弥生時代の住居跡、溝	農田水利施設	調査・確認
129	片ヶ瀬遺跡	竹田市大字片ヶ瀬	*	高田 博幸	001027～010228	弥生時代の住居跡、中世の孤立柱建物跡	調査建設	本調査
130	大丘丘遺跡第6次調査	大分市御膳町	大分市教委	巻形 健司	000516～010330	弥生～古墳期、黒石遺跡、溝	確認調査	保存
131	大丘丘遺跡第7次調査	大分市御膳町	*	巻形 健司	000713～010330	弥生期、土坑	*	保存
132	大丘丘遺跡第8次調査	大分市御膳町	*	巻形 健司	000829～000330	弥生期、土坑	*	保存
133	大丘丘遺跡第9次調査	大分市御膳町	*	巻形 健司	010308～010330	弥生期、溝、土坑、埋納遺構	*	保存
134	古古墳群	大分市大字里辻	*	巻形、高橋	000302～000906	方石塚、前方後円墳(弥生) 弥生～近世 第六円墳(弥生)古墳	土地区画整理	本調査
135	下野遺跡第115次	大分市大字下野	*	坪根 伸也	000209～000714	弥生期(3世紀)	*	本調査
136	下野遺跡第126次A	大分市大字下野	*	坪根 伸也	000421～000502	弥生期(弥生)	学校建設	本調査
137	下野遺跡第126次B	大分市大字下野	*	坪根 伸也	000601～000802	弥生期(弥生)	農田造成	本調査
138	下野遺跡第126次C	大分市大字下野	*	坪根 伸也	000810～000822	古墳時代(弥生)の土坑、弥生期(弥生) - 近世遺構	*	本調査
139	下野遺跡第126次D	大分市大字下野	*	坪根 伸也	000817～000824	弥生期(弥生)	土坑	本調査
140	下野遺跡第126次E	大分市大字下野	*	坪根 伸也	001127～001129	弥生期(弥生)	*	本調査
141	下野遺跡第127次	大分市大字下野	*	巻形 正人	001022～010330	弥生期(弥生)	土地区画整理	本調査
142	下野遺跡第128次	大分市大字下野	*	巻形 正人	001217～010330	近世遺構(遺構)・井戸跡、中世	*	本調査
143	下野遺跡第129次	大分市大字下野	*	坪根 伸也	001026～001027	土坑(弥生)	浄化槽設置	本調査
144	下野遺跡第130次	大分市大字下野	*	坪根 伸也	001110～001208	近世遺構(遺構)・井戸跡、近世墓	土地区画整理	本調査
145	下野遺跡第131次	大分市大字下野	*	坪根 伸也	001207～010203	弥生時代(弥生)の土坑、近世遺構	*	本調査
146	下野遺跡第132次	大分市大字下野	*	巻形 正人	010122～次年度	中世(鎌倉) 中世墓	*	本調査
147	横川遺跡第70次	大分市大字横川	*	巻形 隆一	000605～000830	16世紀(鎌倉)	本調査	本調査
148	横川遺跡第80次	大分市大字横川	*	巻形 隆一	000707～001005	土坑(鎌倉)	16世紀(鎌倉)	本調査
149	横川遺跡第81次	大分市大字下野	*	巻形 隆一	000930～001102	鎌倉(鎌倉)	16世紀(鎌倉)	本調査
150	横川遺跡第82次	大分市大字下野	*	巻形 隆一	001010～継続中	鎌倉(鎌倉)	16世紀(鎌倉)	本調査
151	長瀬遺跡	日南市大字牧字長瀬	*	巻形 千太郎	000413～000619	墳墓 土坑 ビット	宅地造成	本調査
152	下野川6号墓	大分市大字下野字加納	*	巻形 千太郎	000823～001019 010117～010331	墳墓16基	*	本調査
153	平井塚古墳	大分市大字平井塚	*	巻形 典幸	000808～001110	前方後円墳の周溝	*	本調査
154	玉沢地区東野第2次	大分市五沢字長瀬	*	巻形 典幸	000401～000624	弥生時代の遺構	大型店舗建設	本調査
155	南赤池遺跡第2次	大分市赤池町	*	阿部 公徳	010201～010331	古代の土坑 井戸 焼土	土地区画整理	本調査
156	新塚遺跡	国東町大字楠川字キリウ	国東町教委	藤本 啓二	000927～001120	古代の孤立柱建物跡、16世紀(鎌倉)・奥平塚	文化施設建設	本調査

VI. 平成12年度新発見遺跡一覧及び周知遺跡変更一覧

No.	遺跡名	所在地	立地	種別	台帳番号
1	清次郎原遺跡	中津市大字加東字清次郎原	台地	不明(溝・ピット)	101129
2	上ノ原稲荷塚古墳	中津市大字永添	台地	古墳	101130
3	前田遺跡	中津市大字伊藤田84番地1外	河川敷	集落	101135
4	古田遺跡	中津市大字榑野字古田	その他(丘陵縁辺部)	包蔵地	101131
5	古庄屋遺跡	下毛郡本耶馬溪町大字蔭合字古庄屋	河岸段丘	その他(扇状跡)	104017
6	今市遺跡	宇佐市大字四日市宇今市	河岸段丘	包蔵地	107230
7	山ノ下遺跡	豊後高田市大字路字山ノ下	河岸段丘	不明(溝・ピット)	102189
8	トガリ遺跡	東国東郡安岐町大字中瀬字トガリ	沖積地	集落	219046
9	川ベタ遺跡	東国東郡安岐町大字中国字川ベタ	沖積地	集落	219047
10	四反州遺跡	東国東郡安岐町大字中国字四反州	沖積地	集落	219048
11	田向第3遺跡	遠見郡日出町大字大樽字田向	台地	その他(屋敷跡)	220095
12	下高江横穴墓群	大分市大字中判田字下高江	丘陵斜面	横穴墓	322345
13	久保田遺跡	大分市大字毛井字久保田	沖積地	集落	322345
14	新殿廻道遺跡	大野郡千歳村大字新殿字岡	台地	集落	548041
15	上門字遺跡	大野郡千歳村大字上門字門	台地	城跡跡	548040



清次郎原遺跡 (1/25,000「土佐井」)



上ノ原稲荷塚古墳 (1/25,000「土佐井」)



前田遺跡 (1/25,000「土佐井」)



古田遺跡 (1/25,000「宇佐」)



古庄屋遺跡 (1/25,000「耶馬溪東部」)



今市遺跡 (1/25,000「宇佐」)



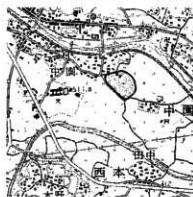
山ノ下遺跡 (1/25,000「両子山」)



トガリ遺跡 (1/25,000「下原」)



川ベタ遺跡 (1/25,000「下原」)



四反田遺跡 (1/25,000「下原」)



田向第3遺跡 (1/25,000「田築」)



下高江横穴墓群 (1/25,000「田築」)



久保田遺跡 (1/25,000「田築」)



新殿岡遺跡 (1/25,000「田中」)



上門手遺跡 (1/25,000「田中」)

周知遺跡変更一覧

No.	遺跡名	所在地	立地	種別	台帳番号
1	光広遺跡	東国家郡安岐町大字中園字光広	神代地	集落	219016
2	毛井遺跡	大分市大字毛井字等の前外	神代地	包蔵地	322332



光広遺跡 (1/25,000「下原」)



毛井遺跡 (1/25,000「田築」)

Ⅶ. 現地説明会・展示会・講演会・シンポジウム・研修・行事イベント一覧

現地説明会

名 称	主 催	内 容	期 日	参加人数
文化財探偵	川内町教育委員会	町議会議員と共に調査定・町指定の文化財について現地で説明を受ける。	平成12年9月27日	8人
大津留地区の文化財を巡って	＊	大津留地区の文化財を巡り、それについての説明を受ける。	平成12年10月26日	30人
別荘・別荘上遺跡発掘現地説明会	宇治市教育委員会	方形周溝溝より出土した人骨・土器、小児埋合せりカメ残骸などを一般公開した。	平成12年9月9日～ 9月10日	約230人
東粟津比瓶風船保存修理工事	京珠町教育委員会	帆風船の建築方法や構造と保存部理事業の説明	平成13年3月3日	120人
長久瀬遺跡4次発掘現地説明会	日田市教育委員会	長久瀬遺跡で確認された須弥・聖穴石室の調査説明	平成12年7月22日	122名
中倉大支店内町跡	大分市教育委員会	万寿寺南側の岡城跡の遺物・遺構	平成12年6月14日	150人
辻古墳跡	大分市教育委員会	内城溝跡と出土埴輪の展示	平成12年9月9日	130人
大友氏祖庭跡6・7次	大分市教育委員会	館跡の中庭遺跡と土壇施設	平成12年10月13日	150人
千人塚古墳	大分市教育委員会	6世紀代の古方鏡印痕	平成12年10月29日	130人
上ノ原町発掘古墳	大分県教育委員会	8世紀の古墳	平成13年2月24日	30人
古山遺跡跡	大分県教育委員会	中倉の船跡	平成13年3月10日	105人
毛井遺跡	大分県教育委員会	古墳時代の集落跡	平成12年10月7日	68人
大友関連遺跡	大分県教育委員会	中倉の城下町跡	平成13年2月6日	

展 示 会

名 称	主 催	内 容	期 日	会 場	参加人数
戦国ふるさとの所産品展	ふるさとの所産品 展実行委員会	豊後国産を支えた文人たちの書画及び長編に選んだ 文人たちの遺墨展	平成13年3月1日 ～3月5日	直入町中央公民館	150人
最後の日竹筒-頼朝氏の御用常世まぼろしの竹筒状	中国陶産品館	幕末用竹筒で焼かれた日竹筒(木広輪)についての 展示	平成12年4月20日 ～7月23日	中国陶産品館	656人
船越氏口内城400年	市立図書館	日竹筒主要家系にまつわる数々の資料展示	平成12年12月23日	市立図書館	約500人
大分県文化財巡視団「壺の壺明」	大分県教育委員会	県内及び別府市で見えられた遺物・写真パネルの展示	平成12年12月23日	別府市役所	1,030人
大分県歴史文化財巡視団「壺の壺明」	大分県教育委員会	県内及び三島町で見えられた遺物・写真パネルの展示	平成12年12月23日	三島町中央公民館	1,000人
考古学「宇治平野を巡る」	宇治市教育委員会	近年発掘調査を実施した遺跡の写真パネルや遺物を 展示した。	平成12年4月22日 ～6月18日	宇治市民図書館 藤原記念ギャラリー	約1,000人
熊谷記念特別展 阿蘇 二日市陶六35th	九尾町教育委員会	二日市陶六出土品を主として県内外の縄文時代の遺物 の展示	平成12年4月23日 ～5月21日	九尾町歴史資料館	571人
日田市内陶産品展	H日田教育委員会	建設法人「熊谷製陶所」の協力を得て、江戸時代 から昭和までの著名な陶家の逸品と熊谷製陶所関係の 史料を一堂に集め、作品展開催。	平成12年5月13日 ～14日	H日田小学校体育館	750人
遺物展示会	豊後高田市教育委員会	豊後高田市で出土した遺物を展示	平成13年1月27日	中央公民館	150人
第19回特別展「豊後国のかみ一古代の 役所とくらし」	大分市歴史資料館・ 大分市教育委員会	奈良・平安時代の役所をテーマに当時、最大の役所の あった日本の都 平城京や平安京、或いは九州を統括 していた役所-太宰府などから出土した資料を展示し、 当時の役所・役人とその暮らしを紹介し、併せて 關土大分(豊後国)に展開していた地方の役所の様 子を展示。	平成12年10月27日 ～11月26日	大分市歴史資料館	4,323人
テーマ展示Ⅰ「府内産と豊後産編」	同上	大分川の河口にあって豊後最大の城下町を有した府 内産と、大野川の河口に位置し肥後藩の参勤交代の 港が認められた豊後鶴岡をとりあげ、その歴史を振り返る。	平成12年4月29日 ～6月25日	大分市歴史資料館	2,792人
テーマ展示Ⅱ「西洋文明との出会い と交流」講演会・シンポジウム	同上	フランススコ・ゴッビエルの来訪を契機に広まった キリスト教をはじめとする西洋の文化、つづく江戸 時代の「蘭館」における蘭学の発展等にみられる 西洋と日本との交流の歴史を、大分との関わりの中 で紹介。	平成12年7月8日 ～9月24日	大分市歴史資料館	2,192人
テーマ展示Ⅲ「古戦場の世界-壊れた 江戸時代の大分」	同上	城跡館、藩政館、村治館などの当館が所蔵する古戦 場を一堂に展示し、江戸時代の大分を振り返った。	平成12年12月2日～ 平成13年1月28日	大分市歴史資料館	1,568人
テーマ展示Ⅳ「市内発掘情報Ⅱ」	同上	市内の発掘調査の成果から、大友船跡、松岡古窯跡 など、近年発見された注目すべき遺跡や遺物を紹介。	平成13年2月3日 ～3月31日	大分市歴史資料館	2,144人

講演会・シンポジウム

名 称	主 催	講 師	内 容	期 日	会 場	参加人数
純文人の暮らしと九条町	九重町教育委員会	原川 光典		9月25日(木)	九重ツカセンター	80人
名もなき藩が興った陶工墓石	中国陶瓦美術館	市文化財調査委員会 委員長 佐々木正憲	米広徳に誘われた陶工墓について	9月28日(日)	中国陶瓦美術館	39人
謎に包まれた米広徳	*	市文化財調査員 副 堀 徹	陶工や技術者地域との交との関わりについて	9月28日(日)	*	45人
市民環境歴史講座 「山から見た平岳の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	別府大学教授 八幡 和典	「里の寺と山の仏教」と題し、九州古代文化を背景させた仏教文化について、山岳仏教と仏像との関係をお話される。	9月29日(月)	宇佐文化会館ホール	69人
市民環境歴史講座 「山から見た宇佐の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	大野野生生物研究センター 長立 浩行	「宇佐の神積野と動物植物」と題し、宇佐平野の農耕社会と動物植物のくらしと多様性などを語る。	9月29日(月)	別府大学研究センター	56人
市民環境歴史講座 「山から見た宇佐の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	別府大学教授 後藤 宗俊	「里の寺と山の仏教」と題し、古代宇佐仏教の成立と発展について御法蓮の事蹟を御紹介しながら語る。	9月29日(月)	宇佐文化会館ホール	58人
市民環境歴史講座 「山から見た平岳の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	別府大学教授 飯沼 賢司	「八幡神と神」と題し、八幡神の成立から国家神への発展と在地神との関係をご文書から探る。	9月29日(月)	別府大学研究センター	37人
市民環境歴史講座 「山から見た平岳の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	別府大学教授 上 達康	「豪門修験の文化と芸術」と題し、豊後山岳信仰の歴史をどうつづけて現在語られている民衆信仰などを語る。	9月29日(月)	別府大学研究センター	36人
市民環境歴史講座 「山から見た平岳の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	宇佐市教育委員会 江藤 和幸	「宇佐周辺の(旧)赤瀬川」と題し、最近の考古学の調査成果をお話して、赤瀬川と山との関わりを語る。	9月29日(月)	別府大学研究センター	47人
市民環境歴史講座 「山から見た平岳の歴史と自然」	宇佐市教育委員会	福井歴史博物館学芸員 福井 成昭	「里の山と山の開発」と題し、里の山々の歴史を山との関わりを御人直して語る。	9月29日(月)	別府大学研究センター	43人
「第15回」城下かわい祭り」前夜祭	日守町城下かわい祭り実行委員会	パネリスト 木下 義俊 梶足尚平子 河野 俊介 倉住 雄二 進行 想男 保次	「城下かわいを元んだ町」日守「歴史散歩」をテーマに、それぞれの立場で日守町の歴史について、パネルディスカッションを行う。	9月29日(月)	日守町中央公民館	450人
国境シンポジウム	熊野町・湖国町教育委員会	別府大学教授 松上 謙雄	地域伝承民謡	9月30日(火)	はさま楽会館	150人
特別展記念講演	大分市歴史資料館	山中 敏史氏 (奈良国文化財研究所)	古代に地方都市があったか	9月30日(火)	大分市歴史資料館	78人
ふるさと歴史講座 歴史コース①	大分市歴史資料館	武吉 喜重氏(当麻職員)	血祭八幡宮の天宮化について	9月30日(火)	大分市歴史資料館	91人
ふるさと歴史講座 歴史コース②	大分市歴史資料館	飯沼 弘道氏(当麻職員)	御寺制と地方自治 御寺から藩町へ	9月30日(火)	大分市歴史資料館	70人
ふるさと歴史講座 歴史コース③	大分市歴史資料館	武吉 喜重氏(当麻職員)	血祭八幡宮の御神事について	9月30日(火)	大分市歴史資料館	80人
ふるさと歴史講座 歴史コース④	大分市歴史資料館	伊藤 豊洋氏 (大分県立情報科学高校教諭)	大分の近世に生きていた人々	9月30日(火)	大分市歴史資料館	86人
ふるさと歴史講座 歴史コース⑤	大分市歴史資料館	安田 基子氏 (大分県立史学館主任研究員)	藤原朝輔「鼻皇様」と呼ばれた男	9月30日(火)	大分市歴史資料館	87人
ふるさと歴史講座 歴史コース⑥	大分市歴史資料館	宇野 義人氏 (大分県立史学館主任研究員)	江戸の山陰幕後 幕末の幕府	9月30日(火)	大分市歴史資料館	65人
ふるさと歴史講座 歴史コース⑦	大分市歴史資料館	藤井 尚昭氏 (大分県立歴史博物館学芸員)	国東の荘園	9月30日(火)	大分市歴史資料館	79人
ふるさと歴史講座 歴史コース⑧	大分市歴史資料館	吉良 昭光氏 (大分県立総合文化センター学芸員)	志賀(近地)御寺と古寺について	9月30日(火)	大分市歴史資料館	85人
ふるさと歴史講座 歴史コース⑨	大分市歴史資料館	林 文輝氏 (福岡県博物館学芸員)	博多御前一編御前	9月30日(火)	大分市歴史資料館	86人
ふるさと歴史講座 考古コース①	大分市歴史資料館	大村鏡太郎氏(当麻職員)	考古学を駆使する 福岡比ごまで語る	9月30日(火)	大分市歴史資料館	87人
ふるさと歴史講座 考古コース②	大分市歴史資料館	新本 嘉弘氏 (大分県教育庁文化課主幹)	九州における縄文時代の遺跡	9月30日(火)	大分市歴史資料館	94人
ふるさと歴史講座 考古コース③	大分市歴史資料館	楠 真由氏 (別府大学文学部教授)	大分における旧石器時代の遺跡	9月30日(火)	大分市歴史資料館	78人
ふるさと歴史講座 考古コース④	大分市歴史資料館	守吉 武高氏(当麻職員)	大分における縄文時代の遺跡	9月30日(火)	大分市歴史資料館	85人
ふるさと歴史講座 考古コース⑤	大分市歴史資料館	飯沼 昭一氏 (大分県教育庁文化課主幹)	遺跡の基盤—大分県東部々地野良小郡—上平入集落地の紹介	9月30日(火)	大分市歴史資料館	62人
ふるさと歴史講座 考古コース⑥	大分市歴史資料館	小塚 和憲氏 (大分県教育庁文化課主幹)	宇佐の墓制	9月30日(火)	大分市歴史資料館	68人
ふるさと歴史講座 考古コース⑦	大分市歴史資料館	中西 武高氏(当麻職員)	大分における古代の墓制	9月30日(火)	大分市歴史資料館	81人

名 称	主 催	講 師	内 容	期 日	会 場	参加人数
ふるさと歴史講座 考古コース②	大分市歴史資料館	村江 久和氏 (大分県教育庁文化課長(兼務))	大分における古墳時代の集積	4月19日(9日)	大分市歴史資料館	70人
ふるさと歴史講座 考古コース③ 特別講座	大分市歴史資料館	葉末 純一氏 (福岡大学文学部教授)	朝鮮の墓から何がわかるか-筑紫土 器-原三國時代を中心に	4月19日(9日)	大分市歴史資料館	88人
ふるさと歴史講座 民俗コース①	大分市歴史資料館	佐藤 貞由氏(民俗研究家)	いはるはるとと南部給養	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	77人
ふるさと歴史講座 民俗コース②	大分市歴史資料館	段下 達雄氏 (福岡大学文学部教授)	ケブレ(籠)と籠い	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	65人
ふるさと歴史講座 民俗コース③	大分市歴史資料館	夜篠貞治氏(民俗研究家)	土師製器アラクハト大分を中心として	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	71人
ふるさと歴史講座 民俗コース④	大分市歴史資料館	小池 立矢氏 (大分県立先史博物館館長)	農中信仰	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	77人
ふるさと歴史講座 民俗コース⑤	大分市歴史資料館	菅野 解宏氏 (大分県立歴史博物館学芸員)	占い・算・暦神	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	80人
ふるさと歴史講座 民俗コース⑥ 特別講座	大分市歴史資料館	山中 新作氏 (西南学院大学教授)	九州の河童-英渡川を中心に	4月20日(10日)	大分市歴史資料館	81人
ふるさと歴史講座 古文書コース①	大分市歴史資料館	武富 雅宣氏(当館職員)	儀礼文書	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	89人
ふるさと歴史講座 古文書コース②	大分市歴史資料館	長岡 弘道氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	91人
ふるさと歴史講座 古文書コース③	大分市歴史資料館	武富 雅宣氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-二付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	89人
ふるさと歴史講座 古文書コース④	大分市歴史資料館	長岡 弘道氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-二付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	93人
ふるさと歴史講座 古文書コース⑤	大分市歴史資料館	武富 雅宣氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	78人
ふるさと歴史講座 古文書コース⑥	大分市歴史資料館	長岡 弘道氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-二付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	81人
ふるさと歴史講座 古文書コース⑦	大分市歴史資料館	長岡 弘道氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	79人
ふるさと歴史講座 古文書コース⑧	大分市歴史資料館	武富 雅宣氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-二付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	74人
ふるさと歴史講座 古文書コース⑨	大分市歴史資料館	長岡 弘道氏(当館職員)	府内藩記録「国給回之儀-二付覚書」	4月21日(11日)	大分市歴史資料館	85人

研 修

名 称	主 催	講 師	内 容	期 日	会 場	参加人数
前任者研修会	大分県教育委員会	文化課中野田資料室	歴史文化財の保存と活用 発掘体験	4月24日(15日)		44人
新任者研修会	大分県教育委員会	文化課中野田資料室	歴史文化財の保存と活用 発掘体験	4月27日(18日)		45人
前任者研修会	大分県教育委員会	文化課中野田資料室	歴史文化財の保存と活用 発掘体験	4月28日(19日)		46人
市町村文化財担当部署研修会	大分県教育委員会	文化課中野田資料室	歴史文化財の継子継女 その他	4月29日(20日)		64人
関係部局担当研修会	大分県教育委員会	文化課中野田資料室	*	4月29日(20日)		56人
庄内町の歴史学習	庄内町教育委員会	町中央公民館	「阿南の辻」について	4月29日(20日)		23人
大津地区の文化・文化財	庄内町教育委員会	町中央公民館	大津郡小中学校での文化・文化財につ いての授業実践の発表	4月29日(20日)		30人
第13回歴史の散歩道	朝日町教育委員会	朝日町~熊本県産山村代	「肥後街道」を辿り、往時の参勤交 代と人々の生活を偲ぶ。	4月29日(20日)		35人
第14回歴史の散歩道	朝日町教育委員会	朝日町~大朝町船	河津参勤交代道「鶴崎道」跡の交差 を辿る。	4月29日(20日)		27人

行事・イベント等

名 称	主 催	講 師	内 容	期 日	会 場	参加人数
八幡島祭典	歴史民俗文化祭実行委員会	六磨講山由	宇佐神宮祭生会の中日に実施し六磨講山由による 唐土舞や蓬萊舞奉納による舞臺などを実施した。	4月30日(21日)	和歌山公園歴史民俗館	150人

Ⅶ. 2000年度（平成12年度）埋蔵文化財関係文献一覧

A. 県教育委員会

- ・文化課編『豊後への道—九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査（県境～大分間）総集編』2001-3
- ・染谷和徳編『大分県埋蔵文化財年報』9 平成11（1999）年度版 2001-3
- ・友岡信彦編『後追遺跡』（九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査（県境～大分間）18）2001-3
- ・田中裕介編『日田市高瀬遺跡群の調査3 上野第1遺跡』（日田バイパス3）2001-3
- ・野崎祈司『下ノ山遺跡—東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書1—』（大分県文化財調査報告書114）2001-3
- ・衛藤麻衣・坂本嘉弘『清太郎遺跡—東九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書2—』（大分県文化財調査報告書115）2001-3
- ・村上久和・山本恭弘『大波羅遺跡』（大分県文化財調査報告書116）2001-3
- ・栗原 眞・染矢和徳・戸崎 文『富貴寺遺跡（東地区）』（大分県文化財調査報告書117）2001-1
- ・後藤一重『虫喰谷遺跡』（大分県文化財調査報告書118）2001-3
- ・後藤一重『安国寺遺跡』（大分県文化財調査報告書119）2001-3
- ・後藤一重『大園遺跡』（大分県文化財調査報告書120）2001-3
- ・後藤一重編『毛井遺跡A地区』（大分県文化財調査報告書121）2001-3
- ・甲斐寿義・山路康弘・栗田勝弘『二目川遺跡』（大分県文化財調査報告書122）2001-3
- ・栗原 眞・染矢和徳『上野遺跡群大分上野丘高校地区』（大分県文化財調査報告書123）2001-3
- ・坂本嘉弘『行者塚塚原古墳』（大分県文化財調査報告書124）2001-3
- ・玉永光洋・佐伯 治・西 哲弘『西山社製紙工場跡・旧古町橋跡・吉田家屋敷跡・武藤家屋敷跡・上家屋敷跡・山学館跡』（大分県文化財調査報告書125）2001-3
- ・栗原 眞『浮殿遺跡』（大分県文化財調査報告書127）2001-3
- ・宮内克己『郡野原田遺跡』（大分県文化財調査報告書128・久住町文化財調査報告9）2001-3
- ・栗原 眞『尾鼻遺跡』（大分県文化財調査報告書129）2001-3
- ・小柳和室『城前遺跡』（大分県文化財調査報告書130）2001-3

B. 大分県立歴史博物館

- ・『大分県立歴史博物館年報1999』2000-5
- ・高橋敬編『古代土壌への道—再発見 九州島—』（平成12年度特別展図録）2000-10
- ・『大分県立歴史博物館研究紀要』2 2001-3
高橋 敬「大分の弥生・古墳時代土器編年」P1~32
山田拓信「青銅鏡の蛍光X線分析—研究ノート—」P33~44
- ・『おおいた歴史博』7 2000-8
- ・『おおいた歴史博』8 2001-1
甲斐寿義「中世大友府内町跡出土のコンタ」P7
- ・『おおいた歴史博』9 2001-3
- ・宮内克己・櫻井成昭・櫻邊文雄『六郷山寺院遺構確認調査報告書』Ⅸ 2001-3
- ・『豊後国安岐郷』2（国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査概報）2001-3

C. 市町村教育委員会

- ・花崎 徹・高崎幸子『大悟法条里跡池ノ下地区 福島遺跡入塚地区 長者屋敷遺跡』(2000年度中津地区遺跡群発掘調査概報XⅡ 中津市文化財調査報告25) 中津市教育委員会 2001-3
- ・高崎幸子・小川富士雄・和在野久男『長者屋敷遺跡』(中津市文化財調査報告26) 中津市教育委員会 2001-3
- ・平田由美『三光村の遺跡』(三光村文化財調査報告書3集) 三光村教委 2001-3
- ・小橋和宏・富田 剛『岸の上遺跡』(耶馬溪町文化財調査報告2) 耶馬溪町教育委員会 2001-3
- ・河野典之・岩男真吾・永田裕久・遠部慎『高宇田桑里遺跡 高宇田桑里遺跡貝元地区』(豊後高田市文化財調査報告7) 豊後高田市教育委員会 2000-12
吉田和彦『貝元遺跡出土の「無頭脚付壺」について』P99~107
- ・河野典之・岩男真吾・永田裕久『豊後高田地区遺跡群発掘調査概報』XⅦ 豊後高田市教育委員会 2001-3
- ・永松みゆき・藤本啓二『安国寺遺跡(古瀬2地区) 安国寺遺跡(割田1地区) 原遺跡(餅田3・4地区) 原遺跡(原ノ下1・2地区) - 県営農場整備国東川南地区関係発掘調査報告書-』(国東町文化財調査報告21) 国東町教育委員会 2001-3
- ・藤本啓二『原遺跡(亀井1地区) 原遺跡(平原1地区) 原遺跡(七郎丸1地区) - 県営農場整備国東川南地区関係発掘調査報告書-』(国東町文化財調査報告22) 国東町教育委員会 2001-3
- ・永松みゆき『国史跡 安国寺集落遺跡』(国東町文化財調査報告23) 国東町教育委員会 2001-3
- ・『史跡安国寺集落遺跡整備事業報告書』(国東町文化財整備報告1) 国東町教育委員会 2001-3
- ・『史跡安国寺集落遺跡整備事業報告書概要版』(国東町文化財整備報告2) 国東町教育委員会 2001-3
- ・『大分市歴史資料館年報(平成11年度)』大分市歴史資料館 2000-9
- ・長田弘通編『豊後国の眺めー古代の税所とくらしー』(第19回特別展図録) 大分市歴史資料館 2000-10
- ・『大分市歴史資料館ニュース』54 大分市歴史資料館 2001-2
- ・塔鼻光司・上野淳也・小住武史『大友館跡発掘調査概報』Ⅱ 大分市教育委員会 2001-3
- ・『狭間町の文化財5ー狭間地区の文化財ー』狭間町教育委員会 2000-6
- ・渋谷忠幸編『角牟礼城址』(玖珠町文化財調査報告12) 玖珠町教育委員会 2000-7
- ・橋 昌信・竹野孝一郎『回廊二日市洞穴25th』(開館記念特別展図録) 九重町歴史資料館 2000-4
- ・『古代のロマノ・「南部の郷」を語る』(平成10年度佐賀関町社会教育振興大会報告書) 佐賀関町・佐賀関町教育委員会 2000-9
田中裕介『大分の前方後円墳-築山古墳をめぐって-』P46~74
水野正好『「南部の郷」を語る』P75~149
- ・神田高士編『荒田遺跡』2001-3 臼杵市教育委員会
- ・吉武敦子『茨山遺跡群』佐伯市教育委員会 2001-3
- ・豊田徹士『五郎丸近世墓地群』(千歳村文化財調査報告Ⅵ) 千歳村教委 2000-11
- ・栗田勝弘・清水宗昭『鹿道原遺跡』(千歳村文化財調査報告Ⅶ) 千歳村教委 2001-3
- ・諸岡 郁『三重地区遺跡群発掘調査概報』Ⅴ 三車町教育委員会 2001-3
- ・渡邊隆行『平成11年度(1999年度)日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 2001-3
- ・土居和幸『三和教田遺跡D地区』(日田市埋蔵文化財調査報告24) 日田市教育委員会 2000-6
- ・若杉竜太・行時志郎『元宮遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告25) 日田市教育委員会 2000-9
- ・行時志郎・若杉竜太『山ノ口遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告26) 日田市教育委員会 2000-9
- ・吉田博嗣『三和教田遺跡G地区』(日田市埋蔵文化財調査報告27) 日田市教育委員会 2000-9
- ・若杉竜太編『平島遺跡D地点 塔ノ木古墳 菰原遺跡2次 長迫遺跡C地点 長迫遺跡D地点 尾清遺跡6次』(日田市埋蔵文化財調査報告28) 日田市教育委員会 2001-3

- ・渡邊隆行編『大波瀾道跡』（日田市埋蔵文化財調査報告29）日田市教育委員会 2001-3
- ・行時志郎『肥前道跡』（日田市埋蔵文化財調査報告30）日田市教育委員会 2001-3
- ・若杉竜太・行時志郎『日田糸里上手地区5次』（日田市埋蔵文化財調査報告31）日田市教育委員会 2001-3
- ・古田博嗣『川原田道跡』（日田市埋蔵文化財調査報告32）日田市教育委員会 2001-3
- ・『九重町歴史資料館年報』九重町教育委員会 2001-3

D. 市町村史等

- ・『玖珠町史』上、玖珠町教育委員会 2001-3
 - 橋 昌信「水河期の人々」「縄文の狩人たち」P101～113
 - 渋谷忠章「稲作のはじまりとクニの出現」「ヤマト王権と古墳文化」P114～145
 - 後藤宗俊「豊後国風土記の世界」「正税帳の語るもの」P146～171
 - 内恵克彦「南北朝の争乱と玖珠城の戦い」P205～235
 - 玉永光洋「玖珠郡の城館」「大分の近世城郭の始まり」P283～314
- ・『玖珠町史』下、玖珠町教育委員会 2001-3
 - 内恵克彦「石造文化財」P82～99
 - 佐藤正徳・佐藤祐二・渋谷忠章「角牟礼城跡」P447～474
 - 橋 昌信「日出生台地の先史時代」P475～478

F. 別府大学関係

- ・坂田邦洋編『足（跡）の研究』2001-3

G. 県内雑誌等

- ・『比多考古』8 2000-6 日田考古学同好会
- ・『大分県地方史』178 2000-8 大分県地方史研究会
 - 櫻井成昭「六郷山研究の成果と課題」P22～45
- ・『おおいた考古』13 2000-11 大分県考古学会
 - 吉田和彦「大分県の横穴式古墳」P1～22
 - 秦 広之「コウゴロ松式土器に関する覚書」P23～28
 - 坂本嘉弘・宮田剛「三重町深野遺跡出土の遺物」P29～33
 - 渡辺 聡「横尾貝塚出土の縄文土器—1965年調査出土資料の補遺—」P35～44
 - 遠部 慎「竹田高校保存の石刀・剣」P45～48
 - 事務局「(報告) 大分市中安遺跡の調査と保存について」P49～54
- ・『古代律令国家と海樞の光芒—中安遺跡の語るもの—』（公開シンポジウム資料集）2000-11 大分県考古学会事務局
- ・『古代朝鮮文化を考える』15 古代朝鮮文化を考える会 2000-12
 - 森 猛「地名「大分」と大分君」P73～104
- ・『大分県地方史』180 2001-2 大分県地方史研究会
 - 池邊千太郎「豊後の須志屋敷跡について」1～15頁
 - 古永浩二「大分県の登録有形文化財について」16～32頁
 - 佐伯 治「竹田市の街並み保存の現状と課題」33～45頁
 - 渋谷忠章「大分県のシシ塚について」46～52頁
 - 小柳和宏「文化財保護行政と歴史調査の接点を探る—土地履歴書の作成を目指して—」53～59頁
- ・『大分県地方史』181 2001-3 大分県地方史研究会
 - 西南戦争を記録する会「西南戦争を考古学的にみる—宇目町黒土峠の場合—」59～75頁

H. 九州内雑誌等

- ・『九州の地輪』九州前方後円墳研究会 2000-5
吉田和彦ほか「大分県」P307~370
田中裕介「大分県における墳輪の変遷と地域性」P443~460
- ・『古墳発生前後の社会像』九州古文化研究会 2000-5
高橋 徹「古墳発生前後の墳墓の地域相—豊後—」P7~26
真野和夫「古墳発生前後の墳墓の地域相—宇佐—」P47~66
田中裕介「九州における壘形墳輪の展開と二、三の問題」P149~169
- ・『古文化叢書』45, 2000-10, 九州古文化研究会
原田昭一「九州・山口における中世「地下式墳」の様相」P189~222
- ・『九州旧石器』4 (横昌信先生還暦記念特集号) 2000-12 九州旧石器文化研究会
橋貴俊「早水台遺跡と中期旧石器時代」P1~22
早田 勉・新井房夫・橋貴俊「大分県日出町早水台遺跡・山ノ神平遺跡における火山灰分析—早水台遺跡の年代に関する予察的研究—」P23~32
清水宗昭「刮片尖頭器の系譜に関する予察」P95~107
森 幸二「九州地方の角錐状石器の製作技術に関する一考察」P139~160
坂本嘉弘「早水台式土器の成立と展開」P325~332
遠部 慎「ヤトコロ式土器と出水下層式土器の関係」P333~348
- ・『研究紀要』15 2000-12 北九州市教育文化事業団縄文文化財調査室
中村修介「筑後・肥前・肥後・豊後・日向地方出土の石戈」P7~15
- ・『地域相研究』28 地域相研究会 2001-2
遠部 慎「東九州沿岸部における刻日突帯文土器の様相」P17~37
- ・『歴史九州』126 (4月号) 九州歴史大学講座 2001-3
坪根伸也「古の豊後大分を訪ねて1—大分平野の弥生時代①—」P21~25

I. 九州外の雑誌等

- ・『考古学ジャーナル』457 2000-4 ニューサイエンス社
貫川光夫「食べ物が湧いてくる森」P1
- ・『城頭出土の貿易陶磁器』(貿易陶磁研究会西国大会資料集) 2000-6 日本貿易陶磁研究会
塩地潤一「豊後府内出土の貿易陶磁器」P99~108
- ・『日本考古学年報』51 (1998年度版) 2000-7 日本考古学協会
小林昭彦「大分県」P307~310
- ・『季刊考古学』72 2000-8 雄山閣
渋谷忠卓「近・現代遺跡調査の現状—九州」P60~62
- ・『考古学ジャーナル』462 2000-8 ニューサイエンス社
小倉正五「遺跡保存の事例—虚空蔵寺付股塚跡」P32~35
- ・『西京歴史フォーラム』(発表要旨) 2000-9 山口市教委
河野史郎「大友氏と豊後府内」P15~30
- ・『高宮広衛先生古希記念論集』 2000
坂田邦洋「弥生・古墳時代の家族構成例」
- ・『考古学ジャーナル』464 2000-10 ニューサイエンス社
城戸 誠「船荷谷近世墓地区の調査成果と特徴」P42~46

- ・『考古学ジャーナル』465 2000-10 ニューサイエンス社
木村幾多郎「最近の考古学の言葉」P1
- ・『山岳修験』26 2000-11 日本山岳修験学会
平田由美「八面山周辺の信仰遺跡」p11~19
原田昭一「宇佐周辺の山岳宗教遺跡と古代寺院—大分県宇佐市サヤ遺跡の紹介を通して—」P21~34
栗田勝弘「六郷山寺院と経塚遺構」p49~64
- ・『本館研究』22 本館学会 2000
永松みゆき・館野和己「大分・飯塚遺跡」P226~237
- ・『考古学ジャーナル』468 2001-1 ニューサイエンス社
坂田邦洋・益永浩村「西海道江田駅の足跡」P36~39
- ・『季刊考古学』74 2001-2 雄山閣
橋 昌信「九州における中期旧石器時代の石器群」P60~64
- ・『日本歴史』633 吉川弘文館 2001-2
大分市教育委員会「豊後大友館跡の調査」P93~102
- ・小林青樹編『縄文・弥生移行期の石製呪術具』2 考古学資料集17 2001-3
坪根伸也・遠部 慎「九州地域（大分県）の概要と集成」P11~21

L. 一般書

- ・鳥養孝好『大野川流域に生きる人々—考古学・民族考古学・社会人類学的研究・文化財保護—』鳥養孝好先生選集記念事業会 2000-9

補 遺

- ・河野典之・大久保謙一郎『寺田今藤遺跡』（豊後高田市文化財調査報告3）豊後高田市教育委員会 1994-3
- ・土橋和幸・行時志郎編『惣田遺跡』（日田市埋蔵文化財発掘調査報告8）日田市教育委員会 1994-3
- ・河野典之・今田秀樹・小谷桂太郎『寺田卯月遺跡』（豊後高田市文化財調査報告4）豊後高田市教育委員会 1995-3
- ・村上久和『大迫岩ノ下遺跡』（千歳村文化財調査報告3）千歳村教育委員会 1997-3
- ・菊田 徹編『国宝白竹磨崖仏保存修理工事報告書』臼杵市 1997-3
- ・『豊後高田市史』豊後高田市 1998-8
宮内克己「先史原始—旧石器時代・縄文時代」P20~35
後藤宗俊「先史原始—弥生時代」P36~53
真野和夫「先史原始—古墳時代」P54~80
- ・『歴史九州』95（9月号）九州歴史大学講座 1998-8
玉木明史「古代の豪族は何を食べたか—大分県日田市小迫辻原遺跡を訪ねて—」P10~15
- ・橋 昌信編『牟礼遺跡』（三重町文化財調査報告5）三重町教育委員会 1999-3
- ・後藤典幸『城南遺跡—第2・3次発掘調査報告書—』大分市教育委員会 1999-3
- ・『歴史九州』103（5月号）九州歴史大学講座 1999-4
玉木明史「奈良時代のたこつばは何を語るか—大分県中津市の定留遺跡を訪ねて—」P10~17
- ・河野典之・岩男真吾・永田裕久『真中地区遺跡発掘調査報告書』（豊後高田市文化財調査報告6）豊後高田市教育委員会 2000-3
- ・河野典之・岩男真吾・永田裕久『豊後高田地区遺跡群発掘調査概報』XVI 豊後高田市教育委員会 2000-3
- ・若杉竜太郎『平成10年度（1998年度）日田市埋蔵文化財年報』日田市教育委員会 2000-1

- ・『ありたを掘る』(市道田島有田線埋蔵文化財発掘調査概要パンフレット) 日田市教育委員会 2000-3
- ・上居和幸・卜村 智編『吹上遺跡・天満古墳』(範囲確認調査に伴う概要報告) 日田市教育委員会 2000-3
- ・五十川雄也編『朝日ヶ丘遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告18) 日田市教育委員会 2000-3
- ・行時志郎『木村遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告19) 日田市教育委員会 2000-3
- ・山路康弘・上居和幸・吉田博嗣『山口遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告20) 日田市教育委員会2000-2
- ・吉田博嗣『日田桑里上手地区』(日田市埋蔵文化財調査報告21) 日田市教育委員会 2000-3
- ・吉田博嗣・佐々木章『宿瀬遺跡第3次』(日田市埋蔵文化財調査報告22) 日田市教育委員会 2000-3
- ・行時志郎『上ノ馬場遺跡』(日田市埋蔵文化財調査報告23) 日田市教育委員会 2000-3
- ・『大分市歴史資料館年報(平成10年度)』大分市歴史資料館 2000-3
- ・秦 正博・池邊千太郎・高島 豊・河野史郎・塩地潤一『大友館跡発掘調査概報』1 大分市教育委員会 2000-3
- ・池邊千太郎・奥村義貴・大野康弘『府内城・城下町遺跡第13次発掘調査概報』大分市教育委員会 2000-3
- ・諸岡 郁『三重地区遺跡群発掘調査概報』IV 三重町教育委員会 2000-3
- ・竹野孝一郎『釣遺跡 春田遺跡A・B地区』(九重町文化財調査報告23) 九重町教育委員会 2000-3
- ・秦 政博・讃岐和夫編『国指定史跡亀塚古墳整備事業報告』大分市教委 2000-3

IX. 大分県内遺跡発掘調査概報

例 言

1. 本書は、大分県教育委員会が平成13年度国庫補助金を得て実施した大分県内遺跡発掘調査事業の調査概要である。
2. 大分県内遺跡発掘調査事業は、県下で実施される農業基盤整備事業及び林道事業に対し事前の分布ならびに試掘調査を行うもので、本報告書はその概要を記す。
3. 調査の実施にあたり大分県農政部、同林業水産部、県内市町村農業基盤整備関係事業担当課、各市町村教育委員会の協力を得た。
4. 本書の執筆、編集は後藤一重が担当した。

目 次

I. はじめに	65
1. 調査の経過	65
2. 調査団の構成	65
II. 分布調査の概要	66
III. 試掘調査の概要	69
1. 栗野遺跡群	72
2. 大木遺跡	72
3. 西蓮寺遺跡	73
4. 今宿遺跡	73
5. その他の試掘調査地区	74
IV. まとめ	74

I. はじめに

1. 調査の経過

平成13年度に大分県内で計画された農業基盤整備事業及び林道事業は167地区に及ぶ。近年の傾向として、圃場整備事業などの大規模な面工事が減少し、それに替わり農道関係の事業が増加していることがあげられる。農道関係の事業には広域農道、農免農道、一般農道、ふるさと農道などがあり、県下のほぼ全域で事業が実施されている。そのため、試掘調査についても農道関係の事業に対するものが多くなっている。しかし、大規模な面工事である圃場整備事業に比べると対象面積が小さく、農道関係の試掘調査1件に要する日数は短くなっている。

圃場整備事業については最盛期に比較すると、地区数及び総対象面積とも激減している。このなかで本年度数十haを越す事業が実施されたのは、中津市、安岐町、日田市などである。特に日田市については、今後数年間はこの状況が続く予定である。多くの遺跡確認が予想されているなか、圃場整備事業の円滑な推進と埋蔵文化財の保護にむけて調整が課題となっている。このように大規模な面工事が減少したなかで、一方では中山間地総合整備事業の占める割合が多くなる傾向にある。この事業は、これまで実施されてきた県営圃場整備事業にもれた山間の小規模水田が対象になっている。これらの事業では、面積的あるいは地形的に大規模な遺跡検出の可能性は低いものの、農業開発が山間部にまで及んできている。

以上の平成13年度事業については、平成12年12月に県農政部と林業水産部から県文化課に事前の協議があった。県文化課では平成13年2月から3月にかけて、県下各市町村教育委員会の協力を得てすべての事業予定地について分布調査を行った。その結果と取扱いについての回答を、平成13年4月に関係各機関に通知した。試掘調査は、平成13年4月から平成14年3月にかけて開発部局からの依頼を受け実施した。また、平成14年度事業予定地区についても平成13年12月に協議があり、平成14年2月から3月に分布調査を実施した。

このほか、今年度より明治21年作製字図のマイクロ化を行うこととした。埋蔵文化財の保護と農業基盤整備事業等の円滑な実施にあたっては、事業地内の遺跡情報を事前に把握することが重要である。これにより埋蔵文化財の詳細な情報を事業の計画段階から盛り込むことができ、より円滑な事業の実施が可能となる。事業地内の遺跡を把握するための有効な手段として、明治21年作製字図の利用がある。明治21年作製字図は、近世以前の土地利用を知る第一級の資料と考えられ、現在すでに痕跡が失われた館、堀、道などの跡を明瞭に読み取ることができる。本年度は、三重町、豊後高田市、日田市の字図マイクロ化を実施した。

2. 調査団の構成

調査主体 大分県教育委員会

調査員	工藤 正徳 (大分県教育庁文化課長)	調査事務	西 哲弘 (同 主幹)
	麻生 裕治 (同 参事兼課長補佐)		西森 公誠 (同 主任)
	清水 宗昭 (同 参事兼課長補佐)		
	高橋 徹 (同 主幹)		
	高橋 信武 (同 主幹)		
	後藤 一重 (同 主査)		
	甲斐 寿義 (同 主査)		
	井川 泰成 (同 主査)		

II. 分布調査の概要

県農政及び林業水産部から協議のあった平成14年度事業予定地区は次の一覧のとおりである。これらについては、県下各市町村教育委員会と関係各開発部局の協力を得て、平成14年2月から3月にかけて全事業予定地の分布調査を実施した。

平成14年度 農・林業関係事業予定箇所

順	事業名	地区名	市町村名
1	農村活性化住環境整備	猪田・定留	中津市
2	農業用水再編対策事業	荒瀬	中津市
3	地域用水環境整備事業	下池水	中津市
4	団体営農村総合整備	真奈	三光村
5	農業集落排水事業	戸原	耶馬溪町
6	団体営農村総合整備	城井	耶馬溪町
7	中山間地域総合整備	耶馬溪南部	耶馬溪町
8	広域農道整備事業	耶馬溪東部	耶馬溪町
9	農免農道整備事業	深野見2期	耶馬溪町
10	中山間地域総合整備	耶馬溪南部	山国町
11	中山間地域総合整備	山田	山国町
12	農免農道整備事業	中摩	山国町
13	森林居住環境整備事業	市平西側	山国町
14	広域農道整備事業	宇佐	宇佐市
15	ふるさと農道整備事業	宇佐東部2期	宇佐市
16	農免農道整備事業	大副2期	院内町
17	森林環境保全整備事業	大門定留当	院内町
18	農免農道整備事業	尾立	安心院町
19	農免農道整備事業	小坂場2期	安心院町
20	一般農道整備事業	上の原	安心院町
21	農地環境整備事業	長岩屋	豊後高田市
22	家畜治療整備事業	川原	豊後高田市
23	田圃空間整備	西高	豊後高田市
24	畑地帯総合整備事業(組い手支援型)	千折第2	豊後高田市
25	農免農道整備事業	河内2期	豊後高田市
26	農免農道整備事業	瀬崎	豊後高田市
27	農免農道整備事業	瀬崎2期	豊後高田市
28	広域農道整備事業	宇佐第2	豊後高田市
29	森林環境保全整備事業	落水	豊後高田市
30	中山間地域総合整備	臼野	東工町
31	一般農道整備事業	大平	真玉町
32	一般農道整備事業	湯原	真玉町
33	農業集落排水事業	中浜	大田村
34	田圃空間整備	西高	大田村
35	農免農道整備事業	天塚	大田村
36	一般農道整備事業	見日	香ヶ地町
37	中山間地域総合整備	国見	国見町
38	森林環境保全整備事業	蟹ノ巣	国見町
39	中山間地域総合整備	米滴	国東町
40	団体営農村総合整備	国東	国東町
41	団体営農村総合整備	国東	国東町
42	農免農道整備事業	新栄	国東町
43	土地改良総合整備	武蔵今市	武蔵町
44	農業集落排水事業	朝未	安岐町
45	県営住居整備事業	安岐	安岐町
46	農村活性化住環境整備	塚原	安岐町
47	中山間地域総合整備	梓瀬通見	梓瀬市
48	中山間地域総合整備	梓瀬通見2期	梓瀬市
49	中山間地域総合整備	梓瀬通見2期	梓瀬市
50	中山間地域総合整備	梓瀬通見2期	梓瀬市
51	一般農道整備事業	溝井2期	梓瀬市
52	ふるさと農道整備事業	小狭間馬渡	梓瀬市
53	中山間地域総合整備	梓瀬通見	日出町
54	中山間地域総合整備	梓瀬通見2期	日出町

№	事業名	地区名	市町村名
55	畑地帯総合整備事業(緊急整備型)	丸田	日出町
56	農免農道整備事業	愛宕2期	日出町
57	広域農道整備事業	日出	日出町
58	中山間地域総合整備	梓漆連見2期	山香町
59	中山間地域総合整備	梓漆連見2期	山香町
60	中山間地域総合整備	梓漆連見2期	山香町
61	中山間地域総合整備	梓漆連見2期	山香町
62	農免農道整備事業	戸久保2期	山香町
63	土地改良総合整備	高田	大分市
64	土地改良総合整備	戸次	大分市
65	広域農道整備事業	大南野津	大分市
66	中山間地域総合整備	木在上	佐賀県
67	畑地帯総合整備事業(一般)	夜賀岡東部	佐賀県
68	県営農村総合整備	石城	佐賀県
69	農免農道整備事業	長宝	庄内町
70	県営沼澤整備事業	野津原西部	野津原町
71	広域農道整備事業	大分中部	野津原町
72	農免農道整備事業	入藏	野津原町
73	森林居住環境整備事業	入藏大峠	野津原町
74	農免農道整備事業	庄内湯平5期	湯布院町
75	森林居住環境整備事業	大分中部	湯布院町
76	中山間地域総合整備	臼杵	臼杵市
77	県営沼澤整備事業	藤河内	臼杵市
78	広域農道整備事業	岡臼津	臼杵市
79	広域農道整備事業	岡臼津	臼杵市
80	森林居住環境整備事業	越南山	臼杵市
81	広域農道整備事業	岡臼津2期	津久見市
82	農免農道整備事業	西浦	津久見市
83	森林環境保全整備事業	一の島区	津久見市
84	土地改良総合整備	瀬留木	佐伯市
85	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
86	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
87	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
88	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
89	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
90	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
91	団体営農村総合整備	佐伯	佐伯市
92	農免農道整備事業	壱田2期	佐伯市
93	森林居住環境整備事業	宇目唐江	佐伯市
94	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
95	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
96	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
97	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
98	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
99	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
100	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
101	中山間地域総合整備	鶴見	鶴見町
102	森林環境保全整備事業	名蔵屋	瀬江町
103	県営農村総合整備	弥生中央	弥生町
104	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
105	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
106	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
107	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
108	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
109	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
110	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
111	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
112	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
113	中山間地域総合整備	夢産地区の壱	本匠村
114	ふるさと林道整備事業	戸尾平宇賀河内	本匠村
115	中山間地域総合整備	ジャンプ蔵川	直川村
116	中山間地域総合整備	ジャンプ蔵川	直川村
117	中山間地域総合整備	ジャンプ蔵川	直川村

№	事 業 名	地 区 名	市 町 村 名
118	中山間地域総合整備	シエンブ産川	廣 川 村
119	森林区住環境整備事業	宇目備江	廣 川 村
120	ふるさと林道整備事業	大石見男	廣 川 村
121	県営農村総合整備	宇目東部	宇 目 町
122	一般農道整備事業	重剛	宇 目 町
123	森林環境保全整備事業	大刈野	宇 目 町
124	森林環境保全整備事業	島倉西山	宇 目 町
125	畑地帯総合整備事業（一般）	大野川中央	大 野 町
126	畑地帯総合整備事業（一般）	大野川中央	千 歳 村
127	広域農道整備事業	大野南郷	野 津 町
128	森林区住環境整備事業	吉西六	野 津 町
129	広域農道整備事業	大野南郷	三 重 町
130	農免農道整備事業	三重中央	三 重 町
131	森林区住環境整備事業	三國灰立	三 重 町
132	ふるさと林道整備事業	三國灰立	三 重 町
133	ふるさと農道整備事業	大分中部2期	大 野 町
134	一般農道整備事業	貴波	大 野 町
135	農免農道整備事業	直北	大 野 町
136	広域農道整備事業	大野川中流2期	大 野 町
137	農免農道整備事業	宮生	朝 野 町
138	県営沼場整備事業	井上	緒 方 町
139	農業用水管理対策事業	緒方	緒 方 町
140	広域農道整備事業	大野川中流2期	緒 方 町
141	一般農道整備事業	楠尾	緒 方 町
142	県営沼場整備事業	平田	竹 田 市
143	県営沼場整備事業	竹田北部	竹 田 市
144	県営沼場整備事業	中央	竹 田 市
145	県営沼場整備事業	九重野	竹 田 市
146	基幹水利施設補修事業	富士路	竹 田 市
147	農免農道整備事業	平田	竹 田 市
148	農免農道整備事業	挾田	竹 田 市
149	一般農道整備事業	川床2期	竹 田 市
150	一般農道整備事業	福木	竹 田 市
151	森林環境保全整備事業	高伏木原	竹 田 市
152	中山間地域総合整備	泉	廣 町
153	県営農村総合整備	中原	廣 町
154	農免農道整備事業	西福寺	廣 町
155	農免農道整備事業	狭西第3期	廣 町
156	中山間地域総合整備	山中	久 住 町
157	県営沼場整備事業	久住中央	久 住 町
158	農免農道整備事業	泉原	久 住 町
159	県営沼場整備事業	日出生	秋 津 町
160	農免農道整備事業	秋津	秋 津 町
161	農免農道整備事業	秋津2期	秋 津 町
162	広域農道整備事業	秋津	秋 津 町
163	中山間地域総合整備	九重2期	九 重 町
164	中山間地域総合整備	九重2期	九 重 町
165	中山間地域総合整備	九重2期	九 重 町
166	県営沼場整備事業	町田	九 重 町
167	広域農道整備事業	秋津	九 重 町
168	森林環境保全整備事業	栗原	九 重 町
169	県営沼場整備事業	大明	日 田 市
170	森林区住環境整備事業	高城鬼	日 田 市
171	農免農道整備事業	合田2期	天 瀬 町
172	中山間地域総合整備	大山	大 山 町
173	一般農道整備事業	大久保	大 山 町
174	ふるさと林道整備事業	智監中西	前 津 江 村
175	中山間地域総合整備	中津江	中 津 江 村
176	7ヶ所7ヶ所7ヶ所総合整備事業	智監中西	中 津 江 村
177	中山間地域総合整備	上津江	上 津 江 村
178	農免農道整備事業	西地谷2期	上 津 江 村

III. 試掘調査の概要

平成13年度事業実施予定地の分布調査結果は、次表に示すとおりである。判定の内訳は、以下による。A：事業予定地内に周知遺跡が存在する地区、B：事業地内に遺物の散布が認められたり、地形的に遺跡の存在する可能性が高い地区、C：わずかではあるが、遺跡の存在する可能性がある地区、D：遺跡の存在する可能性が低い地区、E：事業予定地が未確定であったり、予定地内が未伐採で再度の分布調査が必要な地区。以上のうちAとBに判定された地区において試掘調査を、またCと判定された地区について立会い調査を実施した。

試掘調査のうち院内町、香々地町、安岐町、日出町、蒲江町、千歳村、大野町、朝地町、荻町、九重町、天瀬町については県文化課が行い、このほかについては各市町村教育委員会が対応した。

以下は、平成14年1月現在で県文化課が実施した試掘調査の概要である。このうち遺跡が確認されたものについてはその概要を詳述し、その他については一覧表に示した。

平成13年度 農・林業関係事業分布調査結果一覧

№	事業名	地区名	市町村名	判定
1	水環境整備事業	下池水	中津市	D
2	水田農業経営確保水対策特別事業	蒲田	中津市	済
3	農村活性化環境整備事業	蒲田・定留	中津市	A
4	土地改良総合整備事業	中津東部	中津市	A
5	農業用水再編対策事業	荒瀬	三光村	D
6	広域農道整備事業	耶馬溪東部	本耶馬溪町	D
7	一般農道整備事業	豊嵐	本耶馬溪町	D
8	広域農道整備事業	耶馬溪東部	耶馬溪町	D
9	農免農道整備事業	中摩	耶馬溪町	D
10	農免農道整備事業	深耶馬2期	耶馬溪町	D
11	ふるさと農道整備事業	山移西谷	耶馬溪町	D
12	中山間地域総合整備事業	耶馬溪南部 深耶馬	耶馬溪町	D
13	中山間地域総合整備事業	耶馬溪南部 山移	耶馬溪町	D
14	中山間地域総合整備事業	耶馬溪南部 山移	耶馬溪町	D
15	中山間地域総合整備事業	耶馬溪南部 金吉	耶馬溪町	D
16	農免農道整備事業	中摩	山国町	D
17	ふるさと林道整備事業	吾城滝	山国町	D
18	森林保全整備事業	市平岡畑	山国町	D
19	一般農道整備事業	上の原	安心院町	C
20	森林保全整備事業	鳥糞子織	安心院町	D
21	広域農道整備事業	宇佐	宇佐市	D
22	広域農道整備事業	宇佐第2	宇佐市	D
23	ふるさと農道整備事業	宇佐東部第2期	宇佐市	C
24	農免農道整備事業	大副2期	院内町	B
25	森林保全整備事業	大門地別当	院内町	D
26	農免農道整備事業	阿内2期	豊後高田市	D
27	農免農道整備事業	徳崎	豊後高田市	D
28	農免農道整備事業	徳崎2期	豊後高田市	D
29	畑地帯総合整備事業	興崎	豊後高田市	D
30	森林保全整備事業	赤水津	豊後高田市	D
31	農免農道整備事業	天堤	大宇村	D
32	中山間地域総合整備事業	白野	真玉町	A
33	一般農道整備事業	大平	真玉町	D
34	一般農道整備事業	湯原	真玉町	D
35	一般農道整備事業	見目	香々地町	B
36	中山間地域総合整備事業	国見	国見町	B
37	森林保全整備事業	麓ノ原	国見町	D
38	中山間地域総合整備事業	水瀧	国東町	C
39	農免農道整備事業	新栄	国東町	E
40	土地改良総合整備事業	武蔵今市	武蔵町	C
41	農村活性化環境整備事業	徳嵐	安岐町	B
42	一般農道整備事業	安岐西子	安岐町	D

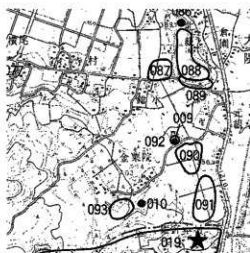
№	事業名	地区名	市町村名	判定
43	一般農道整備事業	大入道2期	安 岐 町	D
44	湯谷温泉整備事業	安岐	安 岐 町	B
45	中山間地域総合整備事業	杵築遠見	杵 築 市	B
46	中山間地域総合整備事業	杵築遠見2期	杵 築 市	D
47	農村活性化環境整備事業	八友	杵 築 市	B
48	一般農道整備事業	溝井	杵 築 市	A
49	一般農道整備事業	溝井2期	杵 築 市	B
50	ふるさと林道整備事業	小泉間馬渡	杵 築 市	D
51	中山間地域総合整備事業	杵築遠見	山 香 町	D
52	中山間地域総合整備事業	杵築遠見2期	山 香 町	D
53	中山間地域総合整備事業	杵築遠見2期	山 香 町	D
54	農免農道整備事業	日久保	山 香 町	D
55	農免農道整備事業	杉ヶ谷	山 香 町	D
56	中山間地域総合整備事業	杵築遠見	日 出 町	D
57	中山間地域総合整備事業	杵築遠見2期	日 出 町	D
58	農免農道整備事業	愛宕2期	日 出 町	B
59	畑地帯総合整備事業	丸田	日 出 町	D
60	広域農道整備事業	日出	日 出 町	B
61	広域農道整備事業	大南野津	大 分 市	D
62	中山間地域総合整備事業	木在上	佐 賀 町	B
63	畑地帯総合整備事業	佐賀東部	佐 賀 町	B
64	湯谷温泉整備事業	野津原西部	野 津 原 町	D
65	広域農道整備事業	大分中部	野 津 原 町	D
66	農免農道整備事業	入妻	野 津 原 町	D
67	森林保全整備事業	入妻大峠線	野 津 原 町	D
68	農免農道整備事業	長宝	庄 内 町	D
69	森林保全整備事業	大分中部線	庄 内 町	D
70	農免農道整備事業	庄内県平5期	湯 布 院 町	B
71	広域農道整備事業	岡臼津	岡 臼 市	D
72	広域農道整備事業	岡臼津	岡 臼 市	D
73	中山間地域総合整備事業	臼杵	臼 杵 市	D
74	森林保全整備事業	鎮南山線	臼 杵 市	D
75	広域農道整備事業	岡臼津2期	津 久 見 市	D
76	農免農道整備事業	四津	津 久 見 市	D
77	森林保全整備事業	一の鳥居線	津 久 見 市	D
78	広域農道整備事業	豊南野津	野 津 町	D
79	広域農道整備事業	大野南部	野 津 町	A
80	森林保全整備事業	吉西六蔵	野 津 町	D
81	農免農道整備事業	壱田2期	佐 伯 市	D
82	水環境整備事業	木立	佐 伯 市	D
83	水環境整備事業	番匠	佐 伯 市	D
84	水環境整備事業	番匠	佐 伯 市	D
85	水環境整備事業	番匠	佐 伯 市	D
86	水環境整備事業	番匠	佐 伯 市	D
87	森林保全整備事業	宇日藤江線	佐 伯 市	D
88	一般農道整備事業	真岡	宇 日 町	B
89	森林保全整備事業	大野藤	宇 日 町	D
90	森林保全整備事業	葛葉西山線	宇 日 町	D
91	ふるさと林道整備事業	大石見明線	宇 日 町	D
92	ふるさと林道整備事業	宇日藤江線	宇 日 町	D
93	水環境整備事業	番匠	本 匠 村	D
94	水環境整備事業	番匠	本 匠 村	D
95	水環境整備事業	番匠	本 匠 村	D
96	ふるさと林道整備事業	戸能平宇曾河内線	本 匠 村	D
97	水環境整備事業	番匠	直 川 村	D
98	水環境整備事業	番匠	直 川 村	D
99	森林保全整備事業	宇日藤江線	直 川 村	D
100	ふるさと林道整備事業	大石見明線	直 川 村	D
101	ふるさと林道整備事業	宇日藤江線	直 川 村	D
102	ふるさと農道整備事業	社合	犬 飼 町	D
103	一般農道整備事業	典波	犬 飼 町	D
104	畑地帯総合整備事業	大野川中流	千 歳 村	A
105	広域農道整備事業	大野川中央	大 野 町	D
106	ふるさと農道整備事業	大分中部2期	大 野 町	D

No.	事 業 名	地 区 名	市 町 村 名	性 定
107	一般農道整備事業	沢田	大野町	D
108	一般農道整備事業	沢田2期	大野町	D
109	農免農道整備事業	真北	大野町	B
110	森林保全整備事業	鳥帽子神内線	大野町	D
111	一般農道整備事業	大野南郷	三重町	B
112	農免農道整備事業	三島中央	三重町	B
113	森林保全整備事業	三國分立	三重町	E
114	広域農道整備事業	大野川中流	綾方町	D
115	広域農道整備事業	大野川上流南郷	綾方町	D
116	一般農道整備事業	徳地	綾方町	D
117	県営農道整備事業	上冬原	綾方町	D
118	県営農道整備事業	井上	綾方町	A
119	農用水再編対策事業	緒方	綾方町	D
120	農免農道整備事業	宮生	鳴地町	C
121	県営農道整備事業	朝倉	鳴地町	A
122	県営農道整備事業	平田	竹田市	B
123	県営農道整備事業	竹田北部	竹田市	C
124	県営農道整備事業	九重野	竹田市	B
125	県営農道整備事業	中角	竹田市	C
126	県営農道整備事業	片ノ瀬	竹田市	A
127	農免農道整備事業	平田	竹田市	D
128	農免農道整備事業	林田	竹田市	A
129	広域農道整備事業	大野川上流南郷	竹田市	D
130	農免農道整備事業	小川2期	竹田市	D
131	一般農道整備事業	藤木	竹田町	D
132	基幹水利施設補修事業	富士崎	竹田町	D
133	畑地帯総合整備事業	竹田	竹田町	B
134	森林保全整備事業	高伏木原線	竹田市	D
135	水灌漑設備事業	長藤	直入町	D
136	経営統合対策事業	名瀬線 3.9ha	藤江町	B
137	森林保全整備事業	名瀬線線	藤江町	D
138	農免農道整備事業	狭内部3期	狭町	D
139	農免農道整備事業	西瀬寺	狭町	B
140	集約地帯整備事業	中原地区	狭町	A
141	農業集約地帯整備事業	陽谷地区	狭町	D
142	中山間地域総合整備事業	山中	久住町	D
143	県営農道整備事業	久住中央	久住町	B
144	農免農道整備事業	兼原	久住町	D
145	中山間地域総合整備事業	九重(野原)	九重町	A
146	中山間地域総合整備事業	九重(平良石)	九重町	B
147	中山間地域総合整備事業	九重(見良神)	九重町	B
148	中山間地域総合整備事業	九重2期(鹿伏)	九重町	B
149	広域農道整備事業	秩株	九重町	D
150	森林保全整備事業	栗柄線	九重町	D
151	農免農道整備事業	秩株	九重町	A
152	県営農道整備事業	日出生台	玖珠町	B
153	中山間地域総合整備事業	羽田	玖珠町	B
154	中山間地域総合整備事業	羽田	臼田市	B
155	県営農道整備事業	大明	臼田市	A
156	県営農道整備事業	求来里	臼田市	A
157	広域農道整備事業	日田	日田市	A
158	畑地帯総合整備事業	山田原	日田市	C
159	森林保全整備事業	伝蔵鬼線	日田市	D
160	ふるさと農道整備事業	伝蔵鬼線	日田市	D
161	農免農道整備事業	合田2期	天瀬町	D
162	一般農道整備事業	大久保	大町	D
163	ふるさと農道整備事業	東大山	大山町	D
164	農免農道整備事業	西峰谷	上津江村	C
165	ふるさと農道整備事業	曾家中西線	前津江村	D
166	中山間地域総合整備事業	上津江	上津江村	D
167	森林保全整備事業	曾家中西線	中津江村	D
168	中山間地域総合整備事業	中津江	中津江村	D

1. 栗野遺跡群

所在地：玖珠郡九重町大字栗野字中の城ほか
事業名：中山間地域総合整備事業九重工区栗野地区
調査対象面積：2.9ha
調査担当：後藤 一重

事業予定地は、弥生時代から中世の遺跡である栗野遺跡群として周知されていた。当地は眼下に玖珠川を望む丘陵上にあり、「ユウジャク」、「中の城」などの小字が残り中世的景観を色濃く残す地区である。調査対象地区は点在するが、2ヶ所で遺構を確認した。小字中の城では、近世の柱穴、土壇、石敷き遺構のほか、弥生時代や中世の遺物を検出した。当地は近世栗野村の庄屋をつとめた森家の屋敷跡と伝えられる場所である。屋敷は、明治時代にはいり焼き討ちにあったと伝えられるが、聞き取りによると近年まで水田に石組の井戸が存在したようである。検出された石敷き遺構は、径30～50cmの扁平な川原石などを敷いたもので、庄屋屋敷に伴う大規模な庭園遺構と推定される。また、別の地点では14、15世紀の所産と考えられる溝を検出した。



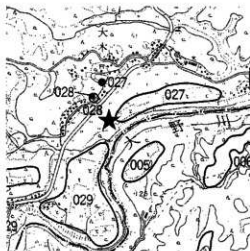
第1図 栗野遺跡群位置図

2. 大木遺跡

所在地：大野郡千歳村大字下山字大木
事業名：畑地帯総合整備事業大野川中流地区
調査対象面積：7.0ha
調査担当：後藤 一重

事業予定地は大野側左岸の段丘上に位置する。予定地内の一部には、弥生時代の遺物が出土したと伝えられる大木遺跡が所在する。

調査は削平予定地区を中心に、バックフォーを使用し調査区を掘り下げた。事業地の下流側では厚い青灰色粘土層の堆積が確認されたのみで、遺構・遺物は確認されなかった。この部分は現在比較的平坦であるが、丘陵側にみられる谷地形の続きで、集落の形成される地形ではなかったと考えられる。これに対し事業地の上流側では青灰色粘土層は確認されなかったが、厚いクロボクの堆積がみられる地点、あるいは段丘礫層がみられる地点など、場所により地層の状況が異なる。上流側では、時期不明の柱穴、中世の溝、及び旧石器時代の所産と考えられる流紋岩剥片が確認された。



第2図 大木遺跡位置図

3. 西蓮寺遺跡

所在地：大野郡朝地町大字朝地字朝倉

事業名：県営圃場整備事業朝倉地区

調査対象面積：6.0ha

調査担当：後藤 一重

事業予定地は、小規模な谷底平野の周辺に台地が展開する地形である。試掘調査は、台地上の事業予定地のみで行った。

台地は小規模であるが、すでに西蓮寺遺跡として周知されている。調査はバックフォーを使用し、台地のほぼ全体に調査区を設けた。その結果、表土下30～60cmで柱穴や竪穴などの遺構が確認された。柱穴は調査地区の西部で比較的集中して検出された。柱穴は、後述する弥生・古墳時代の竪穴と埋土が異なり、中世以降の所産と考えられる。また、弥生・古墳時代と思われる竪穴は2基が確認された。竪穴の全形は不明だが、一辺5m程の方形と思われる。これら竪穴は、台地全体に密集して広がるという程でもないが、台地全体に広く展開すると想定され、その数は20基ちかくに及ぶ可能性をもつ。



第3図 西蓮寺遺跡位置図

4. 今宿遺跡

所在地：日田郡天瀬町大字女子畑字今宿

事業名：県営圃場整備事業女子畑地区

調査対象面積：2.0ha

調査担当：後藤 一重

事業予定地は、平坦な地形が広がる台地状の部分が丘陵につながる場所で、狭小な痩せ尾根状を呈する。現状では集落と水田があり比較的平坦部が広がるようにみられるが、これらは起伏にとむ地形を整地したもので、本来的にはごくわずかな平坦地が広がるのみであったと思われる。

調査はバックフォーにより水田造成土を除去し、その後作業員による手掘りで包含層を精査した。水田造成土を40から100cm除去すると、赤褐色土に達する。この赤褐色土上面でいったん遺構の有無を確認した後、手掘りによる掘り下げを行った。その結果、縄文時代中期と思われる土器片、西北九州産黒曜石製の石鏃、細石刃、チップが出土した。その数は、小面積にもかかわらずある程度まとまった量である。これらは複数の時期の遺物が混在するものの、良好な包含層である。



第4図 今宿遺跡位置図

5. その他の調査地区

所在地	事業名	面積	担当者	所見
直入郡荻町大字恵良原	集落環境整備事業中原地区	200m	後藤 一重	畑総が実施されており遺構遺物なし
玖珠郡九重町大字松木	広域農道玖珠地区	200m	後藤 一重	黒曜石片と土器片が若干出土
速見郡大字照川	広域農道日出地区	1,700m	後藤 一重	遺構・遺物なし
豊後高田市大字草地	県営ため池等整備事業倉迫地区	0.8ha	後藤 一重	遺構・遺物なし
西国東郡香々地町大字見日	一般農道見日地区	963m	後藤 一重	遺構・遺物なし
東国東郡安岐町大字中園	県営圃場整備事業安岐地区	20ha	後藤 一重	中世土器片出土
大野郡大野町大字酒井寺	農免農道直北地区	420m	後藤 一重	遺構・遺物なし
南海部郡薩江町大字丸市尾浦	経営構造対策事業名護屋地区	3.9ha	後藤 一重	遺構・遺物なし
直入郡荻町大字西福寺	農免農道西福寺地区	300m	後藤 一重	若干の土器片出土
玖珠郡九重町大字平良石	中山間地域総合整備事業九重地区平良石工区	4.1ha	後藤 一重	遺構・遺物なし
玖珠郡九重町大字見良津	中山間地域総合整備事業九重地区見良津工区	2.5ha	高橋 徹	遺構・遺物なし
玖珠郡九重町大字鹿伏	中山間地域総合整備事業九重地区鹿伏工区	4.5ha	後藤 一重	若干の土器片、黒曜石片出土
宇佐郡院内町大字御杏	農免農道大副2期	400m	後藤 一重	若干の土器片出土

IV. ま と め

本年度、県文化課が実施した試掘調査のうち遺跡が確認されたのは4地区である。このうち中山間地域総合整備事業九重地区栗野工区では、近世庄屋屋敷と推定される遺構が確認された九重町栗野遺跡群について、遺跡の取扱いを県玖珠九重地方振興局耕地課と協議を行った。その結果、遺構検出面までが浅いため遺構の保存措置が困難と判明し、本調査を実施することとした。また、中世の溝が検出された別地点は、遺構が現状保存されることとなった。

知地帯総合整備事業大野川中流地区では、確認された千歳村大木遺跡では、県大野土地改良事業事務所とその取扱いについて協議を行ったが、工法変更等の保存措置が困難なことから本調査を行った。

朝地町の県営圃場整備事業朝倉地区の西蓮寺遺跡は台地の上であり、工事では台地上の土を下に削り落とすため保存措置は困難ということが分かり、本調査を実施することとした。

県営圃場整備事業女子畑地区で確認された天瀬町今宿遺跡について、その取扱いを県口田地方振興局耕地課と協議した結果、試掘データをもとに再度計画図の検討を行うこととした。

大分県文化財年報10 平成12(2000)年度版

平成14年3月29日発行

編集・発行者 大分県教育庁文化課
〒870-8503 大分市府内町3-10-1
TEL 097(536)1111 (内)5501

印刷所 株式会社 川原田印刷社